

637
6



0000907000

0000907-000

637-6

ドイツ通信

塚本義隆・著

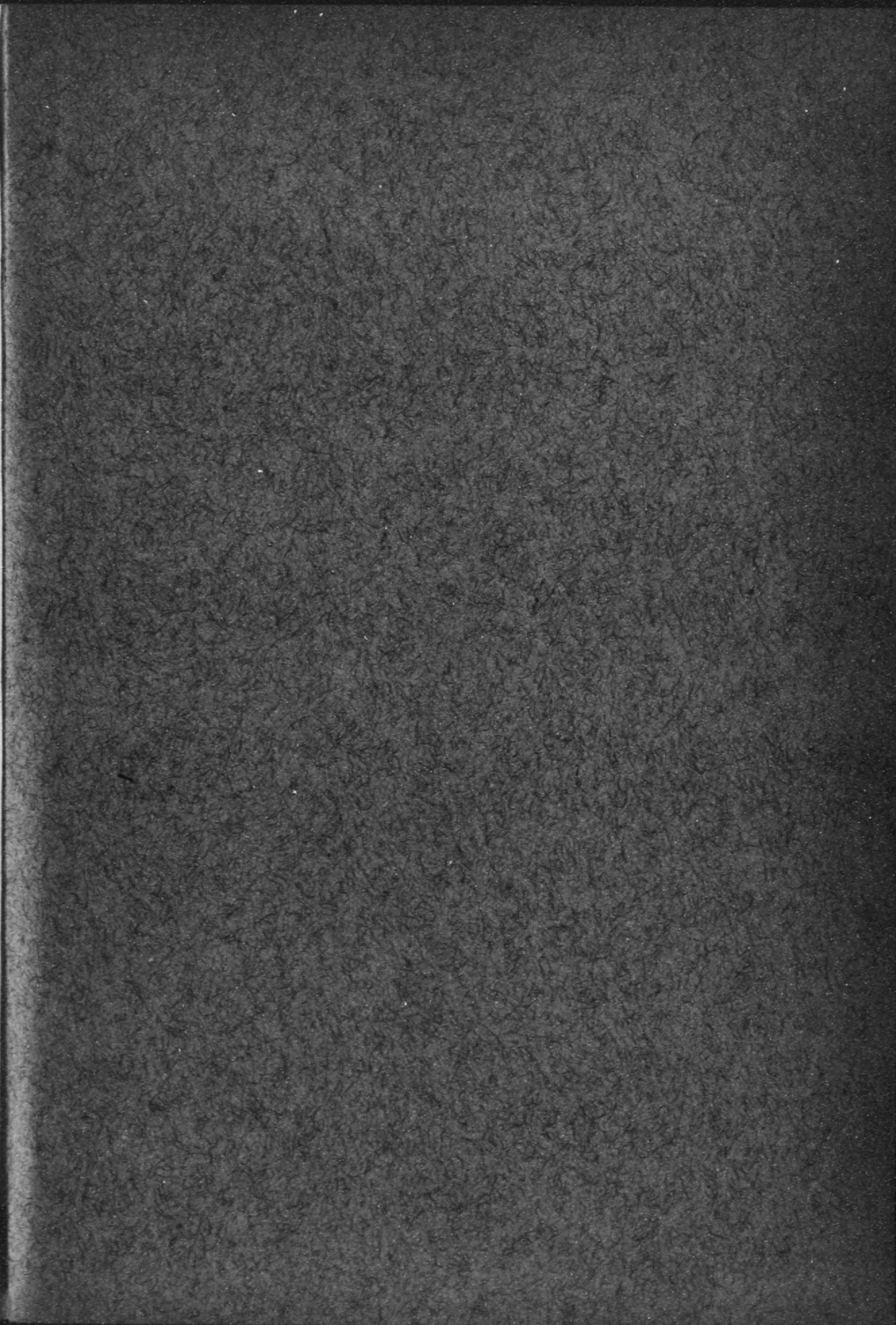
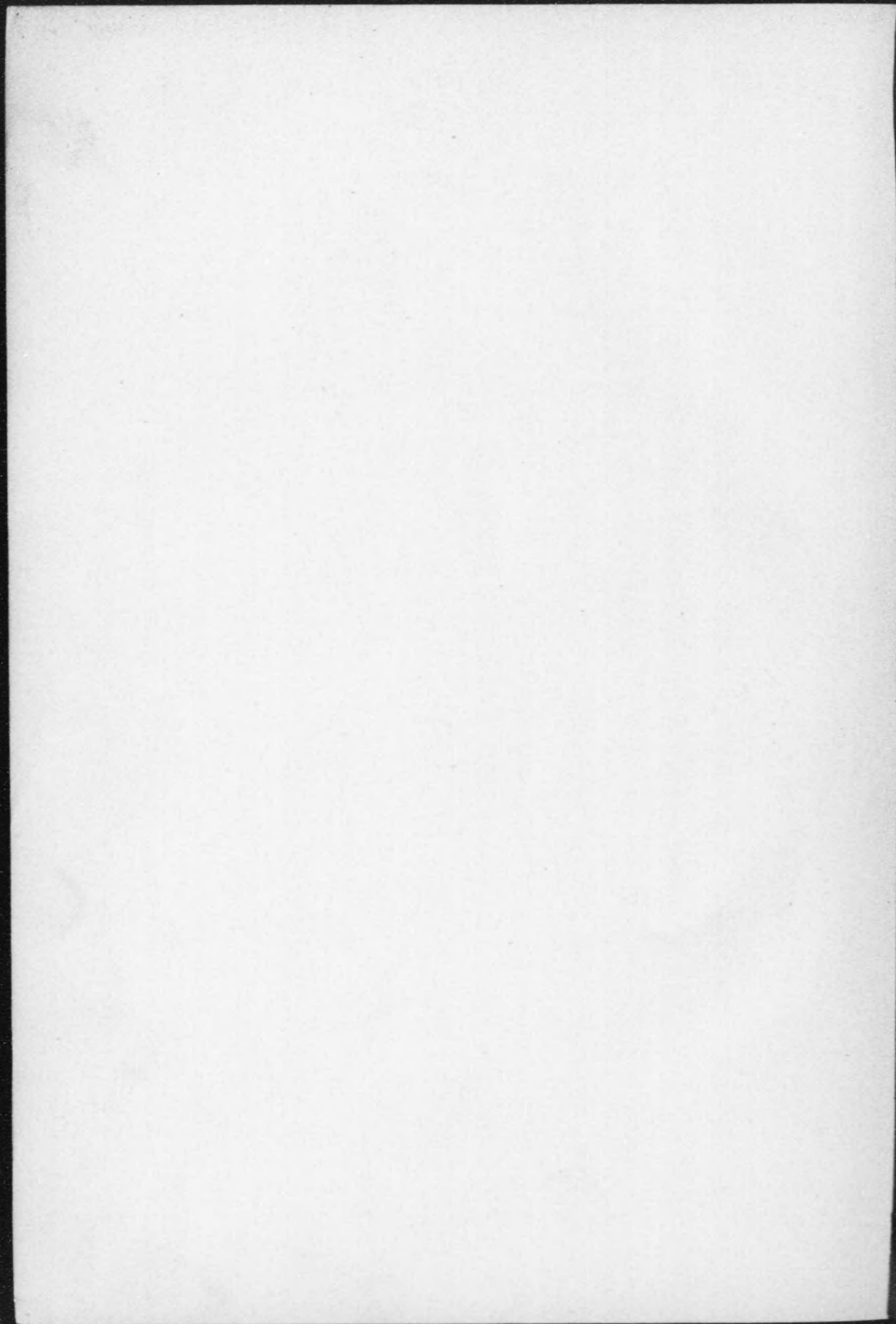
新聞聯合社大阪支社

1929至1932年

昭和7

AAB

153



637-6

はしがき

題して『ドイツ通信』と言ふ。これは一九二九年七月から一九三二年六月までの三ケ年間にベルリンから送つた通信を蒐めたものであります。

昭和四年の初夏、大阪の有力な實業家二百餘名が合理化の國ドイツの經濟實狀を調査する爲め、ベルリンへ通信員を派遣する計畫を樹て、私はその重任に選ばれました。語學も出來ず、經驗も無い私はベルリンで大變な困難を嘗めました。只好運にも非常に有能な助手シユウエドラー老嬢を見付け、同老嬢の絶えざる助力に依つて命の幾部分でも果し得たのであります。此のはしがきを書くに當り今更ながら同嬢に對し深感謝の念を禁じ得ませぬ。

このドイツの經濟實狀調査を發起せられたのは、飯島幡司、星野行則、加藤小太郎

加賀正太郎、片岡安、高柳松一郎、津田勝五郎、村田省藏、坂田幹太、佐多愛彦の十氏で、實際の仕事は主として東川嘉一氏が當られました。所が東川氏は途中不幸にも病の冒す所となり、昭和六年十月二十五日逝いて再び歸らぬ客となりました。茲に右諸氏の御盡力を深謝し又贊助下された方々に感謝申上げると同時に、畏敬せる東川氏



の死に對して新たなる追悼の念に堪えぬ次第であります。

此の書に収録した文は新聞聯合社の『聯合通信』を通じて發表せる短文の報告のみであります。比較的長文のものはその都度小冊子として發行しましたし、又それを本書中に重複印刷するところは頁數の關係もあつて困難ですから省きました。而して本書に収録してないドイツからの通信は左の小冊子九種であります。

小冊子の題

發行年月

最新のドイツを報ず	(五四頁)	昭和四年八月
ドイツ・レーヨン工業近況	(四〇頁)	昭和四年九月
産業合理化の實例、ドイツの炭鑛	(七四頁)	昭和四年十二月
合理化せる獨逸	(二五二頁)	昭和五年五月
獨逸の電力事業	(六六頁)	昭和五年十月
未だ合理化せざるドイツの綿業	(四〇頁)	昭和五年十一月
勤勞と享樂線上のドイツ人	(一一一頁)	昭和六年二月
自動車ミプロレタリア	(二六頁)	昭和六年四月
世界に誇るドイツ化學工業	(三〇頁)	昭和六年五月

三ヶ年間に、つて一生懸命に調査報告した内容を今繰返して讀んで見ると如何にも平凡で、つまらぬものである事を本當に恥かしく思ひます。然しそれにしても折角の報告が散逸して終ふのも残念であること考へ一書に纏めた次第であります。

一九三二年十月十二日

塚 本 義 隆

ドイツ通信

(一九二九—三二年)

目次

見本市と博覧會	二
ライプチヒの春の國際見本市	二
秋のライプチヒ見本市	九
ドイツ品の宣傳と廣告大博覧會	三
第六回ドイツ化學機械博覧會	六
飛行船と飛行機	九
ツエツベリンにて瑞西一週遊覽飛行	九
ツエツベリンの南米訪問飛行	二
ドイツの飛行界	三
ドイツ主催の歐洲一週飛行	六
新スポーツ「帆の飛行機」の話	元
汽船會社の合同	三
ドイツ汽船の合理化	三

鐵道の高速化

ドイツ二大汽船の極東航路合理化	四
獨逸合同汽船の業績	三
ハバク・ロイドの大整理	四
プロベラ高速鐵道	四
世界一の大企業、ドイツ鐵道會社	七
ドイツの「動力車」	五
高速化と運賃引下	五

電話と無線電信

ドイツの電話事業	五
ドイツ遞信省の無線電信買収	六

諸企業一瞥

企業會社の業績	七
ドイツの機寸專賣	七
アルミニウム工業	七
景氣の好いビール工業	八

カルテルと物價

恐慌圏外にあるビール工業 八
 工業化された石炭の液體化 九
 イー・ゲー・染料會社 九
 獨逸レリオン界消息 一〇
 ドイツ人絹新協定 一〇
 獨逸のメリヤス工業 一〇
 電力會社の合同 一三
 ジーメンズとA・E・G 一六

 ドイツ産業總聯合會 二三
 獨逸産業の指導者 二三
 物價引下とカルテル新取締令 二七
 生活費指數の調査 二三

社會保險と勞働組合

破産に瀕せるドイツの社會保險 一五
 一九三一年の社會保險の内容 一四〇

失業問題と其の對策

ドイツの勞働組合 一四

 失業救濟制度 一五
 ドイツの失業對策 一五
 勞働時間短縮案 一七
 失業退治の名案は？ 一七
 失業群數百萬を抱えドイツに冬は迫る 一七

政局は移る

ドイツから眺めた軍縮問題 一八〇
 ドイツ總選舉の話 一八六
 不況と政治 一九三
 ドイツ政局小 一九七
 ドイツ曰く、賠償金は支拂濟 一九九
 非凡の宰相ブリュニク 二〇三
 聯邦組織改正案 二〇八
 ラヴァルの訪獨と獨佛の工業提携 二一一
 政府議會を切抜けん 二二三

大統領選挙と政局の推移 二五
 ドイツの大統領選挙 二七
 大統領選挙のやり直し 三一
 決戦投票は四月十日 三四
 ヒンデンブルク再選 三八
 プリニウニク内閣瓦解 三九
 新バーベン内閣 三七

財政難は続く

ヤング案に基づく社会党政府の減税計畫 二四〇
 プリニウニクの豫算均衡政策 二四三
 大々的緊縮の財政 二四八

外國の借金と國際收支

二大電機會社の外資問題論争 二五三
 期限一千年の外債 二五七
 ドイツの借金總額 二六三
 一九二九年のドイツ國際收支 二六七
 一九三〇年の國際收支改善 二六九

借金政策打切り 二七一
 短資問題と貿易 二七五

恐慌勃發と金融機關

恐慌の誘因、獨逸關稅合同 二八〇
 信用恐慌とドイツの實狀 二八四
 金融恐慌と外國貿易の影響 二八七
 自力更生の努力 二八八
 金融界常態回復の努力 二九一
 ドイツの爲替管理 二九七
 銀行監督と會社取締 三〇一
 恐慌の跡始末、ドイツの銀行合同 三〇四
 銀行業政府支配下に移る 三〇七

恐慌を何と見る

ワッゲマン博士語る 三一
 財界の指導者は語る 三四
 ドイツ經濟の十字路 三二
 景氣は何時直るか 三五

國難時の非常對策

..... 三三

ポンド下落の影響 三三

ドイツの新經濟政策 三三

イギリスに對し生産費引下で對抗 三三

利子強引下 三三

貨銀強引下 三三

物價強引下 三三

通貨膨脹の提唱 三三

『空腹輸出』

..... 三三

産業合理化と輸出増加 三三

「空腹輸出」 三三

金融恐慌と輸出 三三

對ロシア輸出金融 三三

英貨下落とドイツの外國貿易 三三

世界動力會議

..... 三三

ベルリンの動力會議第一報 三三

計畫經濟會議

..... 三三

ベルリンの動力會議第二報 三三

同 第三報 三三

世界繁榮の五ヶ年計畫 三三

隣國を眺めて

..... 三三

不景氣を知らぬ國スエーデン 三三

スエーデン繁榮の四要素 三三

ドイツ人の見たフランスの繁榮 三三

フランスの黃金政策、世界經濟の脅威 三三

世界の金持新フランス 三三

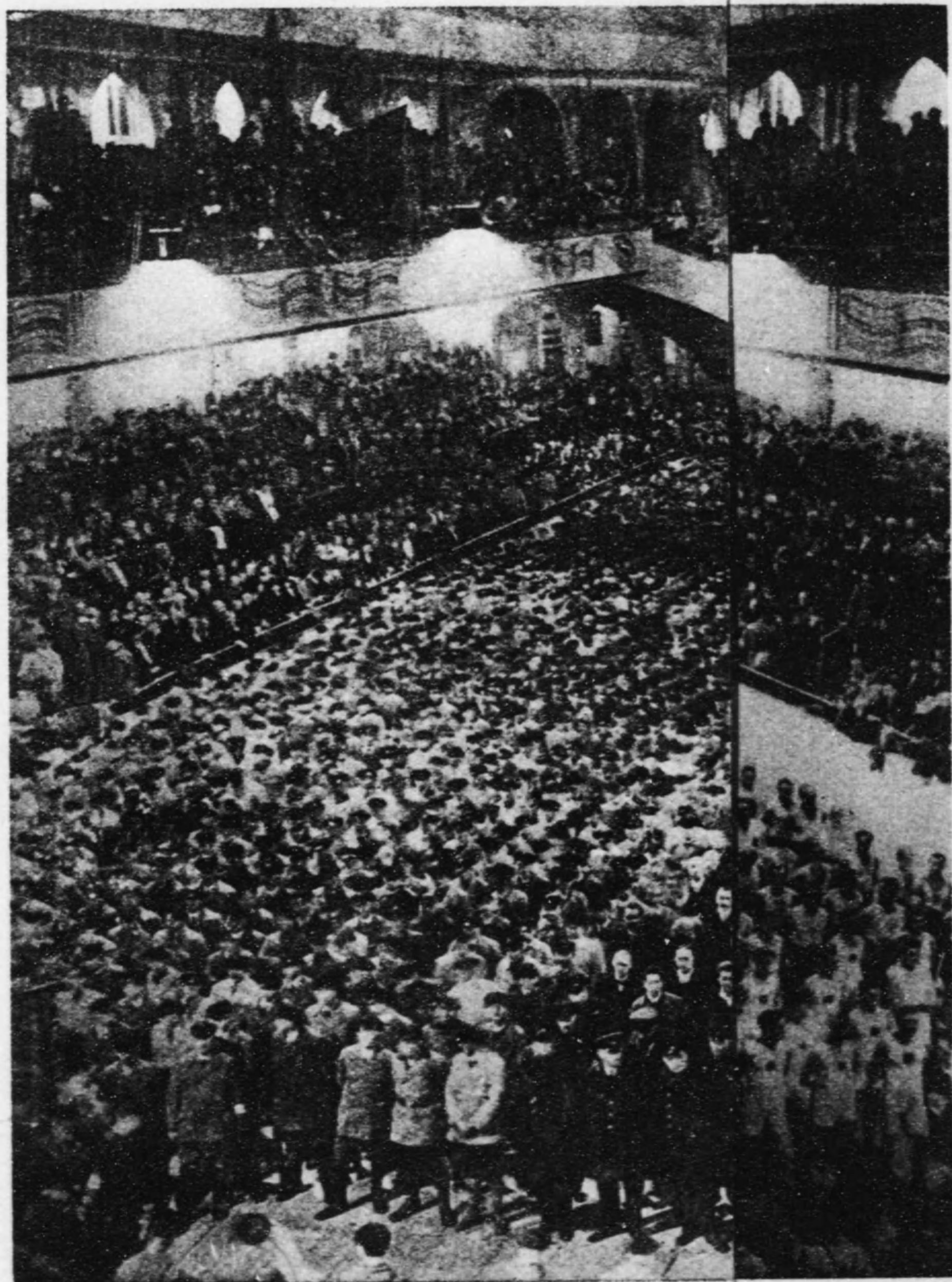
フランスの金融危機 三三

ドイツから眺めたロシアの五ヶ年計畫 三三

赤露の食料品工業 三三

イギリスの金輸出禁止 三三

クロイゲルの自殺 三三



ベルリンのスポーツパラストに於ける共和国擁護團體の大示威運動

Die I

ベルリンの魅惑

四四九

ドイツへ来るアメリカの観光客

四四九

カフエーミキノ

四五三

ダムの都

四五七

電車とバスと地下鐵

四六一

十年間の大ベルリンの發展

四六六

見聞雜記

四七〇

ドイツ人の住宅

四七〇

ベルリンに於ける轉宅の大洪水

四七三

シレジア旅行

四七五

世界に類のないドイツ博物館

四七九

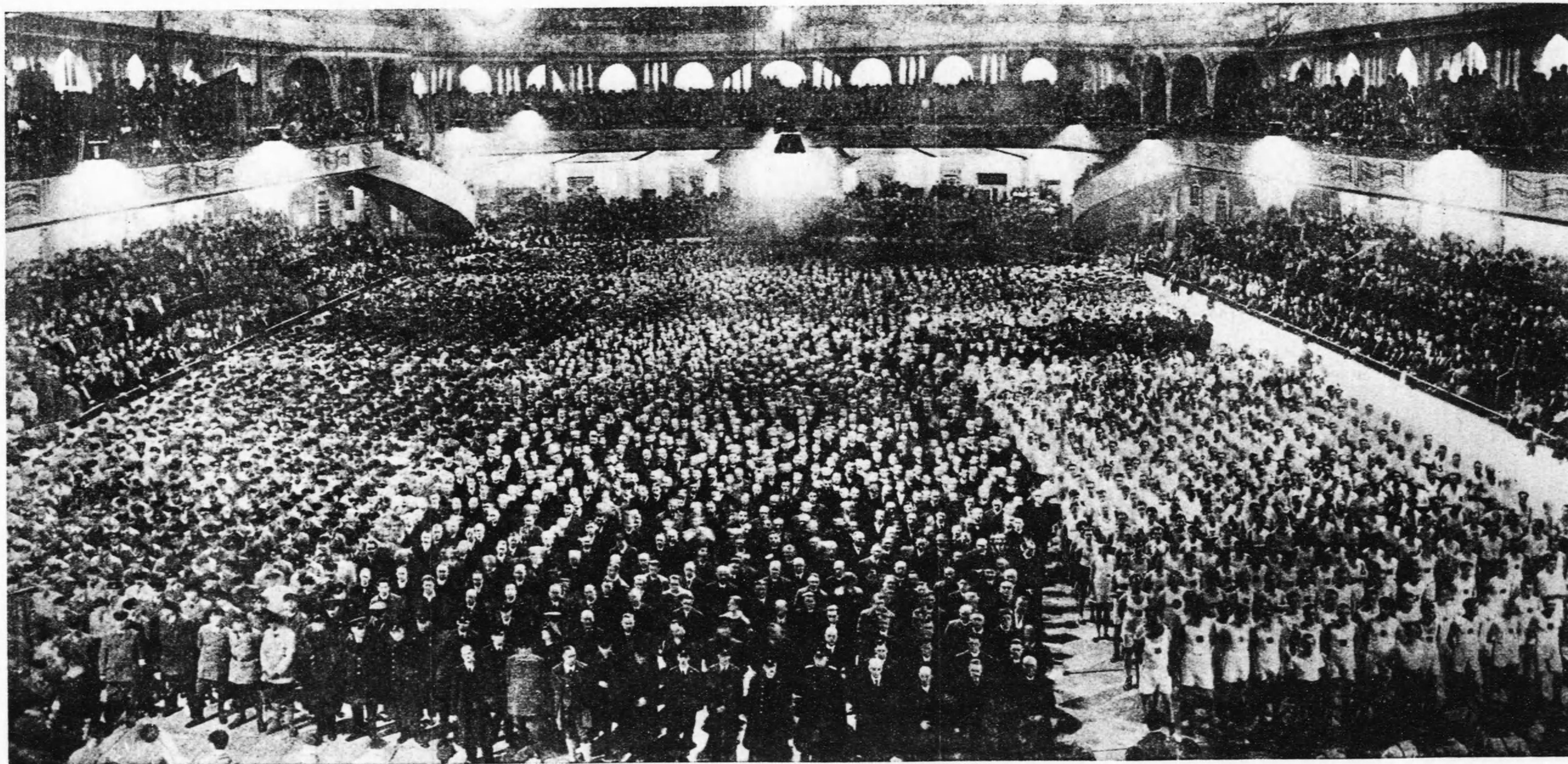
シベリア鐵道の近狀

四八三

シベリア素通りの記

四八七

目次終り



ベルリンのスポーツパラストに於ける共和國擁護團體の大示威運動

Die Dreigliederung der "Eisernen Front" in Berlin: Schufos, Hammerschaften, Arbeitersportler im Sportpalast.



お断り

一、本文は此の書に配列せる順序で書いたものではありません
故に一文毎に標題の下に執筆せる年月日を記入して置きま

した。
一、本文中にある諸種の統計は本書印刷の際に調べのつく限り
新しい統計を追補しました。又執筆當時以後に於て著しく
情勢の變化せる部分に對しては「附記」或は「追記」として
註釋を加へました。

一、故東川氏又は鹽見恒明氏の筆になる項には其の旨記入して
あります。

一、挿入寫眞中、説明の後に*印を附したのは筆者の撮つたも
のであります。

見本市と博覽會

ライプチヒの

春の國際見本市

(一九三〇・二・一四)

三月二日から約一週間ドイツのライプチヒ市に恒例の春の國際見本市 (Leipziger Frühjahrsmesse) が開かれる。此の見本市は歴史の古い點のみからでなく規模の大きい事に於ても正に世界一である。今更改めて説く迄もないが同見本市は

- (一) ドイツ商品を世界的に宣傳紹介する事
- (二) ドイツ品の販路を擴張し輸出促進を圖る事
- (三) 見本市を機會に多數の外客をドイツに誘致する事

等種々の點から毎年非常な効果を收めて居る。日本でも産業合理化に連れて、商品の販路擴張と輸出増進が必要である。大阪ではライプチヒに倣つて國際見本市開催の計畫があるといふから、此の機會にライプチヒ見本市の事を少しく解説して見やう。

見本市の性質と目標 第一に注意を要する事は博覽會と見本市とは其性質が違ふ點である。博覽會は專

門家ならざる一般大衆に宣傳するのが主眼であり、開會期も長いのが常であるが、見本市は當業者や専門家に見せて注文を取るのが第一の目的であり、開會期も短い。又株式や公社債の賣買に證券取引所がある如く、米や砂糖や棉の賣買に物産取引所がある様に、見本市をば一種の工業製品の取引所なりと解釋出來ぬ事もない。何故ならば各地に於ける各種類の製造業者が一ヶ所に集り其製品見本を陳列して商人に賣らうと言ふのであるからである。但し賣約に應じても見本を現場で即賣はしないし、又直ちに引渡す事もしない。製造業者が見本を出品するに就ては色々の動機があらう。例へば競争者が出品するから自分も陳列するといふ消極的な者もあらうし、又或特別な地方や特別な顧客に自己の製品を吹聴して需要を喚起せんを期待するものもあらう。然しライプチヒの見本市の最大の目標は年々新しい外國の顧客に接して新しい輸出市場を開拓せんとするに在る。

會場の數三十九 ライプチヒ見本市は七八百年の歴史を持つて居る。従つて今日の見本市の會場は豫め一定のプランを樹てて設計されたものでなく、時代の要求に應じて次から次へに擴張されて來たものである。故に一ヶ所に建物が集中されて居らず、ライプチヒ市内各所に散在して其數三十九にも上る。之等多數の會館は外觀及内部の構造が區々たるに止まらず、數年前迄は同一種類の出品が異つた數ヶ所の會館に陳列されて居たりして甚だ不統一であつた。見本市の事務局の努力で今日では餘程統一改善されてゐるが未だ完全迄は行かない。それは出品者に陳列場所を貸すのは其建物の所有者であつて事務局の仕事ではないからである。而かも家主相互間に屢々競争が演ぜられる。

兎に角三十九の會館は延坪數が十四萬平方メートルもあつて、春の市では此の廣大な場所が殆ど一ぱいに陳列される。此の三十九の會館は一般的商品の見本を出品する場所であつて此處が純粹の見本市 (Museummesse) なのである。そして之れは大部分商業地域内にある。此の見本市とは全く別に機械市 (Technische Messe) 建築

市 (Baunesse) 織物市 (Textilmesse) 運動用品市 (Sportartikelmesse) 等がある。而して之等の會館の数は合計二十ヶ所もある。

テヒニシエ・メッセ 機械市 (Technische Messe) は一般の見本市とは離れてライプチヒ市の町外づれに一ヶ所に集中されてゐる。此所には會場が十六あつて其延坪數七萬平方メートルに上る。大部分は最近數年間に建築されたもので設備も新しく凡てが統一されてゐる。商業區域にある見本市を昔からの保守的なドイツミすれば此所のテヒニシエ・メッセは全く新しいドイツ工業の縮圖とも言ふべく近代的工業家の協調、集力の精神がハッキリと表現されて居る。テヒニシエ・メッセは「工業市」といふ廣い意味であるが、主な出品は機械類で之れ丈で約三割の面積 (二割三千方メートル) を占領して居る。

見本市の内部組織 ライプチヒの見本市は其外形が自然の發展に任かせてあつた如く内部の組織も外形に連れて不規則に發達して來たものである。従つて局外者には容易に諒解され難い。見本市ミ一口に言つても其中には色々な特殊な専門的の市を含んで居る。例へば前記の織物市、家具市、運動具市、機械市、電氣器具市、建築市の如きであつて之等は各自別々に組織して居つて、廣告宣傳も別々にやるし、會計も別である。而して之等各種の専門市は會館の所有者又は貸主が主催者となつて居る場合が多い。そして之等の主催者達が相集つて見本市事務局といふ總括的な統一機關を組織してゐるのである。此の非集中主義は見本市に關する限り成功であると言はれてゐる。其一番大きい効果としては事務局の經費を膨脹せしめない事である。見本市事務局の所要經費は大體左の收入から支辨されてゐる。

(一) 『宣傳分擔金』と稱して出品者が出品面積の廣狹に應じて一定金額を事務局に納める。之れが主な收入である。

(二) 事務局から參觀人へ見本市の入場徽章を賣り出す。この收入も大きい。

(三) 獨逸政府、ザクセン州及ライプチヒ市より補助金を年々貰ふ。(註、昨年は獨逸政府が歳費節減で補助金年額八十萬マルクを削減した)

事務局の主な仕事 見本市事務局の仕事は澤山ある。其主なるものを擧げるミ左の如くである。

(一) お客さんを迎へるに就ての準備、之れが大仕事である。一九二八年の春の市の統計によるミ何にしる人口僅か七十萬の町へ一度に二十萬人の人間 (其の内外國人約三萬人) が押寄せて來るのだから其應接は大變である。先づ特別列車を準備せねばならぬ。昨年の春の市は四百二十個の特別列車を運轉した。(特別列車は運賃の割引をする。) 第二は宿泊所及飲食店の問題である。日本ミ違つて一室に雜魚寝する事はお客が承知せぬ。それか言つて一人毎に風呂付きの一室を提供する事は到底不可能である。喰ひ物も田舎臭いと言つて小言を言ふ。二十萬人のお客を満足させるのは容易な事ではない。

(二) 次に出版の仕事である。見本市の出品目録を出版する外に毎週一回ドイツ語の機關雜誌を發行する。英、佛、西語の月刊雜誌も出す。出版部に關聯して "WEZ Organisation" といふ調査機關がある。之れは輸出に關する事なら何事でも調べる専門の調査部で、ドイツ國內は勿論、世界各國の當業者から來る無数の質問を一々應答する。

(三) 夫れから出品者及買ひ手に對して萬般の相談相手を勤める。適當な陳列場所を世話するのは言ふ迄もないが、若し出品しても何の効果も收め難い様な品物に對しては出品差控えの勸告迄する。又不信用な店の出品は拒絶もする。

(四) 然し一番大切な仕事は宣傳である。事務局はライプチヒの本部の外にドイツ國內に三ヶ所の支部ミ各地に

百五十七の名譽代理人を持つてゐる。又外國には十一の支部三百九十五人の名譽代理人がある。之等の機關は一齊に見本市宣傳の衝に當る。宣傳の方法としては各國の新聞に廣告を出す外に全世界を通じ約三十萬人の實業家のリストを作つて之れに宛て、郵便で案内状を發送する。又ポスター、講演、活動寫真による宣傳もやる。

内外國よりの出品數 事務局の活動は毎年の見本市の盛況により十分酬ひられてゐる。昨年（一九二九年）の春の市はドイツ國內の不景氣に未曾有の酷寒に祟られて參觀者が激減したが、尙且つ十五萬人も集まつた。其の内で二萬八千六百六十人は外國のお客さんである。之れに對し出品者數は一萬〇百七十一人に上り、此の内外國からの出品が千二百七十三人即ち一割二分五厘を占めてゐる。國內からの出品はドイツ各地の諸工業を網羅してゐるのは勿論であるが、其主なもの掲げるに次の通りである。

(出品者の九割七分迄は製造業者であつて商人ではない)

出品種類		出品者數	出品種類		出品者數
陶器類	六九三人	家庭用品、炊事道具	九二五人		
各種工藝品	四六七	小間物類	六九〇		
皮革製品、旅行用品	三一八	家具類	四〇三		
紙類、文具類	五九二	玩具類	八七九		
織物類	八〇八	機械類	七二〇		
電氣器具類	四二五				

外國の出品者は二十四ヶ國に跨がつてゐるが、其中目立つて多いのは隣國のチェッコの二八六人、オースタリ一の二四六人である。ヨーロッパ諸國の外にアメリカからも三十餘の出品者があり、日本も兩三年前から参加してゐる。今年は日本の外にインド及び支那も出品する。

出品の數量が如何に莫大に上るかは鐵道統計で略推察出来る。昨春の市にはテヒニシエ・メッセへ丈けでも約八千五百トンの出品が持ち込まれた。但しこれが出品の全部ではない。何故かといふに前年以來その儘に會場に据えてあるのがあり、又貨物自動車でも多數に運送してゐる故である。其他一般の見本市へ新規に持込んだ出品は約二千トンに見積られる。

効果を調査する方法 前記の種々の數字によりライブチヒ見本市の大きさが略推測出来るが、實際され丈けの効果を收めたかといふ事は精密に調査せねば判らぬ。此の目的の下に特別な調査研究が行はれてゐるが、その方法は仲々興味があるから大要を紹介しよう。ドイツ政府統計局の別働隊たる景氣研究所 (Institut für Konjunkturforschung) は見本市事務局と協同して出品者全部（外國を除く）に宛て五ヶ條の質問狀を發する。

- (一) 買ひ手の示した興味の程度。
- (二) 注文受取額。但し具體的數字に觸れるのを避けて、只前年の見本市と比較して増減割合を訊くに止める。又内地と外國との注文の比率を問ふ。
- (三) 注文品引渡の狀況。即ち手持ち在荷から引渡した割合、注文製造の爲に要した勞働者人數及び其期間。
- (四) 陳列した見本及値段に關し出品者の眼に映じた何か特別な觀察。
- (五) 即座に受けた注文以外に出品の効果として後日受取る見込みのある注文豫想。

右の五ヶ條は簡單に返事の出来る様式にしてあり、又質問の趣旨の科學的調査研究に資するにあつて他には何等利用せざる事を周知せしめてゐる。特に具體的な數量金額等の質問を避けてゐるのもその爲である。然し満足な回答を寄こすのは案外に少く、調査資料に供し得たのは昨年などは質問狀發送數の十七パーセントしかなかつたといふ。

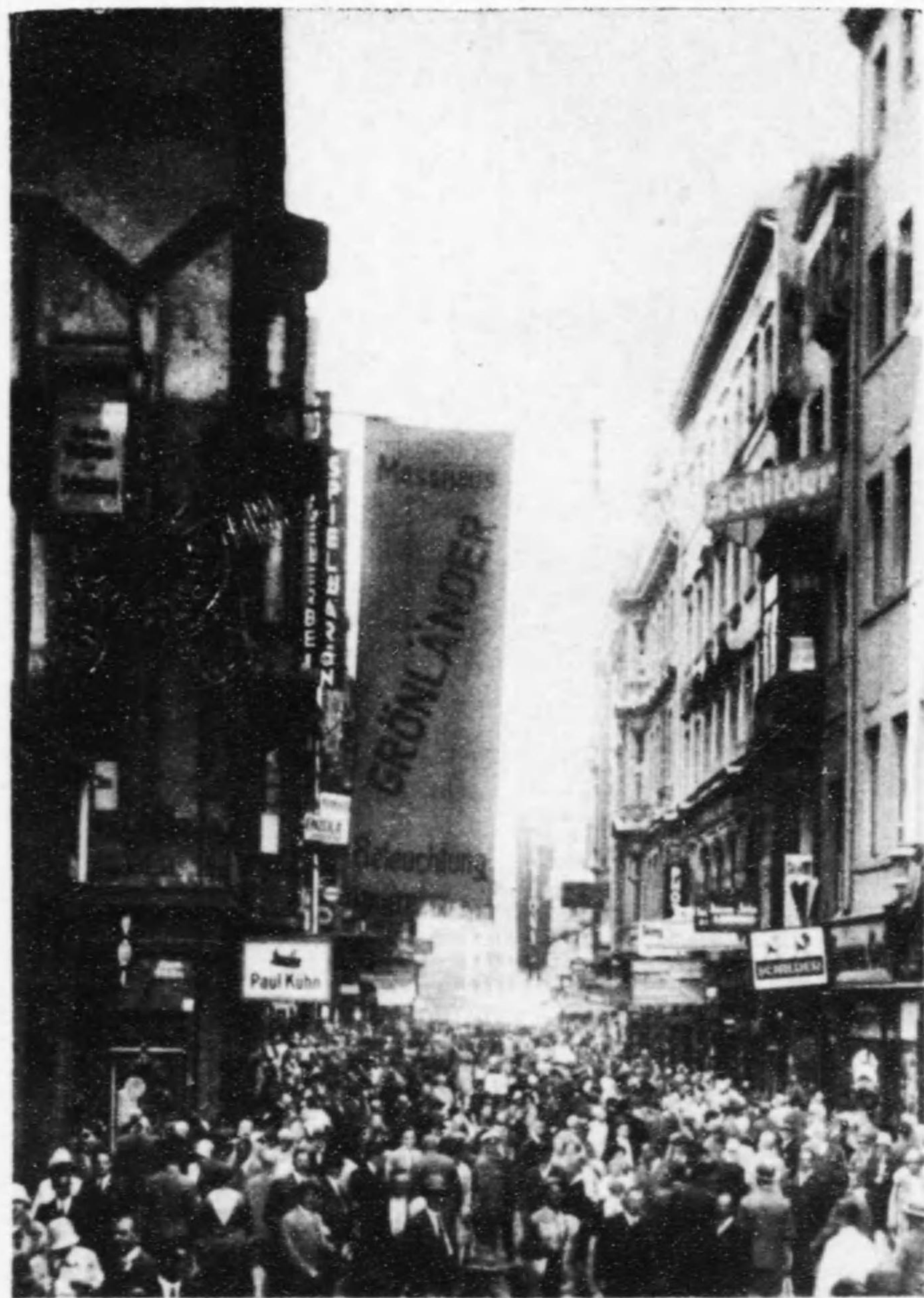
見本市による輸出五億 けれ共其不満足な返事でも仲々貴重な資料となる。之れを基礎として前記の研究所が調査した所によれば昨年の春の市は最低に見積つて四億七千萬乃至五億マルクの註文を受取つた。之れを一昨一九二八年の十億マルクに比較するに半額しかないが、之れは質問状の様式を變更した結果であるといふ。現場で受取る註文額は註文の全部ではない。現場では買ひ手は試験的の註文を出すだけで、歸國後十分試験した上で更に註文を寄越すのが常である。毎年の例によるに後日来る註文額は現場註文額に匹敵する。故に昨年は矢張り九億五千萬乃至十億マルクの品物が賣れたと見て差支へない。其中半額即ち五億マルクが外國の買ひ手の註文である。此の額は外國の買ひ手側から集めた統計と略一致してゐる。ドイツの昨年の製品輸出總額は九十四億マルクであるから其の約十九分の一はライプチヒの春の見本市で直接に賣つた勘定となる。間接の効果は更に莫大であらう。

世界商工業者巡禮所 更にライプチヒ見本市に就て見逃がしてならぬ特徴は國際的な商工業者の會合場所となる點である。出品者が二十數ヶ國に上る外に買ひ手が世界中から僅か一週の間三萬人も集る。而かも其れが大部分外人である。ライプチヒ見本市では昔から外國の出品者に對してもドイツ人と同一の特權を與へ何等區別を設けない。此の政策に對し一部ドイツ人中には不平を言ふ者がある。即ち外國の工業家に輸出市場開拓を援助する事になるのみならず、ドイツ市場で賣る事迄も奨勵する様なものだといふ非難である。然し之れに對し事務局側ではそれは見が餘りに狭いを反駁してゐる。即ち健全なる商取引は終局に於て互惠的たるべきものである。若し特定の一國から輸入が増加すれば必然に同國への輸出も増加するといふ意見である。大多數のドイツ工業家は後者の説を支持してゐる。而して彼等の繁榮への唯一の道は能率の増進にあり、決して保護政策に頼るべきでないと見てゐる。



ライプチヒ見本市に於ける機械市

Leipziger Messe. Die Werkzeugmaschinenchau auf der Technischen Messe.



ライプチヒ見本市に於ける人出

Leipziger Messe. Petersstrasse.

兎に角ライプチヒの見本市は世界商工業者の巡禮所として年毎に發展しつつあると共に能率高きドイツ工業の國際的宣傳機關となつてゐる。

因みに毎年の開會期は春の市は三月第一月曜の前の日曜から、又秋の市は八月最終の日曜から始まる事に一定してゐる。一般の見本市は七日間、織物市は五日間、機械市は十一日間である。秋の市よりも春の市の方が遙に盛である。

秋のライプチヒ見本市

(一九二九・九・五)

ライプチヒの見本市はドイツ産業界の年中行事の一つであると共に景氣測定のパロメーターの一つである。同時に又輸出増進の有力な宣傳でもある。輸出増進はドイツの生きる唯一の途であるから茲に今秋の見本市の様様を書いて見る事も必ずしも無意義ではあるまい。

ライプチヒの見本市 (Die Leipziger Messe) は毎年春秋の二回開かれる。何故にライプチヒ等の田舎臭い町でこんな國際的な催しをするかといふは、要するに千百五十六年 (或はそれ以前) 以來八百年といふ古い歴史を持つてゐるからに過ぎぬらしい。近年は之れをベルリンへ移せといふ聲が頻りにあるが、何分廣大なる面積と建物とを要する爲に莫大な金がかゝり一寸實現困難の様様である。それはさておいて、今秋の見本市は八月二十五日から三十一日迄開かれた。大體秋の市は春の市に比べて出品者も買ひ手も遙かに少いのを例とするが、それでもイギリスの帝國飛行會社及びドイツのルフトハンザ飛行會社は提携してロンドン・ケルン・ライプチヒ間の飛

行料金を特に割引して訪問客の便宜を圖つたりしてゐる。

出品者数と景氣 市に出品せる會社商店の数は八千〇五十軒で昨秋の八千〇八十九軒に比較するに幾分少いこれはドイツ並に諸隣國共に本年は金廻りが悪いので、出品に要する經費を考慮して躊躇する者が可成りあつた結果らしい。然しそれでも全體から見れば、右の數字が示して居る通り昨秋に較べ大した減少ではないのである。のみならず多少の困難はあつても色々の新し味のある生産品を出品し大いに自分の商賣宣傳に努めてゐるのは偉いせねばならない。一方會場の廣さは昨秋の十四萬一千五百平方メートルに比し、今秋は十四萬九千五百平方メートルで幾分増加を示してゐる。

出品者の九割はドイツで残りの一割が外國である。即ち八千〇五十の出品者中プロイセンから約四割、ザクセン州から二割五分、バイエルン州から一割、其他のドイツ諸州から約一割五分出品し、残り一割が外國である。外國の出品者は二十一ヶ國、合計七百六十軒に上るが、その内主なる國名は出品者数を掲げるに左の通りである。

チェッコスロフキア	二七〇	オーストリア	二二〇
フランス	五〇	スイス	三〇
オランダ	二五	ハンガリー	二〇
イギリス	一五	イタリア	一五

會場と出品内容 見本市の開かれる場所はライプチヒ市の舊市街(商業區域)に三十九ヶ所此の外市内各所に機械館、織物館、運動具館、建築館、廣告館等特別の會館が約二十もある。出品の内容は全く千差萬別で、苟も商品ミ名の付くもので出品されて居らぬものは無いといふてよい位であるが、就中最も人の注意を惹くのは機械市(Technische Messe)で毎年新しい様々の機械が出品され内外の買ひ手を集めてゐる。これはドイツ

機械工業の優秀を物語るに共に産業も事務所も家庭も日に月に機械化されつゝあることを示すものである。

機械市は會場が十二もあつて單に素通りするだけでも大變であるが、その中主なるものを並べて見るに、先づ道具類中では金屬細工、木細工用、鍛接用其他諸工業用の道具で仲々珍しいものがある。又食料製造用の機械では例へば冷却器、冷蔵庫、菓子製造器なども色々變つた機械があり、又ラヂオ、衛生器具、水道、ガス器具など家庭用のものから、電氣電燈器具、扱ては鐵、鋼鐵器具等も目新しいものが多い。又自動車自轉車類も新型が色々出て居り、其他小さい發明品、改良品等も勿論無數に見受けられる。殊に注意を惹くのは家庭ミ臺所の改良に就て様々の器具類が陳列されてゐる事である。

見本市の出品者を種類別に於て其の中主なるものに就き昨秋の出品者数を今秋の數を對比するに左の如くである。

○昨秋に比し増加せるもの

種類	昨秋出品者數	今秋出品者數
菓子、食料品	五九	一一〇
藥品、化粧品	一五九	一八〇
時計、貴金屬	一八四	二三四
工藝品	三七五	四一〇
樂器類	二二五	二六〇
建築器具	二四〇	二六〇

○昨秋より減少せるもの

種類	昨秋出品者數	今秋出品者數
ガラス陶器	六九八	六六〇
事務所用品	九四二	七一〇
靴及革類	五九	四〇
工場用道具	三〇九	二五〇

主なる外國の買手 秋の見本市は春の市の如く大きくない。言はば補足的の市である。そして主たる目當てはクリスマスにある。即ち夏の賣り出し後各商店の在荷が減つてゐるのでこれを補充しクリスマスの賣り出

し期に備える目的で買ひ手が集るのである。そして買ひ手も國內の顧客が主で、外國からは春の市の如くには澤山來ない。加ふるに今秋の開會期中は恰かもヘーグに於て賠償會議が開かれていたので、政治的の不安も伴つて買ひ手の數も餘り多くなかつた様である。ライプチヒから歸つて來た人の話しを聞いても本年は案外に見本市訪問客が少かつたと言つて居る。

外國からは何う云ふ國々から買ひに來たかといふミスカンチナビヤ諸國及び東歐諸國、就中デンマーク、スエーデン、フィンランド、メーメル、ダンチヒ等は昨秋よりも本年の方が澤山出て來た。又例年最も人數の多いのを常とするオランダ、イギリス、スイス、オースタリー、チエツコスロワキア等の諸國は昨年ミ大差がなかつたといふ事である。尙本年はベルリンに世界廣告會議があつたので、これに出席したアメリカの實業家連も多數に見本市を訪問した。今試みに昨秋の市に於ける外國からの買手數を示すに左の如くである。

總數	三四八〇
内譯	フランス 四一〇
	オランダ 九二〇
	イタリー 三八〇
イギリス	八六〇

扱てこの見本市は一體どれ位の効果があるものかといふに、見本市事務局の概算によるに、昨一九二八年春の市では十億ライヒスマルクの注文を受取つた。同年秋の市は三億五千萬マルクの注文があつたといふ。此の中で各半分は輸出注文である。一九二九年の春の市は國內の景氣が面白くなかつたけれ共それでも矢張り十億マルクの注文を取つたといふ事である。今秋の結果は未だ判明しない。それは注文は必ずしも見本市開會中に取れるかは限らぬからである。買ひ手は金の都合で歸國後注文を寄越すことが非常に多いのを例とする。故に今秋の注文が今迄の所では假りに少いとしても悲觀を要せぬ。楽しみは後に残つてゐる出品者は洩してゐる。彼等は又斯

う言つてゐる。本秋の見本市の成績が未だ判らぬにしても、これだけは確かである。即ち最近の新しい器械、器具類を色々出品し、新發明品を陳列して内外多數の買ひ手に見せた事はドイツの産業が如何に能率高いものであるかを如實に宣傳し得た譯で將來世界市場に於てドイツの地盤を作るに大いに効力があつた事と信する。

何れにしてもライプチヒの見本市がドイツ品の輸出に取り大いに効果のあることは疑ひがない。秋の市は從來主に國內市場目当てに見られてゐたが近年は輸出方面でも少なからず重要視される傾向にある。然るに従來ライプチヒの見本市に八十萬マルクの補助金を出してゐたドイツ政府は本年之れを削除した。これは勿論政費緊縮の爲めであるが非常な矛盾だといふに非難してゐるから來年度豫算には復活されるかも知れない。然し又一方では秋の市を廢止して春一回のみ開けたい議論もある。

ドイツ品の宣傳と

廣告大博覽會

(一九二九・八・一四)

日本よりも狭少な領土に於て日本に劣らぬ人口を有するドイツは五百億圓の賠償金を背負つて困つてゐる。天然の資源の乏しい事及び食料の不足を外國に仰がねばならぬ事も我が日本に似てゐる。之れが爲めドイツは從來から大體に於て輸入超過の國であるが殊に最近四、五ヶ年は年々二、三十億マルクの入超を示してゐる。之れでは賠償金が支拂ひ得ぬのみでなく國の經濟が立つて行かない。故に今や國民經濟を一新して輸出増進貿易好轉を圖るべくドイツは一生懸命である。

廣告博覽會

輸出増進を圖るには製品の生産費低下、安價販賣は勿論必要であるが、同時にドイツ品の廣

告宣傳を爲すこゝが肝心である。この廣告宣傳といふ事になる。ドイツは餘り今まで進歩發展してゐない。ドイツの新聞なきを見て廣告に費されてゐる紙面はアメリカなきに比較は出來ぬのは勿論のこと、動もするに日本の新聞よりも少いと思はれる位である。或は金のないせいかも知れぬが、これでは販賣の増加を圖るのに甚だ不利である。

これではならぬといふのでドイツ政府後援の下にドイツ廣告協會が主催となり、今回ベルリンに一大廣告博覽會を催す事となり、八月十日より九月八日まで西郊カイザアダム(Kaiserdamm)に於て開會中である。これは第廿五回世界廣告會議がベルリンに開かれたので(八月十一日より十五日迄)それを機會の博覽會でもあるが、此の際ドイツの生産業者、商人、輸出業者をして廣告宣傳の必要なること及び宣傳の實際的方法を教へるこゝが博覽會の大なる使命である。

目新しい出品 會場を覗いて見るに歐米約二十ヶ國からの出品もあるが之等はほんの申譯的で大部分はドイツの出品で數百軒の廣告業者及び廣告用品業者が出品してゐる。參觀者は非常に多く、生産業者、商人、輸出業者もおほしき人々が盛んに詰めかけてゐる。出品も仲々興味のある目新しいものが少くない。二、三の例を左に書いて見る。

(一) **廣告用小型自動寫眞** これは主として陳列窓や比較的せまい場所で商品の廣告をする簡單な器械で、モーターで働かすのや、時計仕掛で動かすのなきがある、値段は二、三百マルク位であるが非常に新案なものが數種出品されてゐる。

(二) **廣告キネマ** ベルリンの常設活動寫眞館では最初に週間のニュース寫眞を寫した後で、本物の映畫を映寫する前に五分か十分間位必ず廣告映畫を見せる。廣告と言つても非常に面白い場面を利用した上手な廣告

であるから見物人が嫌ふ所が大喝采を送るのが常である。之れは廣告キネマ會社が廣告主の依頼を受け一手に營業して居るもので、ニュース映畫に於てアメリカのフォックス・ニュースの名前が有名である如くドイツでは廣告映畫としてエポック(Epoch Werbeilm)の名が有名になりつゝある。同社は此の廣告フィルムに關する興味ある出品をしてゐる。

(三) **生きた人形** 廣告に人形を用ふるのは別段珍しくないが自由自在に廣告の文字や繪を書く人形がある。これはアメリカの「電氣人間」のやうな仕掛けは違ふが一寸目新しい。別室で人が文字なり繪なりを書けば、器械によつて人形の手をその通りに動かす仕組になつてゐる。

(四) **ガラスの煉瓦** 乳色ガラスで造つた煉瓦状のもので中に電燈を點す事が出来る。優美な感じがして廣告用としては氣が利いてゐる。

(五) **自動封緘器** 多數の宣傳用書狀を出すのに便利なやうに封筒を自動的に封緘する器械である。簡單で値段も安く、大會社なきには必要な備品であらう。

右の外金屬製活動フィルム(アルミニウム製で光を反射して映寫するもの)も、鋼製の巻尺(二メートルの長さのスケールで、紙の如く薄くて堅いが同時に折曲げも自由なもの)も、簡單な顯微鏡(萬年筆大のもの)で二十倍乃至百二十倍擴大)も、その他色々目新しい變つた出品がある。又北ドイツ・ロイド汽船やハンブルグ・アメリカ汽船は自國船の利用を宣傳し、新聞社は廣告の増加を促す宣傳に努めてゐる。

兎に角ドイツが今やその製品の販路擴張の爲めに廣告宣傳を盛んにせんしつゝあるのは注目すべき所である。と同時にその廣告の方法に於て新案新工夫を凝らしつゝある事は見がしてはならぬ所である。世界廣告會議に參列した國際廣告協會々長ヤング・グリーン(米國人)は斯う言つてゐる。

『廣告利用の進歩發展してゐる事並に其の技術の點に於てもアメリカが諸外國に一頭地を抜いてゐるのは議論のない所だが、今回のドイツ旅行に於て我々アメリカ代表が益する點も決して少くない』云々。

第六回ドイツ

化學機械博覽會

(一九三〇・五・三)

六月十日より二十二日迄ドイツのフランクフルト・アム・マイン市に於て第六回化學機械博覽會が開催される。此の博覽會は AICHEMIA VI (Ausstellung für chemisches Apparatewesen の略稱) と稱し、主催者はドイツ化學機械協會 (Deutsche Gesellschaft für chemisches Apparatewesen E. V. 之を通常略して DECHEMA と云ふ) である。

研究と實踐 此博覽會は一般公衆に見せるのが目的でなく、主要眼目はドイツの化學者、化學工業家に最近に於ける化學界の進歩の跡を見て貰つて此の博覽會を通じて此の兩者即ち研究者と實踐家の協調聯絡を圖りドイツ化學工業の進歩發展に資せんとするに在る。兎角研究者と實踐家は連絡がうまく行かぬものであるが、ドイツでは此の點に注意を拂つてゐる。

ドイツ化學機械協會では本年の博覽會の爲に特別に年鑑を發行して博覽會の内容を詳細に豫告してゐる。

その沿革 此の博覽會の歴史を簡単に述べるに、元々ドイツの化學専門家の間に二つの委員會があつた。其一つは科學實驗所機械委員會で今一つは化學工業機械委員會である。所が兩者の協調がうまく行かず、ドイツ化學界の爲に惜しむべき事態にあつたので一九二〇年化學界の先覺者 Dr. Max Buchner, Professor Dr. Hans

Goldschmidt, Dr. W. Rabbe, Dr. Sauer 等の人達が發起となりて化學機械の博覽會を開催するに同時にドイツ化學者協會の總會を開いて化學界全體の融合を圖る事にしたのである。一九二〇年に第一回博覽會をハンノーヴァ市に催してから本年の第六回博覽會までを一覽するに左表の如くである。

年	回数	會場面積	出品者數
一九二〇年	第一回	五六二平方メートル	七五
二一年	第二回	一、三五四	九一
二二年	第三回	一、四〇七	一三九
二五年	第四回	二、六五〇	一一二
二七年	第五回	五、三〇〇	二六六
三〇年	第六回	七、〇〇〇	二八二

本年の出品 本年の博覽會は會館が四つあるが、各館の出品品目は次の如くである。

- 第一會館 (A) 科學器具及機械實驗室用品 (B) 計量器機類
- 第二會館 耐酸石、耐火粘土、其他の陶器工業製品
- 第三會館 (A) レーション工業に關する一切の機械、器具、及補助材料 (B) 化學に關する文献
- 第四會館 (A) 化學工業各種大機械、補助器具機械類 (B) 實際工場作業展覽 (C) 化學工業の原料、補助材料及消費材料

本年はレーション工業に關する出品に特に力を入れて居り第三會館は全部之れに當られてゐる。今迄レーション工

業の機械は何處の會社も秘密にして見せなかつたものであるが、今年は之れを全部公開するといふので注目を惹いてゐる其他特別に興味のあるものを二、三左に掲げて置く。

- (イ) アルミニウムに關する各種の出品
- (ロ) シルミン (Silumin)
- (ハ) 高度耐酸ハツエタ器 (Hochsäurefeste HAVEG-Apparate)
- (ニ) 耐酸建築材料プロドリット ("Prodorit")
- (ホ) 同上シリマニット (Sillmanit)

本年の出品者二百八十餘名は何れもドイツ著名の會社である。

飛行船と飛行機

ツエツペリンにて

瑞西一周遊覽飛行

(一九二九・一〇・一)

先月ツエツペリンが世界一周飛行をした時、同飛行船の乗組員及び乗客は日本で非常な歓迎接待を受けた。この事はドイツ國民に豫想以上に好感を興へてゐる。ベルリンで日本人がカフェーや食堂へ行くに同席のドイツ人からよくツエツペリンの話をし出す。時には地下電鐵の中でさへ話しかける人もある。それ程ツエツペリンの日本訪問はドイツ人一般に興味を起さしめ又同時にツエツペリンを所有してゐる事に非常な誇りを感じてゐるのである。

日本訪問飛行の際乗客の一人であつたステイテンクロン氏 (Stietenron) は日本で受けた接待を忘れ兼ね、謝意を表す意味を以て駐獨日本大使館を通じて日本の新聞社員及び大使館員等數名をツエツペリンに招待し度いし申込んで来た。即ち九月二十七日にツエツペリンがスイスの上空一周遊覽飛行をするから試乗され度いといふのである。筆者も他の三氏と一緒に招待されて幸ひにもツエツペリンに乗る機會を得た。

x

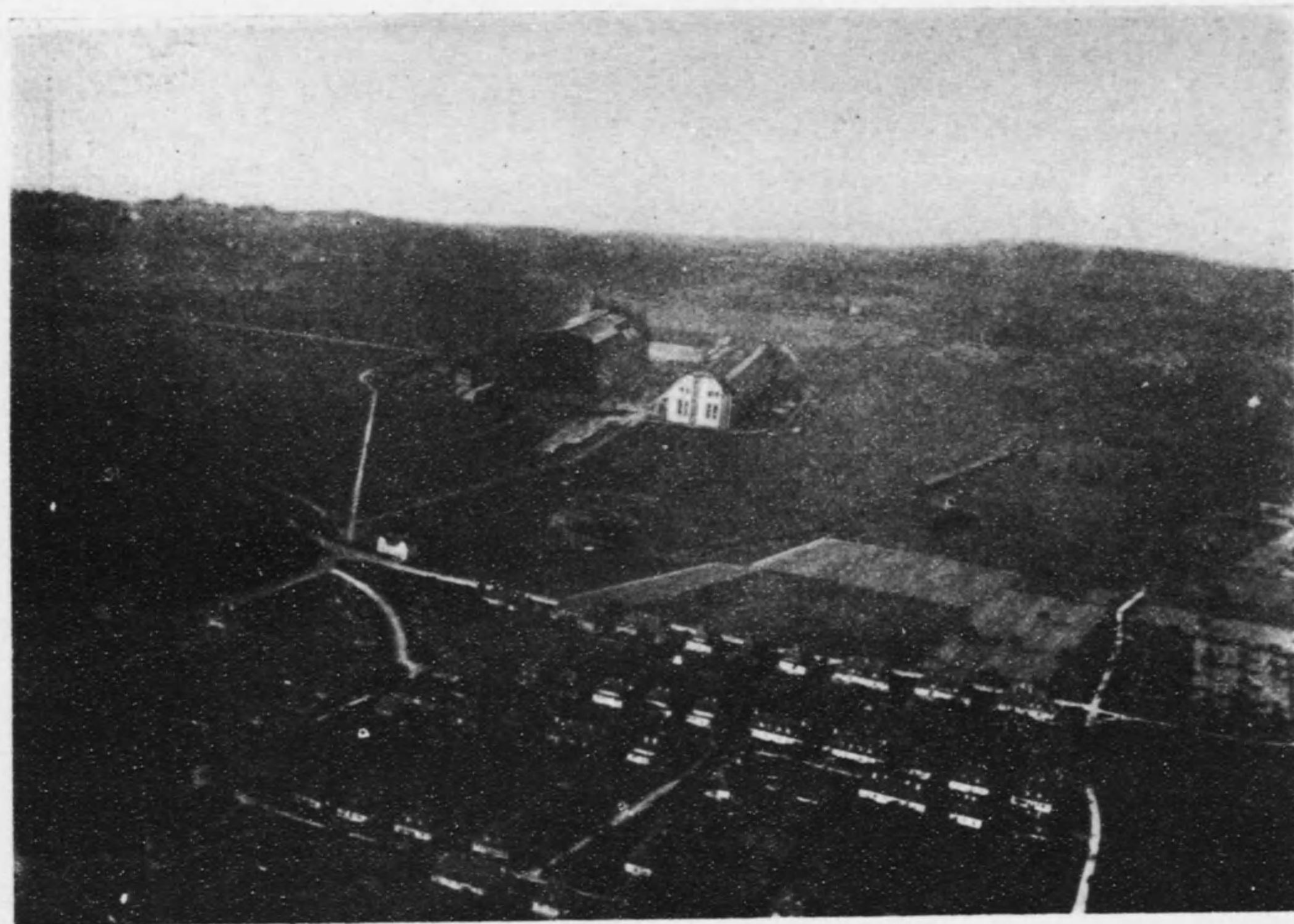
飛行船の出發地はフリードリヒスハーフェンである、同地はドイツの最南端でボデーゼー (Bodensee) という湖水を隔ててスイスに對してゐる。ベルリンを午後九時に發する急行列車で行くに翌日午前十一時にフリード

リスハーフェン (Friedrichshafen) へ着く。即ち七百八十キロメートルを十四時間で走るのである。此の汽車の速度は一時間五十五キロメートル (三十三哩) に當り、大して早くない、尤も此の區間は重要幹線ではない。汽車賃は二等で五十四ライヒスマルク (邦價約二十七圓) で日本の汽車と比較して餘程高い。總じてドイツの汽車賃は甚だ高いが、尙此の上に値上げ計畫なきが近頃新聞に載つてゐる。賠償金が崇つてゐるのである。

話が横道へ外れたが、フリードリヒスハーフェンの如き邊鄙な田舎にツェツペリンの根據地があるのは湖水が何か役に立つのであらう位に今迄考へてゐた。所が来て見るに飛行場は湖水から餘程離れた所にあつて何等關係がない、後で飛行船の副社長キャプテン・レーマン氏に訊ねて見た所、主に氣象關係から根據地を定めた次第でベルリン其他北ドイツは風が強く面白くないといふ。然し將來 (多分明後年) アメリカ其他定期飛行を始める事になれば大都市との交通聯絡の點をも考へねばならぬと氏は語つてゐた。但し著陸場を他に移す積りなのか否かは判明しない。兎に角フリードリヒスハーフェンには現在のツェツペリン格納庫の隣りに新たに一層大きい格納庫を新造中である。既に鐵骨の骨組みを終つて目下壁やガラス窓の取付けを急いでゐる。之れが完成すれば其格納庫の中で第二のツェツペリンを建造する筈で現在の十萬立方キロメートル餘に比し今度の新造船は十五萬立方キロメートルの容積を有するといふ話である。

フリードリヒスハーフェンの飛行場は案外に狭く、ベルリンのテムペルホフ (Tempelhof) に在るルフトハンザの飛行場に較べても餘程小さい。牧場に兼用といふ譯でもあるまいが飛行場の草を一群の牛が喰つてゐるなごも面白い。

x



フリードリヒスハーフェンの飛行船格納庫 *

Die Luftschiffshallen in Friedrichshafen.



フリードリヒスハーフェンに於けるツェツペリン *

Zeppelin in Friedrichshafen.

前置きが長くて本文が短かく、甚だ濟まぬ譯であるが、飛行船の試乗記は既に随分新聞に出てゐるから今更書くにも及ばぬと思ふのである。九月二十七日の朝八時半格納庫から出てボーデンゼーの湖水を渡りスイスに入つてコースを西に取り、アール河に沿ふてビール、ノイシャートル等を経てゼネバの上空を一周し、ローザンヌルーツェルンを通過して午後四時半フリードリヒスハーフェンに歸著した。此の日天気晴朗で風もなく上には白雪に蔽はれたユングフラウの峻峯やモン・ブランの英姿を望み、下には深緑色の數多の湖水を見おろし乍ら、誠に繪の如きスイスを三百メートル乃至二千メートルの上空から觀光する事は愉快な事である。此のスイス一周遊覽飛行料一座席に付四百マルク（約二百圓）であるが、汽車旅行に比較して決して高くはないと思ふ。従つて乗客も仲々繁昌で大概二十名以上乗つてゐる。

ツェツペリンは世界一周飛行完成後斯様にドイツ各地及びスイス等を盛んに飛んでゐるのである。

ツェツペリンの 南米訪問飛行

(一九三〇・五・二二)

空の巨船ツェツペリンは五月十八日午後五時ドイツの南端フリードリヒスハーフェンを出發し、南米、中米、北米訪問飛行の壯舉を完成した後六月六日午後無事フリードリヒスハーフェンに歸着した。一周に要した日數は前後三週間で、昨夏日本を訪問した世界一周以來の壯舉である。

飛行コース 飛行路はフリードリヒスハーフェンからスイス、フランスを横斷してスペインの南端ゼザイラに至り、其處から更にコースを南西に取つてアフリカの西方カナリシエ群島、カプフェルデイシエ群島の上空

をかすめて大西洋を横切り、ブラジルのベルナンブコを過ぎてリオ・デ・ジャネイロに至るのである。リオからは更に航路を北に轉じてキューバのハバナに出でニューヨークの近くのレークハーストに至り再び大西洋を渡つてスペインのゼヴィラに戻りドイツへ歸ることになつてゐる。途中ゼヴィラベルナムブコ、ハバナ、レークハーストに一日乃至三日位宛休憩する。

乗客と郵便物 乗組員四十三名の外に二十二名の乗客が乗つてゐる。乗船賃は左の通りである。

一周飛行	米貨	六、五〇〇ドル	リ	オ	迄	米貨	二、二五〇ドル
ハバナ迄	同	四、二五〇	レークハースト迄	同	四、五〇〇		

此の外に南米、中米行の郵便物を澤山搭載してゐる。ツエツペリンの出發した翌十九日ベルリンの飛行場からルフトハンザの飛行機が跡を追掛けてゼヴィラに行つた。これは更にドイツからの新しい郵便物を同地で飛行船に積込む爲である。丁度大西洋通ひの巨船へ海岸から飛行機を飛ばして郵便物を種込み、一日或は二日間をゼーヴするのと同じ方法である。南米側でも同じ事をやる。即ちツエツペリンがベルナムブコに着く迄即刻コンドア・シンヂカート (Condor-Syndikat) の飛行機がツエツペリンから郵便物を受取つてリオ・デ・ジャネイロ、モンテビデオ、ブエノス・アイレス其他南米各地へ連絡飛行する。斯くして從來十八日乃至三週間を要するドイツ南米間の郵便はツエツペリンによる三分の一以下の日數に短縮される。

飛行の目的 今度の南米訪問飛行はツエツペリン會社と歐大陸飛行界に覇を唱ふるルフト・ハンザ會社と提携しての舉であるが、目的は歐大陸南米間の定期航空路開設の試験飛行である。ツエツペリンは世界一周を敢行したが未だ熱帯の上空殊に子午線上を飛んだ経験がない。これを驗めす旁々南大西洋上の氣流観測なきが主な目的であるといふ。勿論二十數名の乗客と郵便物位でこの大飛行が經濟的に引合ふとは思はれぬが、茲に注目す

べき事が一つある。それはスペインが南米飛行路に對し異常なる興味を示してゐる事である。

スペインの力癩 ベルリナー・ターゲブラット新聞の傳ふる所によれば三年前にスペインにコロロン (Colon) といふ飛行會社が設立されたが、其目的はツエツペリンの助けを借りてスペインと南米間の定期郵便旅客航空路を開始するに在る。その爲スペイン政府は向ふ五ヶ年間に三千萬ペセタの補助金を支出する旨を決定した。尚一回の飛行毎に五十萬ペセタの追加補助金を交附する事になつてゐる。スペインが斯く南米飛行に力癩を入れるのは政治上及商業上の見地から本國と昔の植民地たりし南米諸國との間の郵便速達を圖らんとするに在る。此の爲めにスペインの南端ゼヴィラに大飛行場を設ける筈である。然しツエツペリンの如き巨船を使ふ事はその必要もなし又不經濟であるから小型の飛行船を建造して大西洋横斷に充て、ヨーロッパ及び南米大陸内はルフトハンザ及び其姉妹會社たるコンドア・シンヂカートの飛行機を以つて連絡する事にならうと云ふ。來年の春頃から實現するのではないかと觀測されてゐる。これが實現すればドイツと南米間の交通は著して短縮して通商貿易上に一大利益を得る事明かである。南米が世界の重要な輸出市場となれる今日、ドイツ南米間の航空路開設は注目すべきである。一方フランス側でもアゾレス島を経て南米に至る航空路を計畫してゐるこの事である。尚今回のツエツペリン飛行に對する南米の人氣は非常なものでベルナムブコの市民は『新しいコロロンブスへ』と銘記せるメダルをエツケナー船長に贈呈したといふ。

ドイツの飛行界

(一九二九・一〇・二)

ヨーロッパ大陸に於ける航空路の發達は目ざましいものがある。最も勢力を張つてゐるのはドイツのルフトハ

千三百十萬マルクを貰つた。而して飛行による収入が幾何あるか
といふは一九二八年が六百三十萬マルク、一九二九年は六百七十
萬マルクである。即ち營業收入よりも補助金の方が遙かに多い。
未だ仲々採算不引合の商賣である。

郵便物増加 昨年の飛行成績を見て注意を要する點は旅客
數が減つて反對に郵便物ミ貨物が増加した事である。

又新聞の輸送は激減してゐる。詳しい數字は下表の通り。

飛行の安全率 一方飛行の安全率は逐年増加してゐる。一
九二七年には五十二萬キロメートルの飛行に就て一人の負傷を出
したが一九二八年には七十七萬キロメートルに付一人の割合ミな
り、更に一九二九年には百五十萬キロメートルに付一人を示して
ゐる。即ち過去三年間に事故が三分の一に減少した譯である。

ドイツ主催の 歐洲一週飛行

(一九三〇・七・一八)

イギリスが過去半世紀に亘つて世界海運界に覇を唱える事が出来たのは、早くから船に眼を着けた事が最大原
因の一つであらう。將來世界の交通機關として航空機が重要な地位を占める時代が来るミすれば、今日から航空

	一九二九年	前年比較
航空路互長	三、四七五メートル	一〇%減
合計飛行距離	九、三〇五キロメートル	二%減
旅客輸送數	八七、〇九人	三%減
手荷物輸送量	六〇、千キログラム	三〇%減
貨物同	一、二〇〇千キログラム	一七%増
郵便物同	三、七〇〇千キログラム	一六%増
總收入(含補助金)	三、八六〇千マルク	三〇%増
一キロメートル當り輸送數		
旅客	一九二九年 二八人 二七年 三人〇八	
貨物(キログラム)	二、九〇九 二、八〇四	
郵便物(キログラム)	二、〇〇四 一、〇〇四	

(附記) 一九三一年の旅客輸送數は八萬六千人、合計飛行距離は八百七十萬キロメートル、總收入は二千七百四十萬マルク(内補助金千七百八十萬)である。

界の將來を洞察するの明ミ之れが實行に對する用意ミ決斷ミを有してゐなければならぬ。イギリスは既にインド及びアフリカへ、又オランダは蘭領東インドへ航空路を持つてゐるドイツは歐大陸に於ける航空網の外にツエベリンや百六十人乗りの大きな航空艇によつて近く北米及び南米に航空路を開かんミしてゐる。

小型飛行機 右の如く一方長距離の國際的航空路發達ミ共他方に於て見逃がし難いのは小型飛行機の發展である。將來自動車が飛行機に變る時代が來はせぬか。自家用自動車を買ふ代りに自家用飛行機を月賦で買ふ時代が來るのではないか。現にアメリカでは飛行機の大量生産時代に入りつつあるミ云ふ。ヨーロッパでも小型飛行機の發達には非常に力を入れてゐる。

飛行競争の目的 七月二十日から八月七日迄ヨーロッパの國際飛行競争が行はれる、これ等は小型飛行機の發達に大いに關係があるからその大要を左に紹介しやう。

國際飛行競争は Internationaler Rundflug 1930 と言つてこの競技は昨年フランスの發起で創始されたのであるが、昨年の勝者がドイツであつた爲今回はドイツが主催者となりドイツ飛行クラブ(Aero-Club von Deutschland)がその衝に當る。

競技の目的は小型で安價な旅客機にして而かも次の様な條件を備えた飛行機の發達を促進せんミするに在る。

- 一、速力の早い事。
- 一、安全な事
- 一、取扱に便利な事。
- 一、經濟的なる事。

價格の安い事が一番大切である。従つて競争に出るのは重量四百キロ以下及び二百八十キロ以下の二種の陸上

輕飛行機に限つてゐる。

七ヶ國九十機 競技参加國は獨、佛、英、スペイン、スイス、チエツコ、ポーランドの七ヶ國、参加機數は約九十機である。その中ドイツから加はるのが四十機以上に上る。出發點はベルリン市内テンベルホフ(Tempelhof)飛行場で左の徑路によりヨーロッパを一週して再びベルリンへ戻るののである。

ベルリン、フランクフルト、カレー、ロンドン、ブリストル、パリ、マドリッド、ゼヴィラ、バルセロナ、リヨン、ベルン、ミュンヘン、ウイン、ブラーグ、ワルソー、ケーニヒスベルク、ダンチヒ、ベルリン。

此の飛行路總長は七千五百六十キロメートルでこれを八日間(最短)乃至十二日間(最長)で飛ぶことになつてゐる。これは晝夜連続の飛行競争ではなく、夜はホテルで宿泊するのである。それでも最短期間に飛ぶ人は一日千キロメートル平均を突破する譯である。

飛行場の中には地理的又氣象的の種々の難所を含んでゐる。例へば三十五キロの英佛海峡とかピレネー連山、スイスの山岳地方の如きである。特にスペインの高山地方では容易に不時着陸が出来ぬからモーターの安全率に對するよい試練となる。

優勝者の決定 競技の優勝者は必ずしも一番早くベルリンへ歸着したものではない。優勝の決定は純粹の飛行時間を基礎とするのであつて、陸上に於ける休憩時間は算入しない。指定の飛行路は八日乃至十二日間で飛べばよいのである。純粹の飛行時間を調べる爲め途中に二十七ヶ所の強制着陸場を指定する。此の着陸場相互間の距離は大體二、三百キロメートルである。

けれども早いばかりが能でなく飛行の安全性に就て重大な注意が拂はれてゐる。即ち飛行競技は七月二十日から同三十一日迄で終るが、引續き八月一日より七日迄飛行機の性能競技が行はれる。この競技では安全、便利、

經濟等の諸點を調べるので、例へば――

一、燃料使用量の多少 一、離陸及着陸の性能良否 一、上昇及下降具合の良否
一、機體構造の良否、即ち耐火設備及二重舵機の有無、操縦者及同乗者席の便不便、落下傘の性能如何等の諸點を審査し審判者合議の上夫れ夫れ點數を付ける。此の點數を飛行競技の成績を參照して優勝者を決定するのである。

賞金と賞品 競技の優勝國は優勝賞金二萬フラン(昨年創始に際してフランス飛行クラブより提共したものを)を明年迄保持する權利を得る。この賞金は昨年ドイツ飛行家モルチック氏(Fritz Morzik)が獲得したのである。而して三回優勝するに賞金は自分のものとなる。尙副賞として本年の競技にはドイツ交通大臣より飛行機一臺を優勝者に贈呈する外、多數の都市や會社其他關係者から賞金、賞杯、賞品を寄贈してゐる。

〔附記〕一九三〇年の右飛行競争はモルチック氏が再度優勝した。三一年は競技見合せになつたが、一九三二年八月下旬舉行の第三回競争ではポーランドの飛行大尉ツヴィルコ氏(Swirko)が優勝した。モルチック氏は惜しくも三等になつた。従つて明年はポーランドが競技を主催する筈である。

新スポーツ

『帆の飛行機』の話

一九三二・六・九

ドイツ青年のスポーツ熱は近年非常なもので、それが爲めビールの消費量が減るにビール會社が恐慌を來してゐる云々。

まさかそれ程でもあるまいが、然し兎に角テニス、ゴルフ、ボート、蹴球、陸上、水上競技、其他あらゆる種

類のスポーツが大流行である。中でも最も新しく且つドイツ獨特のスポーツとして茲に無發動飛行を紹介し度いと思ふ。私は今度暫く歸朝するに際し、此の無發動飛行機の活動フィルムを持つて歸つて来た。ドイツではこれを『帆の飛行機』(Segelflugzeug) といふ。英語ではグライダー (Glider) とい呼んでゐる。このフィルムはドイツのミュンヘンに在るエメルカ教育映畫會社 (Emelka Kultur Film G. m. b. H.) の製作に係るもので、短かい輕快な映畫である。

無發動機の起源 大體今日素晴らしい發展をしてゐる飛行術は元を問へば發動機無しの飛行機から起つたものである。既に四十年も昔にドイツのリリエントール (Otto Lilienthal) といふ青年飛行家は發動機なしの飛行機で一千回以上も飛んでゐる。同氏は其後墜落慘死を遂げたが、ドイツ飛行術の始祖としてベルリン西南郊 Lichtenfelde 公園には同氏の記念像が建立されてゐる。又同氏の使用した無發動飛行機はミュンヘンのドイツ博物館に陳列してある。

歐洲大戦中に今日の飛行機が非常な急發展を遂げたので無發動飛行術は其間一時等閑に附せられてゐたのであるが、講和成立後再びドイツでは其研究熱が起り最近十年間に素晴らしい發展をした。而かも其れはドイツ青年のスポーツとしてである。

中央ドイツのレーン (Rhön) といふ所や北海岸地方では此の無發動飛行のスポーツ熱が殊に盛んで、澤山のドイツ青年がこの研究に浮身をやつして居り、クラブも組織されてゐる。殊に最近數年間は毎年世界競技大會が催され、五、六十機の無發動飛行機が参加する、アメリカなまからも遙る参加する。一九二八年の大會は非常な盛會で新記録なども出た。前記のフィルムの中には其の時の光景も寫してある。

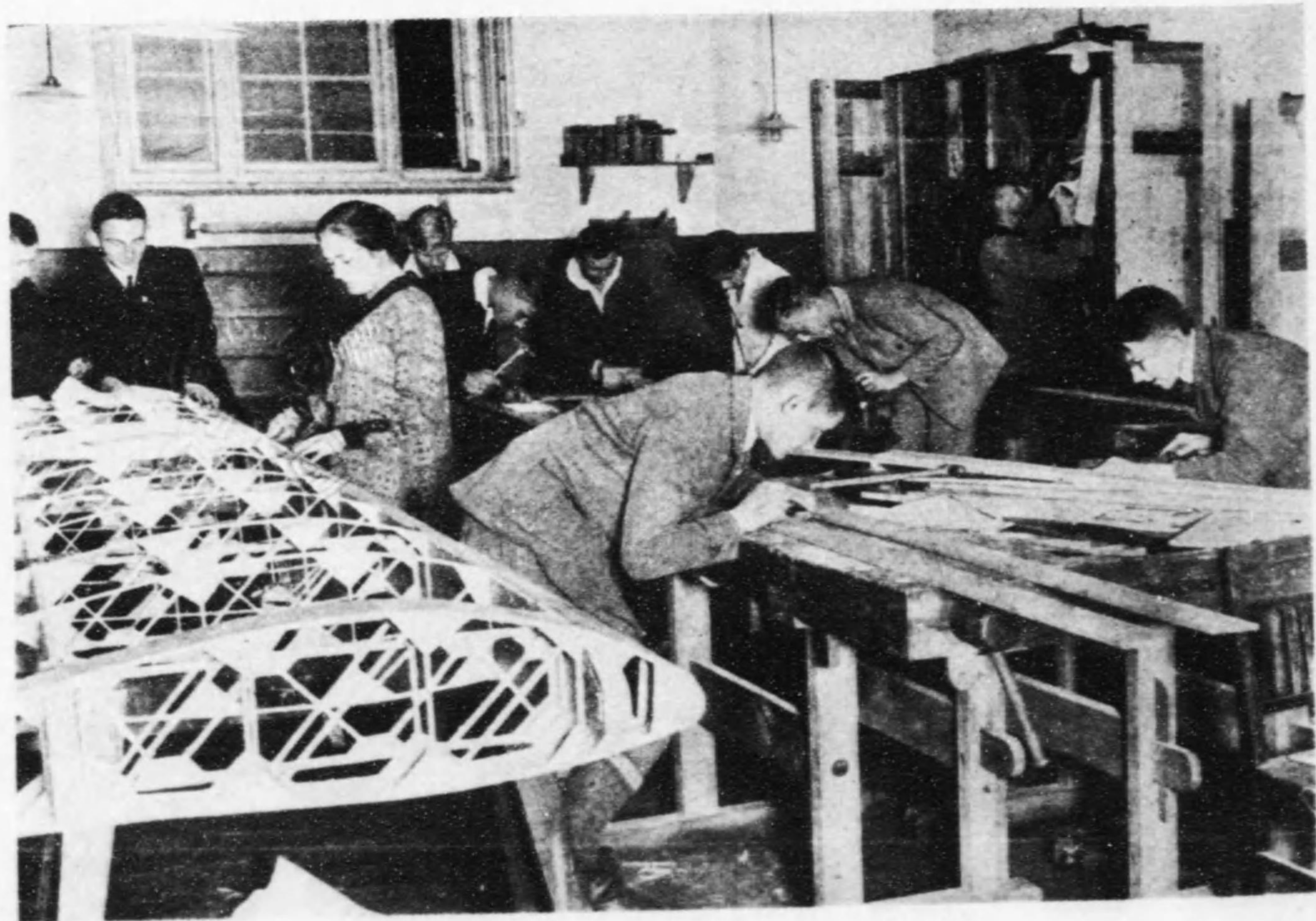
飛ぶ方法

一體無發動機でどれ位飛べるかといふに今日迄の所滞空時間十五時間といふのが一番長いレコ



ドイツ北海岸を飛ぶ帆の『飛行機』

Das ideale Segelfluggelände. Dünenhügel am Nordseestrand.



スポーツ青年の『帆の飛行機』製作

Segelflugzeuge werden von jungen Sportsleute gebaut.

ードである。又飛行距離は今日迄クロンフェルト氏 (Kronfeld) が百六十二キロメートル(約四十里)の記録を持つてゐた。所が今日から一ヶ月前、即ち去る五月五日に更に新記録が作られた。それはグリーンホフ氏 (Gronhof) といふドイツ人で二百六十五キロメートル(約六十五里)を一気に飛んだのである。

大體無發動機が飛ぶのは通例小高い岡の上から出發し平野の上に向つて飛ぶのである。發動機が無いから滑走といふ事が難かしい、それで普通は機體の前方に太いゴム紐を取り付け、これを十人位の人達が走り乍ら引張る相當の距離迄引張つた後一氣に放すゴム紐の弾力で機體は空中に放たれて飛び始めるのである。一旦機體が浮べば其の後は空中に於ける風や壓力の關係で飛行が繼續出来るのである。

極最近の新記録 所が去る五月に新記録を作つた前記の Gronhof 氏は右に異り新しい方法で飛んだそれはミュンヘンの飛行場で普通の定期航空機に引張つて貰つて上空七百メートル位まで昇り、其處から獨力で飛行し始めたのである。ミュンヘン市の上空を一千メートル位の高さで一周して東北の方向に向つた。朝早く出發したのであるが夕暮れになつてカールスバート (Karlsbad) の背後のチェッコ領土に無事着陸した。此の距離二百六十五キロメートルで、今迄の世界記録より約百キロメートル方遠く迄飛んだのである。『帆の飛行機』の機體は大概木造であるが、右グリーンホフ氏の使つたのは翼の長さ二十メートル以上の大型機である。機體の如きは主として自分自身で製作するのであるが、又この種の無發動飛行機を作る會員組織の會社もある。右新記録を作つた機體は Rhin-Rositen-Gesellschaft といふ無發動飛行クラブである。

科學思想に富むドイツ青年の新スポーツとして誠に面白いと思ふ。

汽船會社の合同

ドイツ汽船の合理化

(一九三〇・五・三一)

ドイツの二大船船會社の友愛結婚——ハンブルグ・アメリカ汽船と北ドイツ・ロイド汽船とがインテレッツセンゲマインシャフト(利害共同契約)を結んだ事は曩に報道した通りである。(一九三〇年五月二十日新聞聯合社發行の小冊子『合理化せる獨逸』中に此の内容が詳報してありますから御参照を乞ふ)之れにより經營の合理化を圖るべく兩社では着々計畫を進めてゐる。

航路の整理 經營合理化中の一大眼目は兩社航路の整理統一である。五月二十七日發表された所によればその第一着手としてドイツからアメリカ太平洋岸に至る兩社の航路を合併する事になつた。

ハンブルグ・アメリカ汽船は従來七千トン級の新造モーター船五隻及び新造タービン汽船二隻都合七隻を以てハンブルグからアントワープ、バナマ、ロスアンゼルス、サンフランシスコを経てヴァンクーヴァーに至る貨物旅客航路を開いてゐる。毎二週一回出帆、航海所要日数は約四十日である。

一方に於て北ドイツ・ロイド汽船はブレメン港を發し右と同じ途を通つてアメリカの太平洋岸に至る航路を現在持つてゐる。毎三週一回出帆で之れにモーター船三隻と汽船二隻合計五隻を配してゐる。噸數は七千噸乃至九

千噸である。

共同運航 勢ひ兩社は競争の形になつてゐたのである。所が今回の利害共同契約の結果として右兩社の航路は合併して一航路として兄弟艦に闘ぐを廢めて共同運用を實行する事になつた。その大要は次の如くである。

- (一) 出帆日を毎十日一回とする事。之れは従來の各社毎二週又は毎三週一回に比し著しく早くなる。
- (二) 配船數を合計十隻とする事。従來の兩社配船數合計十二隻に較べて二隻減する。整理した二隻の船は他の航路へ廻はす。十隻中ハンブルグ・アメリカ社の提供するものは左の七隻で何れも新造優秀船(速力一時間十五ノット)である。

Los Angels	(モーター船	六、七〇〇噸)
Oakland	(同)	同)
Portland	(同)	七、一〇〇噸)
San Francisco	(同)	六、八〇〇噸)
Seattle	(同)	七、五〇〇噸)
Tacoma	(タービン汽船	七、六〇〇噸)
Vancouver	(同)	同)
北ドイツ・ロイド社は左の三新造船を配する。(速力一時間十六ノット)		
Donau	(汽船	九、〇〇〇噸)
Este	(同)	七、九二五噸)
Schwaben	(同)	七、七二三噸)

- (三) 兩社の船は一隻置きに交替に出帆する事。ハンブルグ・アメリカ社は七隻を出す、その中二隻は北ドイツ・ロイドの手に運用を委す事。
- (四) 出發港及寄港地は次の通す、即ちハンブルグを發したる後三日目にブレメン港を出帆す。更に三、四日後にアントワープを出港してバナマのクリストバル(Cristobal)に直航す。それより太平洋岸に出でロスアンゼルス、サンフランシスコ、ヴァンクーヴァー、シアトル、タコマ、ポートランドに至る。
- (五) 此の合併新航路は五月三十一日より實行する事。その第一船としてハンブルグ・アメリカ社のヴァンクーヴァー號が同日ハンブルグから就航する。
- 貨物と旅客 因みに此の航路は貨物が主で旅客は従である。ハンブルグ・アメリカ社の船は何れもキャビン二十四名、三等二十四名で、賃金はハンブルグ・アメリカ社と桑港間キャビン米貨三百ドル、三等二百ドルである。
- 北ドイツ・ロイドとハンブルグ・アメリカ社の航路中には他にも重複競争の形のものがあるから之等は陸續整理して新航路を開設し今後は競争の目標を専ら外國船に向ける事になるであらう。而して大戦前の世界海運界に於けるドイツの地位を回復する覺悟を示してゐる。兩社の船は殆ど全部新造の優秀船である。

ドイツ二大汽船の 極東航路合理化

(一九三〇・六・二一)

ハンブルグ・アメリカ汽船と北ドイツ・ロイド汽船の兩社が契約成立後第一着手として實行に取掛かつたのは航路整理である。ドイツからアメリカ太平洋岸に至る航路を先づ整理統一した。之は五月卅一日附の報告に書いた如くで



ある。更に今回はハンブルグより日本に至る極東航路を統一改善する事になり、去る六月十日より既に實行してゐる。これは日本郵船の歐洲航路に對する競争航路であるから日本でも安閑としてはゐられまい。

ドイツ二大汽船の極東航路は従來左のスケヂュールによつてゐた。

△ハンブルグ・アメリカ社

(極東A航路)

往航 ハンブルグを起點としてロッテルダム、ゼノア、ポートサイドに寄港し、コロンボ、シンガポール、香港、上海、神戶、横濱に至る。

復航 神戶から天津、大連、青島、上海、香港、マニラ、シンガポール、コロンボに寄港してヨーロッパに至る。

二週一回出帆でハンブルグより神戶迄五十五日、ゼノアより神戶迄四十日である。就航路船は大部分新造モーター船で七、八千噸級の快速船十隻である。旅客を主として貨物を従としてゐる。

(極東B航路)

ハンブルグを起點としてロッテルダム、ポートサイドに寄港しベナン、スウェツテンナム(海峽植民地)、マニラ、上海、門司、神戶、横濱に至る。

二週一回出帆で所要航海日數も略A航路と等しい。就航船は六千五百噸乃至八千噸級の汽船及びモーター船で此の航路は貨物を本位とし旅客を従としてゐる。

△北ドイツ・ロイド社

(極東A航路)

航路及航海所要日数はハンブルグ・アメリカ社のA航路と略同じである。二週一回出帆で七千噸乃至九千五百噸級の汽船十隻（客船、貨物船各五隻）を配してゐる。

（極東B）航路

ハンブルグ・アメリカ社のB航路と略同じで二週一回出帆し六千噸級の貨物船を配してゐる。

要するにハンブルグ・アメリカ社も北ドイツ・ロイドも従来は毎週一回客船と貨物船と交互に一隻宛極東航路へ配船してゐたのである。今回兩社の航路を合併した結果六月十日より左の通り改善された。

- (一) 兩社船の起點をブレメン港とし、ハンブルグ、アントワープ、ロッテルダム、ゼノアに寄港する事。
- (二) 寄港各地に於ける兩社の荷積場及波止場を統一合併する事。
- (三) 一週二回出帆する事。

従来も兩社船を通算すれば一週二回の割合になつてゐたが、今回の合併で寄港地及び積卸の設備が統一され、旅客及び積荷人は著しく便利となる。船積貨物は受付日を制限せず毎日受けける。

因みにハンブルグから神戸迄の兩社客船の一等乗船賃は九十ポンド（約九百圓）貨物船による同賃金は七十五ポンド（七百五十圓）である。

序で乍ら歐洲大戦中に押收された船の代償としてハンブルグ・アメリカ社は四千百八十萬ドルを、又北ドイツ・ロイドは二千七百二十萬ドルをアメリカから貰ふ事になつた。

獨逸合同汽船の業績

（一九三一・四・一〇）

長年の懸案たりし日本郵船と大阪商船との提携が成立したといふ報導を得て私も嬉しく思ふ。これはドイツの漢米汽船と北獨逸ロイドの合同に促進されたのだと言ふ。何にしても日本海運界の爲に喜ばしい事である。

ドイツの漢米汽船と北獨逸ロイド汽船とが「企業の友愛結婚」たるインテレンゲンシャフト（Interessengemeinschaft）を結んだのは丁度一年前（一九三〇年三月下旬）の事であつた。友愛結婚後一年の成績は如何最近發表された兩社の年報を基礎に其内容を研究して見やう。

Hapag-Lloyd-Union 漢米線と漢米汽船と云ふのはハンブルク・アメリカ汽船（Hamburg-America-Linie）の事である。ドイツ人は通常之の社名を略してハバク（Hapag）と言ふ。資本金一億六千萬マルク（邦貨約金八千〇五十萬圓）、海洋船總噸數約百萬トンと所有してゐる。本社はハンブルクにある。

北獨逸ロイド（Der Norddeutsche Lloyd）は本社がブレメン港に在つて資本金一億六千五百萬マルク（約八千二百五十萬圓）海洋船八十六萬トンと擁してゐる。世界一の快速巨船ブレメン號及びオイローバ號を持つてゐるのは同社である。

右ドイツの二大汽船は名稱は其儘存置して事實上の合同をやつた。即ちドイツ汽船同志の競争を廢めて外國船に對抗せん爲である。

兩社の合併總噸數は海洋船のみでも百八十六萬トン、之れに小型船をも加へると二百〇五萬トンに上り、ドイ

ツ所有船舶噸數の半分を占める。資本金は兩社合計で三億二千六百萬マルク（邦貨一億六千三百萬圓）である。世間では兩社を一括してハバク・ロイド・ウニオン（Hapag-Lloyd-Union）と稱えてゐる。

〔備考〕日本郵船と大阪商船の公稱資本金合計は二億圓餘、海洋船總噸數は兩社合計百十萬トンである。

漢米線の減收、ロイドの増收 一九三〇年中の兩社の収益合計は七千四百萬マルクである。前年（一九二九年）は一億一千二百萬マルクの収益を擧げてゐた。即ち昨年は一昨年に比し三千八百萬マルク方の大減收を示したのである。斯様な収益激減となつたのは漢米汽船の成績が不良であつた爲で、北ドイツ・ロイドの方は反對に増收といふ不思議な現象を示してゐる。即ち漢米線は前年度に比較して約二割方の収入減少、北獨逸ロイドは約一割の収入増加を見積られてゐる。

合同後第一年の營業成績が悪かつた原因は何であるか。

（一）農産物輸入激減

ドイツ政府は農村救済の爲に輸入農産物の關稅を昨年來著しく引上げた。その爲め外國よりの農産物輸入は昨年は一昨年に比し價格に於て八億マルク方、數量に於て百五十萬トン方減少した。勿論輸入農産物全部が船で運ばれる譯ではないが、此の農村保護政策が、ドイツの船會社に大打撃を與へたのは云ふ迄もない。これに因る運賃収入の減少は漢米汽船が一千萬マルク、ロイドが五百萬マルクを見積られてゐる。

（二）運賃激落

ドイツ統計局の調査によればドイツ船の貨物運賃指數は昨年中平均九十二を示してゐる。これは一九二九年の平均指數百〇九に比し非常な激落で、又大戰前（一九一三年）の百よりも八ポイントも下がつてゐる。これは大戰以來の最低である。

（三）北米の移民制限

アメリカ及びカナダは昨年來失業對策の一つとして外國移民入國を極力制限してゐる。又一般乗客も不景氣の爲め儉約してなるべく安い船室で辛抱する。これ等の關係による乗客運賃減少も可

成りの巨額に上る。

（四）漢米線の減收

一般輸出入減少と貨物運賃低落による打撃は漢米線が殊に著しく大きい。何故ならば同汽船の収入は平常貨物が七割、乗客が三割だからである。同社の昨年中の貨物運賃減收は四千萬マルク（二千萬圓）に達した様子である。又同汽船の昨年の乗客運賃數は一昨年に比し五パーセント方減つた。

之れに反し北獨逸ロイドの方は乗客を主とするが、同汽船の昨年中の乗客収入は一昨年に比して約二割方増加した。主たる原因は巨船ブレン號の姉妹船オイローバ號が昨春完成し、この二大快速船を以て大西洋航路の乗客を多數に吸収し得た事にある。而して、漢米線の右の大減收の穴埋めにロイド側から六百萬乃至八百萬マルク（三百萬圓乃至四百萬圓）を廻したものと世間では見てゐる。

空前の世界不況に當り尙斯くの如き利益を擧げたのは世界の汽船會社中でも北獨逸ロイド以外にあるまい。

友愛結婚の成績

合同後の第一年が運悪くも斯様な世界不況にぶつゝかることは兩當事者は考へ及ばなかつたであらう、此の厄年に於ける不成績を見て直ちに友愛結婚の効果を不良なりと即斷する事は穩當であるまい。最近發表した年報に於て過去一年間の合同の効果に關し兩社は次の様に述べてゐる。即ち兩社經營の合理化及び經營費の節約は未だ満足すべき點迄には達してゐないが、然し厄年に於ける試験には十分及第したと言つて差支へない。

先づ第一に配船の統一と航路の整理は略ぼ申し分なき迄に斷行した。其結果乗客及び貨物の吸収上に於ても好成績を擧げ、又貨客船腹の供給上に於ても互ひに有無相通する事が出來た。未曾有の厄年に於ける収入減少を右の程度で喰止め得たのはこのお蔭と言つてよい。

第二に經營費の節約といふ點である。昨年は未だ完全には行かなかつたが兎に角少なからぬ節約が出來た。こ

これは兩社の組織及經營方法を比較統一し出來得る限り簡單化した結果である。昨年の兩社の經營費は四千百萬マルクで、一昨年の四千五百六十萬マルクに比して四百六十萬マルクの減少を示してゐる。

漢米線は昨年中最高一割二分迄の繋船をしたが、これは單に不景氣に基く貨物減少のみに因るのでなく、前記の航路に配船の合理化の結果である。又これに伴ふて人員及び物件費に於ても海、陸上共に節約が出來た事が大きい。漢米線の従業員數は一九二九年には一萬八千四百人であつたのが、一九三〇年末現在では一萬七千一百人に減少してゐる。

兩社經營の合理化は本年度以後に於て更に一段促進されるものと期待されてゐる。

新造船完成 世界海運界が青息吐息の折柄である。イギリス汽船の重鎮キユーナード線でさへ無配當を發表した。之れは實に一九一〇年以來の事である。之れに對しドイツの『漢米ロイド合同』は兎に角昨年度に對し六分の配當をする事が出來た。

〔備考〕 一九二九年度は漢米線は七分、北獨逸ロイドは八分の配當であつた。

これには幸運も手傳つてゐる——云ふのは大戦當時損害を受けた船舶の賠償として漢米線に北獨逸ロイドは合計三億マルクの賠償金をアメリカより貰ふ事になつた。その第一回支拂として昨年度の決算中に三千四百萬マルクを繰り入れてゐる。

兩社の造船計畫は一先づ完成の姿である。即ちロイド社はブレメ

漢米ロイド合同業績表

	一九三〇年	二九年
資本	三二六	三二六
積立金	四三	四一
營業利益	七四	一一二
諸引利益	四一	四六
差引利益	三三	六六
賠償收入	三三	—
賠償其他償却	四七	四一
配當金	二〇	二五
所有船總價格	六二六	五二一
噸當り帳簿價格	二〇五	一九三
噸當り帳簿價格	三〇八	二七〇

ン號ミオイローバ號で客船界に覇を唱え、漢米線は高速優秀モーター貨物船八隻を昨年末迄に完成した。何れも七、八千噸級で合計六萬一千トンに上る。而して同社が一九二七年以來三〇年末迄に新造船に投じた資本は二億三千五百萬マルクに及んでゐる。

昨年度に於て兩社は船價其他を四千七百萬マルク償却した。之れは一昨年中の四千〇六十萬マルクに比して六百五十萬マルク方増加してゐる。然し所有船の帳簿價格はトン當り向一昨年の二百七十萬マルクから昨年は三百〇八マルクに増加してゐる。本年は償却を更に増加する事にならう。(註、英國キユーナード汽船の帳簿價格はトン當り三百二十萬マルク見當である)。

ハパク・ロイドの大整理

(一九三二・六・三〇)

一九三二年六月廿八、九兩日の株主總會に於いてドイツの合同汽船即ちハムブルグ・アメリカ及び北ドイツ・ロイド兩社の徹底的整理案が可決された。

欠損の原因 兩社の昨年中欠損額は合計三億五千萬マルクに達して居る。この大きな損失を招いた原因は次の如くである。

- 一、世界諸國が競つて關稅障壁を高め、所謂目給自足の經濟を計らんとする傾向のため、貨物の輸送が激減した。
- 一、船舶運賃の世界的標準となつてゐるイギリスの貨幣が下落しその爲大損失を受けたこと。

一、各國の一般的購買力が激減し貨物のみならず旅客輸送が大減少した。右の如き状態にてドイツ汽船の繋船は所有總トン数の四分一近くに及んでゐる。

一、一般物價下落に伴ひ所有船價を切り下げねばならぬこと。
ハバク・ロイド 北ドイツ・ロイドは世界一の快速巨船プレーメン號及びオイローバ號を所有し、大西洋に於いて旅客を吸収してゐる結果、同社の業績は比較的良いらしい。

之に反し貨物船を主としてゐるハムブルグ・アメリカ社は多大の損失を招いた如くである。尤も兩社は一昨年来利害共同契約 (Interessengemeinschaft) を結び損益を共通にして居るため、はつきり分らないが、共同のバランス・シートを作る前にロイド側からハムブルグ・アメリカ側へ七、八百萬マルクの金を廻した模様である。併し一方に於いてロイド社はドイツの小汽船會社ハムブルグ南米線 (Hamburg-Südamerikanische Dampfschiffahrts A. G.) を提携する爲同社の株式を一千二百萬マルク方買入れたが、この買入れ金の一部に對し、ハムブルグ側より補助した如くである。

補填の方法 發表された所に據ればハバク社(ハムブルグ・アメリカの略稱)は昨年中の損失切捨額一億八千二百萬マルク、又ロイド社は一億七千四百萬マルクに達してゐる。
この巨額の缺損額は次の如き方法にて埋め合はされた。

- 一、兩社共資本金を三對一の割合にて、即ち六十七%方切り捨てたのである。この結果今迄各々一億六千萬マルクの資本金が各五千四百五十萬マルクに減少した。
- 一、積立金及びアメリカより受取つた船舶賠償金は全部缺損埋めに充當した。
- 一、法定積立金(資本金の一割)の他に新に特別積立金を兩社各々二千四百萬マルク設定した。

一、右積立金設定並びに缺損補填の爲ドイツ政府は兩社に對し、銀行を通じて七千萬マルクの貸付を行つた。右の如くドイツの大企業が思ひ切つた大整理をなせることは注目すべき點である。本年三月の銀行大整理にも、又最近の製鐵業整理にもドイツ政府が常に干渉して、國家の勢力を之等大企業に扶植しつつあることは注意を要する。

船價大切捨 船會社の切捨額が右の如く非常に大きいのは、所有船舶の評價を思ひ切つて引下げた爲めである。即ちロイド側では登録トン數一トン當り九十九萬マルク(約五十四圓)方切り下げ、又ハバク社は同じくトン當り百〇五萬マルク(約五十二圓)方切り捨てた。之は割合で言ふとロイド側が二十八%、ハバク側が三十一%半方の切捨に當る。この結果現在に於いてはロイド社の所有船はトン當り平均二百五十五萬マルク、又ハバク社は二百二十九萬マルクの新評價となつてゐる。

古船の解体 右大整理に關聯して注意を要するのは比較的古い船を思ひ切つて解体しつゝあることで、優秀快速船でなくては世界の海運界で競争不可能だと言つてゐる。而して總トン數五十萬トン位は解体せんとする模様である。この古船解体に對しては政府でも若干の補助を與へるらしい。

一方に於いてハバク社は優秀モーター船を二隻新造中である。この新造船はヨーロッパ西印度間の航路に配船する筈で、從來同區間に

兩社損失補填額

	(一九三一年)	(一九三一年)
	(單位百萬マルク)	(單位百萬マルク)
	(ハバク)	(ロイド)
(1) 營業收入	二〇・四	一八・一
營業支出	二五・〇	二七・三
(1) 營業缺損	四・六	九・二
切捨額	一五三・七	一四〇・五
積立金設定	二四・〇	二四・〇
(2) 損失合計	一八二・三	一七三・七
株式減資	一〇六・五	一〇三・一
積立金支出	三八・〇	四六・五
賠償金受取	三七・八	二四・一
(3) 損失補填計	一八二・三	一七三・七

(註) (1)は本文にも書いた如く兩社の収益損失を共通計算した後の數字である。

就航してゐた四隻の速力の遅い採算不引合の古船を引上げる。

同時に営業組織の合理化、單純化を計つて經營の大節減を行ひ、他方外國の船會社も不必要な競争を出来る
丈け避ける方針を採るものが見られてゐる。

一昨年兩社の提携、即ちインテレッセンゲマインシャフト（利害共同契約）を作つたことは甚だ有意義であ
つたが、折悪く世界的大不況に遭遇して、所期の成績を上げるこゝが出来なかつた。併し之は決して契約そのも
のノ罪ではない。今回の大整理を機として再び世界海運界に乗り出すべく着々準備を進めてゐる。

優秀快速船 ドイツの所有船舶總トン数は今日約四百二十萬トンで、トン數に於いては日本と略々同じく
世界の第三位を争つてゐる。併し内容では日本は到底ドイツに及ばない、之は日本に古船が多いに反し、ドイツ
は戦後に於ける新造船のみで古船は全部戦争中に列國に分捕られて了つた。ハバク社の貨物船の如きも一時間十
五ノットの快速力を出すモーター船が多い。日本の歐洲航路旅客船等よりは遙かに快速である。

ハバク及びロイド兩社の總トン數はドイツ全體の約半分を占め、昨年は又ハムブルグ南米線（所有船舶二十一
萬六千トン）をも提携が出来たので、ドイツの海運界は事實上ハバク・ロイド汽船の獨占的狀態にある。最近發
表したハバク社の年次報告中にも『世界大不況の折柄ではあるが、ドイツの海運界は決して悲觀する必要を認め
ぬ』と述べてゐる。

鐵道の高速化

プロペラ高速鐵道

（一九三〇・一〇・二七）

今日はスピードの時代である。超特急「燕」號が東京神戸間六百キロメートルを八時間五十五分で走る様にな
つた。一時間平均六十七キロに當る。ドイツの急行列車はベルリン、ハンブルグ間二百九十キロメートル即ち東
京神戸間の約半分を無停車にて三時間十五分で突走する。一時間に九十キロ平均を走る勘定となる。フランスに
は未だこれより早い汽車がある。パリの St. Quentin 間を平均九十九キロ八さいふ快速力を出す。又イギリスの
汽車も速い。ロンドンと Bath 間百〇六哩を百〇五分間で走る。即ち一分間に一哩走る譯である。

ドイツでは鐵道規則によつて一時間百キロメートル以上の速力を出すことを許さない。歐大陸諸國では時々列
車の大橋事を惹起して多數の死傷者を出したりする。日本も御多分に洩れない。然しドイツでは感心に列車事故
を殆ど聞かない、速力を制限してゐるのも事故のない一原因であらう。

超特急の二倍の速力 所が最近ドイツで怪物の様な速力を出す列車が發明され、十月十八日に新聞記者
團に試乗を許して試運転をやつた。一時間に百六十キロメートルいふ快速力を樂々出出した。「燕」號よりは二
倍以上速い。もつみ馬力を掛ける一時間二百キロメートル位は大丈夫出せる云ふ。丸で飛行機と同じである。

この怪物は未だ一定の名前が付いていないが「飛車」(Flugbahn)或は「プロペラ高速車」(Propeller-Schnellbahn)と呼んでゐる。怪物の正體は別紙寫眞の通りで飛行船に車輪をくつ付けた様な格好をしてゐる。又實際の機關も今迄の汽車や電化列車とは全然違つて發動機によつてプロペラを廻すのであるから寧ろ飛行機或は飛行船と親類筋に當る。今簡單に此の怪物を解剖すれば大要左の如くである。

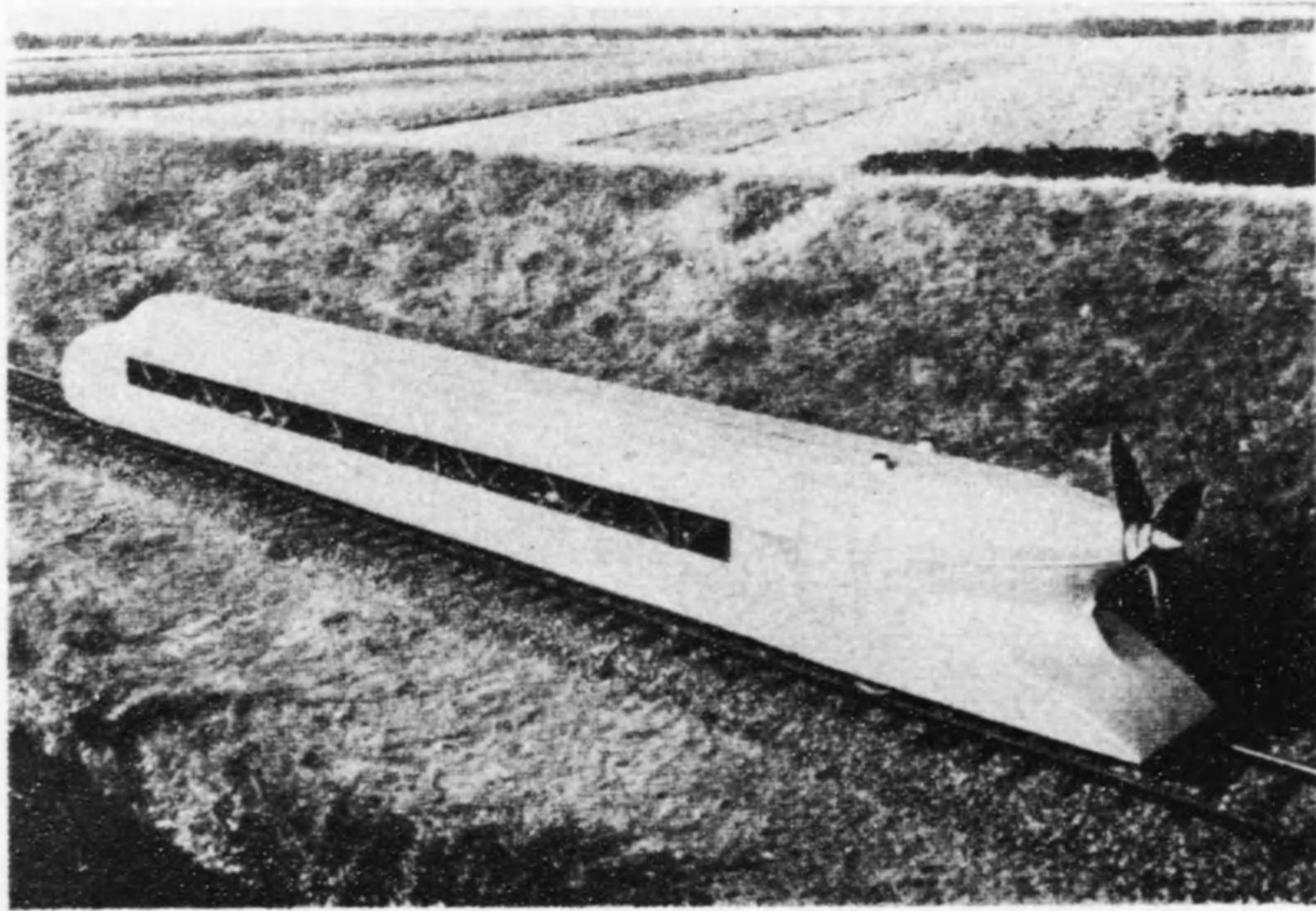
試運転の成績 發明者はクルーケンベルク及びシュテーデフェルト兩氏 (Dipl. Ing. Franz Krukenberg und sein Mitarbeiter Dipl.-Ing. Stedefeld)である。此の怪物研究の爲めに「飛車會社」(Flugbahngesellschaft)といふのがハンノーヴァ市に設立されてゐる。此のプロペラ車の長さは二十六メートルで乗務員の外に四十名の乗客が乗れる。

車の前方には大プロペラが一個付いて居り後部には BMW 六汽筒五百馬力の發動機が据付けてある。

發車一分後には既に一時間百キロメートル、又二分後には百五十キロメートルの速力を出す。試運転の際は百八十二キロ迄の快速力を出した。風の少い時は百五十キロメートル位の速力を出す爲には二百馬力で十分である之れに對して五百馬力の發動機が据付てあるのは逆風其他不利の場合の豫備である。快速力と正反對に車體の動搖は極めて輕微で試乗者は乗心地のよいのに驚いてゐる。

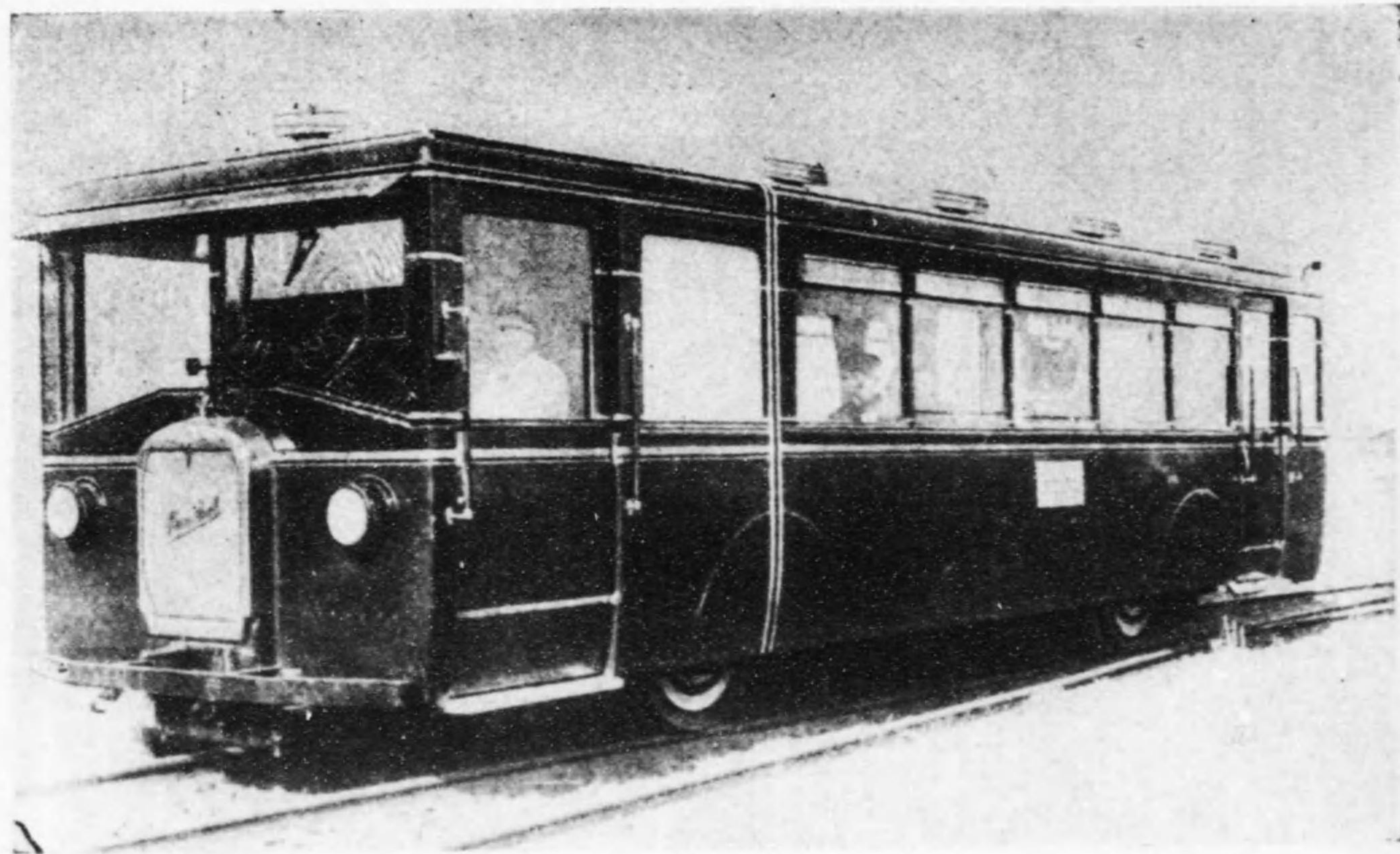
實用的の怪車 燃料の消費は甚だ少い。百キロメートル走るのに六十リットルのガソリンで足る。車體の重量は十八トン半に過ぎず、急行列車のボギー車の五分の一の重さである。

試運転をしたのは中央ドイツの Hannover-Celle 間である。ドイツ國有鐵道はこの新發明に直接の關係はないが、試運転の爲めに鐵道線路を提供したのみならず、プロペラ車製造の爲に工場も貸してゐる。これは新車の前途に囑望してゐる爲であらう。何故ならば動力が比較的少くて済むのミ全國の現在の鐵道線路を其儘利用出来る



プロペラ高速鐵道

Der Propellerschnellwagen.



ドイツの「軌道バス」

Der deutsche Schinenomnibus.

からである。(架空線式のプロペラ車は以前から發明されてゐるが、これでは新に建設費が掛かる)。

此のプロペラ車に幾輛かの客車を連結し得るか否かは今後の様子を見ねば判らぬが、兎に角主要都市間の高速聯絡機關として將來利用される可能性がある。

只高速力さいふ丈ならば既に一九〇三年に一時間に二百四十キロメートルも走る電氣列車をドイツのAEG社が發明してゐる。然しこれは三千馬力さいふ恐しい大動力を要するので實用的でなかつた。今度の飛車は實用的の怪物である。

世界一の大企業 ドイツ鐵道會社

(一九三二・一・二九)

ドイツのライヒスバーン會社(國有鐵道會社)は二百六十億マルクの資本金と六十餘萬人の従業員を擁する世界第一の鐵道會社である。只に鐵道會社として世界一なるのみならず一個の企業としてこんな大きなものは外にない。アメリカのユー・エス・スチール會社が大きいと言つても到底之れには敵はない。

ドイツの鐵道は戦前に於ては聯邦内の各州が別々に經營してゐたが、大戦後例のドーズ案によつて毎年定額の賠償金を拂ふことになつてから、此の賠償金の一部を鐵道收入から取り立てる爲め、全鐵道を合同して株式會社組織に改め株式の殆ど全部を國家が所有してゐる。

國有ではあるが經營は全く獨立の會計で、豫算も議會の協賛を要しない。官民有力者より成る鐵道管理委員會(Verwaltungsrat der Reichsbahn)がこののが最高機關で經營一切を支配する。

七億マルクの減收

ライヒスバーン (Die Deutsche Reichsbahn-Gesellschaft) は一月八日に昨年中の業績大要を発表したがこれを見るに約五億マルクの缺損を示してゐる。

一九三一年中の収入は三十八億六千萬マルク(約十九億三千万圓)で之れを二ヶ年以前の好況時に比較するに左の如く十五億マルク(二割八分)の大減收である。又一九二五—二六年の不景氣當時よりも尙悪い。

(單位百萬マルク)		
總收入	内貨物收入	
一九二九年	五、三五四	三、四八六
三〇年	四、五七〇	二、八四〇
三一年	三、八六〇	二、三一五
三二年(豫想)	三、五五〇	

大減收の最大原因は貨物の輸送が少い爲めで、貨物収入のみでも十一億マルク以上の減少を示してゐる。

減員と減給 減收に連れて従業員の整理を爲し、又俸給賃銀の引下げを斷行してゐるが尙且つ世帯が苦しい。即ち昨年中の平均従業員は一九三〇年中よりも約三萬人方減らして六十五萬人に減つた。これは戦前よりも遙かに少く、大戦直後に比較すれば左の如く四割二分方の大減員に當る。

大戦前	六九二、七一人
一九一九年	一、一二二、五〇五
一九三〇年	六八二、〇〇〇
一九三一年	六五一、〇〇〇

一九三二年に於ては俸給、恩給のみでも三年前に比して三億六千三百萬マルク方緊縮し、又労働者の賃金も三億一千三百萬マルク方減額する筈である。

賠償金負擔六億

ドイツの鐵道は人件費の支出が非常に大きい。一年の収入四十億マルクが如何なる方面の經費に支出されるかを調べて見るに、三百六十五日の中で二百〇五日間の収入に匹敵する金が人件費として喰はれてゐる。物件費は僅か七八日間の収入に相當する金額に止り又賠償金支拂の爲め四十七日間は無償で働いてゐる。一九三一年のドイツ鐵道の賠償金負擔額は六億三千五百萬マルクである。

借金二十五億

一九三一年中は總收入よりも總支出の方が五億マルク以上超過したがこの缺損は次の如く埋める事になる筈である。即ち四億五千萬マルクは豫備積立金より又七千六百萬マルクを配當積立金より支出する。これでライヒスバーンの積立金は零となる。

ライヒスバーンは昨年末現在に於て約二十五億マルクの借金を持つてゐる。その中十一億は今日迄に發行せる優先株で、ヤング案による借入金が二億八千五百萬マルク、國際決済銀行からの借金が五億四千萬マルクある。之等の元利支拂の爲め將來數ヶ年はライヒスバーンの負擔は尠ならず重くなるであらう。然し幸ひ外國の短期借金は持つてゐない。

貨物自動車線路

昨年十二月八日の大統領緊急命令に基きライヒスバーンは十二月十六日から貨物運賃を一割乃至一割五分方引下げた。この結果本年は三億マルク方の減收を豫想されてゐる。然し他方で俸給賃銀を引下げ又他の物件費も安くなつたからこれに因る缺損は大きくあるまい。

問題は賠償税を拂ふ必要がないか否かであるが、その外に最近

合 割 費 經

支出内譯	三百六十五日の總收入中
役員俸給に	九十六日
労働者賃銀に	七十五日
恩給に	三十四日
(人件費計)	二百五日
賠償金税に	四十七日
物件費に	七十八日
石炭費に	二十一日
配當及積立に	十四日
分の收入に相當する金額を支出す	

開始したトラック營業が繁昌すれば案外收入を増加し得るかも知れない。

ドイツでは従来遞信省が田舎地方の郵便自動車線路を經營して鐵道會社と尠らず競争状態にあつた。これを昨年来遞信省と鐵道會社の共同經營に漸次移して現在ではこの線路數が九十三、亘長二千キロメートルに及んでゐる。

「軌道バス」 最近には、更に軌道バスの運轉を開始した。これは田舎の乗客の少い地方に利用するもので蒸氣機關車で引張る列車を運轉しては引合はぬ爲め、ガソリンを使ったバスを軌道上に走らせるのである。即ち此所へ掲げた寫眞がこれで、一時間六十キロメートルの速力を出すから、日本の特急列車位走る。舊臘西部ドイツの Grifte-Gudenberg 間に始めて開通したもので頗る評判がよい。軌道バス(Schiene-Omnibus)と呼んでゐる。

一昨年十月にドイツで試運轉をやつたプロペラ高速車(Propeller-trickwagen)は一時間百八十キロメートルの速力を樂に出す快物であるが、これも引續き研究を重ねてゐるから遠からず實用の時代が来るであらう。

積極的營業振 右の如く大減收の頭痛鉢巻の態ではあるがライヒスバーンは必ずしも消極一點張りではない。電化も著々進めて居り、五萬三千キロの鐵道中現在千五百九十六キロメートルは電化されてゐる。即ち全亘長の三パーセントに當る。

一方蒸氣機關車も一九三一年中に百十五臺新造したし、本年も百〇三臺註文の事になつてゐる。貨車も昨年中に一千百十九輛註文し、客車も八十二輛新造した更にスイスの國境にあるポードン湖の連絡船として四隻の新造船を配船した。

鐵道の新線は昨年中に四線開通し、又線路の延長も若干あつた。列車事故は反對に益々減少してゐる。一九三

〇年は三千四百件あつたが一九三一年は二千八百件になつた。

「燕」の二倍の快速力 ドイツの『動力車』

(一九三二・二・二二)

ドイツの鐵道が田舎線に於てバスと競争し且つ運轉費を節減する爲に軌道の上を走る「軌道バス」を新に運轉し始めた事は曩に紹介した。

ドイツでは昨年邊りから更に「動力車」を盛んに使ひ始めてゐる。これは主として交通の少い地方鐵道を經濟的に運轉するのが目的で、蒸氣機關車の代りに内燃發動機を据付けたものである。ドイツ語ではトリブワグェン(Triebwagen)と呼んでゐる。この「動力車」は索引力が小さいから精々二輛しか連結出来ない。現在既に旅客用として六十輛、貨物用として三輛を運轉してゐる。

最近には此の動力車の利用範圍が廣くなつて來た。即ち――

- (一) 支線用として車軸二本乃至四本、動力百七十五馬力迄の小型「動力車」
- (二) 幹線用として車軸四本、三百馬力以上四百馬力迄の發動機を有するもの。
- (三) 四百馬力以上にて超高速力を出すもの。之れは最近建造。

ダイゼル機關使用 幹線用としての動力車はこれまで實現しなかつた。これは超高速力に適するモーターが無かつた爲である。然し今度ドイツの有名なマイバッハ機械會社(Maybach-Werke)が四百十馬力のダイゼ

ル發動機を完成したので、ドイツ鐵道會社はこれを使用して三輛の高速動力車を注文し、其の内一臺が最近出来上がった。近く試運転されることになつてゐるが、車體の重量五十トン、一時間九十キロの速力を出す設計である。坐座は二等十六人三等五十六名の外に手荷物室がある。

更にドイツ鐵道會社はこれよりも一層超高速の動力車を自身の設計の下に最近建造に着手したと傳へられる。

東京神戸間四時間 この設計によればベルリンミハンプルク間二百九十キロメートルを一時間五十六分で走る筈である。同區間は丁度東京神戸間の半分の距離に當り、現在では途中無停車の特急が三時間十五分で走つてゐる。新造の動力車は一時間の速力百五十キロメートルを出し、現在の特急列車よりも六割方早くなる。日本の「燕」に比較すれば正に二倍以上の高速力である。

此の超高速動力車は二輛連結で運転し、二等座席百〇二の外に簡単な食堂ミ手荷物室及び便所の設けがある。座席は喫煙室ミ禁煙室ミに別けてある。其他設計中主な點を掲げるミ――

△車體 は長さ四十二メートル、重量七十七トン。

△動力 は四百十馬力のマイバッハ社のデイズル・モーターを据付け之れは發電機を聯結してある。

△風の抵抗 を少くする爲め車體の上部は圓くし、下部を出来るだけ低くしてある。

頻繁運転の便利 右超高速「動力車」は此の春には竣工し試運転の上ベルリン、ハンプルク間に實用される豫定である。普通の列車は運轉回數に自ら限りがあるが、此の「動力車」は回數を郊外電車並みに増加出来るから非常に便利にならうと期待されてゐる。

例の「プロペラ高速車」も目下ドイツで實驗中であるが、此の「動力車」は速力の體では「プロペラ車」に較べるこゝが劣るが、次の點から見て早急に實現性が多い。即ち――

第一、車體の構造も形も從來のものミ大して差がない事。

第二、線路、信號装置、其他の設備も從來通りで何等變更を要せざるこゝ。

高速化と運賃引下

(一九三二・五・一七)

日本の鐵道省は儲からぬ私鐵の買収に一生懸命になつてゐる。ドイツの鐵道は同じく國有ではあるが運轉の高速化と運賃引下げにより増収を圖つてゐる。

時速九十六キロ 日本では旅行案内(列車時刻表)が毎月發行されるが、ドイツでは冬の時間表と夏の時間表と年二回出る丈けである。列車時刻の改正や列車の増減などは必ずこの變り目、即ち夏は五月十五日から又冬は十月十五日から實行する。

本年五月十五日からの夏の列車時間表(Sommerfahrplan)によるミ、ドイツの汽車は各線に於て非常な高速化が行はれる。ベルリンミハンプルク間二百九十キロメートルは從來無停車の急行列車が三時間十五分で走つてゐるが、五月十五日から三時間丁度で走る。即ち一時間の速力九十六キロメートルに當る。日本の「燕」號は時速六十七キロ。

プロペラ高速車 更にベルリンミハンプルク間には豫ねて實驗中であつた「プロペラ高速車」を愈々同日から初めて實用に供することになつた。此のプロペラ車ミいふのはツエベリンに車輪を附けた様な格好の怪物で、一時間に樂々ミ百五十キロメートルの速力を出すミ、未だ一輛しか竣工してゐないので差し當り急行列車ミ

同じ時間表により走る。實施後の成績を見、且つ必要の車輛數が揃つた時は能力通りに速力を速めることにならう。此の『プロペラ高速車』は二輛連結で百〇二の二等坐席があり、前車を禁煙車、後車は喫煙車と區別してある。

避暑旅行割引券 一方ドイツの國有鐵道は賠償金負擔の爲めに貨物運賃も旅客運賃も頗る高い。此の負擔額は年六億マルク（平價換算約三億圓）に上り旅客の拂ふ賃金中の二割乃至三割は賠償金である。

昨今の不景氣により旅客收入が著しく減少した爲めドイツの鐵道は一策を案出して大割引の乗車券を發賣し旅客を吸收することになつた。それは『暑中休暇乗車券』(Sommerurlaubskarten) といふのを六月一日から十月十五日まで發賣して避暑旅行を大いに奨めやうと言ふのである。この乗車券發賣の條件は次の如し。

- 一、賃金二割引、但往復券に限る。
 - 二、通用期限二ヶ月。
 - 三、二百キロ以上の距離に限る。
 - 四、乗車券は他人に譲渡すを得ず。
- 急行券引下げ** 右は夏休み中の臨時割引であるが夏休みの終了と同時に一般的の旅客運賃引下げを發表するだらうと期待されてゐる。又右の割引と同時に六月一日から急行券及び半急行券 (Schnell- und Eilzugzuschläge) を何れも半額に引下げた。
- 序で乍らドイツの旅客賃金率は下の如くで二等は三等の五割増、一等は二等の倍額である。日本は之れを反對で二等は三等の倍額、一等は二等の五割増になつてゐる。

旅客賃金

一キロに付	二等	三等
一等	一・一〇六	一・〇六

急行列車券

距離 (キロメ ートル)	新料金 (マルク)	
	三等	一、二等
1—75	0.50	1.00
76—150	1.00	2.00
151—225	1.50	3.00
226—300	2.00	4.00
300以上	2.50	5.00

(備考) 半急行券は凡て上記の半額。

電話と無線電信

ドイツの電話事業

(一九三一・二・一八)

日本では電話電信事業の民營案が出た。官營では思ふ如く擴張改良が圖れぬ爲だそうである。ドイツではさうかあるから法律を以て簡単に民業に移す事は出来ない。

逓信省の組織 ドイツでは共和國憲法八十八條により『郵便電信電話事業は専ら國家之を掌る』と明記してあるから法律を以て簡単に民業に移す事は出来ない。

ドイツの逓信省 (Reichspostministerium) は一九二四年以來獨立會計になつて居り、其財産も國家の一般財産から切り離して處理されてゐる。政府の豫算には逓信大臣の給料 (年額四萬四千マルク) が計上されるのみでこれ以外には政府の豫算と全然關係がない。

逓信省の事業は逓信大臣の獨裁で行ふのではない。最高管理機關として Der Verwaltungsrat der Deutschen Reichspost なるものがある。會長は逓信大臣であるが、委員には朝野の關係者四十名が左の如く任命されてゐる。

國會代議士	十名
參議院議員	十名
大藏省より	一名
逓信省より	七名
經濟及交通關係者	十二名

右最高機關は決して名目だけの存在ではなく重要事項は凡て此の機關に諮る。前年度には五回の會議を開いてゐる。逓信省の豫算もこの機關が採否を決する權能を有し議會の協賛を求め無き會議に對しては勿論逓信大臣は責任を持つが、年度毎に事業成績を報告するのみである。

逓信大臣は一九二七年以來シエツェル氏 (Dr. Schindler) が勤めてゐる。内閣は此の間に度々更迭してゐるが同氏は動かない。つまり専門的大臣として政治の圈外に置かれてゐるのである。

右の様な組織になつてゐるドイツの逓信省はお役所放れがして居つて、ドイツ人の間でも評判である。逓信省の仕事は郵便電信電話 (無線を含む) の外に振替爲替 (Postcheck) を取扱つてゐるのみである。日本の如く郵便貯金や簡易保險から扱つては船舶、航空、電氣の諸行政までいふ様な八百屋はやつてゐない。

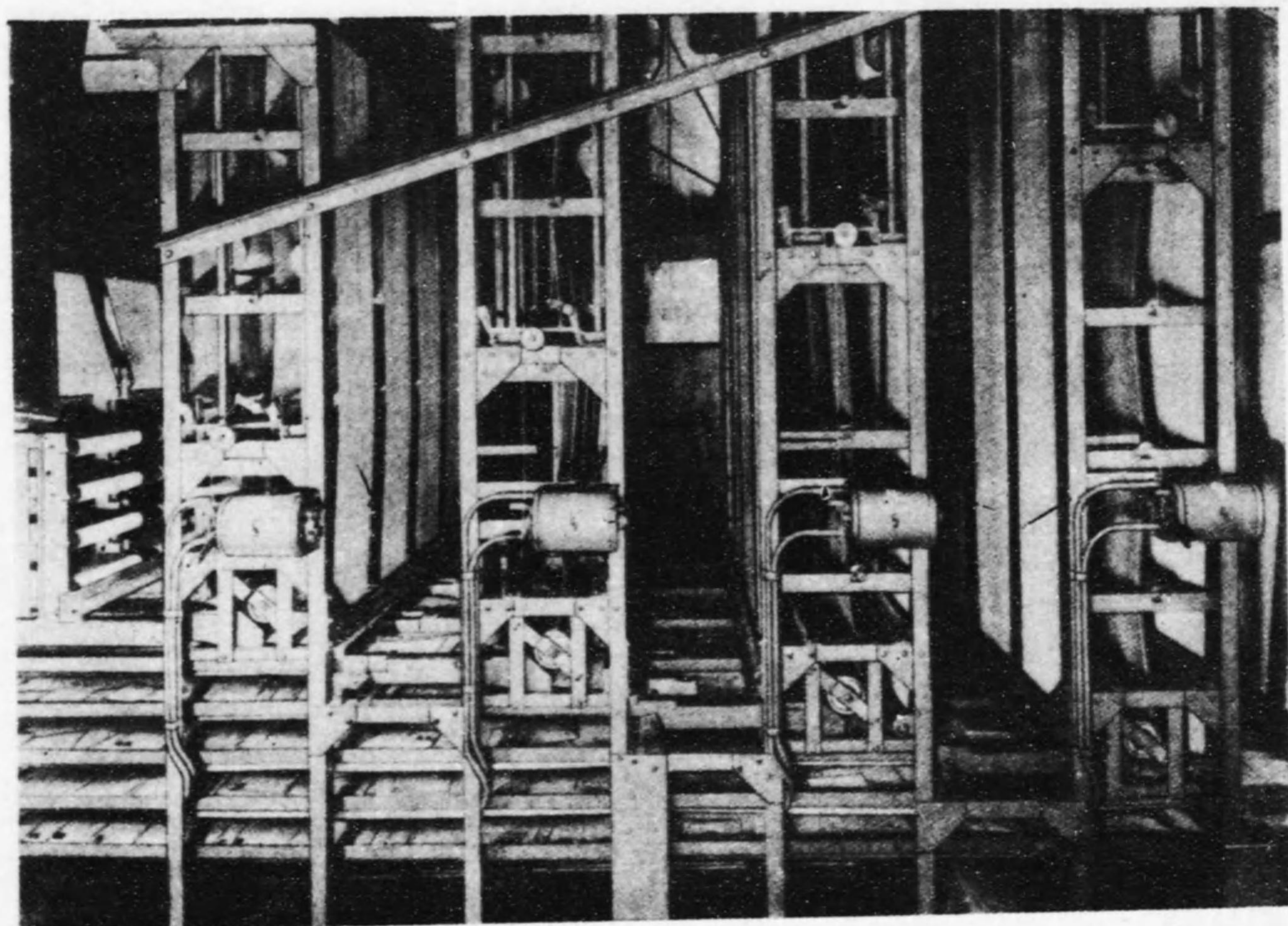
逓信省の財産の收支 ドイツの逓信省は前記の通り獨立經營であるから財産も收支も明瞭である。一九三〇年三月末日を以て終る年度の報告による逓信省の總資産は三十二億マルクで其中電話電信の機械線路等が約十七億マルクを占めてゐる。此の外に土地建物約八億マルクあるがこれは郵便電信電話共用が大部分であるから切り離して計算する事が出来ない。

昨年三月末日を以て終る一九二九年年度の逓信省決算表を見るに總収入二十二億八千萬マルクを示してゐる。其中郵便収入が半ば以上の十二億六千萬マルクを占め、電話収入は七億三千万マルク電信収入は一億マルク足らずである。支出の側では總支出二十億六千万マルクの中人件費が十三億三

ドイツ逓信省収入

郵便	振替爲替	電信	電話	無線	雜收	合計
百萬元	百分率					
一、二六〇	五五・五	七三二	四・三	八七	四九	二、二八二
一〇〇	二・五	三二	三・九	一	〇	一〇〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

(自一九二九年四月一日 至一九三〇年三月末日)



Briefverteilwerk beim Postamt Berlin NW7.
(Führung von Förderbändern)



Reichspostkasten.

- (上圖) 機械化されたドイツの郵便局。ベルリン市内の一局に於ける手紙区分設備。
- (下圖) ドイツの郵便筒。筒の表面には
- (1) 次回の開筒時刻、
 - (2) 平日の開筒時刻、
 - (3) 日曜日の開筒時刻、
 - (4) 受持局名と其所在町名番地が明記されてゐる。*

ドイツ逓信省支出

		(自一九二九年四月一日 至一九三〇年三月末日) 百萬マルク 百分率	
一、各部特別經費		四〇四	一七・七
二、一般經費			
(郵便、振替、 電話、無線)			
物件費	一、三三二		五八・三
元利償却費	一〇七		四・七
三、設備償却費	一三		〇・六
四、其他一般費	二〇四		八・九
五、利益金	二二二		九・八
合 計	(内國庫へ 引渡)	(一五一)	(六・七)
		二、二八二	一〇〇・〇

今から二十年も昔のこゝこであつたと思ふ。私は大阪で逓信省の宣傳映畫を見た事がある。映畫云つても活動寫眞でなく幻燈であつた。その中に日本の電話加入者數と列國のそれをグラフにして比較したものがあつた。日本は一番ビリで殆ど他國とは比較にならなかつた。其の時逓信省のお役人は一日も早く列國並みに發達させたいものだと言明した事を覚えてゐる。

其後世界大戰が起つて日本は世界五大國と三大陸國とのかつに昇格した。所で電話はさうなつたか。此の二十年間逓信省が滿更眠つてゐたことは考へない。勿論二十年昔と比較べたら非常な發展をしたに違ひない。然し今日電話の普及程度を諸外國に比較するに日本は依然ビリから數えた方が早い。頭から勘定するに十八番目といふ情

千萬マルク即ち六割近くを占め、郵便電信電話等の設備改良費に四億マルクを支出してゐる。而して利益金二億二千萬マルクを擧げてゐるが其中一億五千萬マルクは國庫へ收めて政府の一般會計の補助に充てゝゐる。これは逓信省總收入の六分七厘に當る。詳しい數字を知り度い方は別表を御覽願ひ度い。

(備考) 日本逓信省の郵便電信電話收入は昭和四年度に於て左の如く二億四千萬圓であるからドイツの約五分の一である。

切手收入	九一	郵便收入	二七
電信收入	一一	電話收入	一一〇
合 計	二四〇		

(單位百萬圓)

電話加入者三百萬 茲では主に電話の事を書いて見やう

けない状態である。少なくとも電話に關する限り「文明國」にいふ言葉を返せねばなるまい。

本國丈けの人口は日本もドイツも約六千五百萬で殆ど同じである。所で日本の電話加入者数は七十萬未滿であるに比しドイツは三百二十萬を越えてゐる。ベルリン市丈けでも五十萬以上ある。人口に割り當てるミベルリンは百人に就き十二人が電話を持つてゐる。一軒の住居には四人平均住んでゐるから二軒に付き一軒は電話を所有してゐる勘定となる。ドイツ全體を平均しても人口百人中の五人が電話加入者である。日本では最も發達してゐる東京市が漸くそれ位の率であるが、全國に割り當てるミ人口百人に付一人強といふ貧弱さである。金持ち國たるアメリカの事は暫く言はぬ。ドイツは敗戦後賠償金に苦しめられ乍らも毎年十萬乃至二十萬の電話を増設してゐる。最近五年間の發展振りを示すミ下表の如くである。

ドイツ電話加入數

一九二五年十二月末	二、五八八、〇〇〇
二六年々	二、六八八、〇〇〇
二七年々	二、八一五、〇〇〇
二八年々	二、九五〇、〇〇〇
三〇年三月末	三、二〇四、〇〇〇
三一年々	三、二四七、〇〇〇

災害と通信機關杜絶 少し風が吹いたり雨がひさかつたり雪が積んだりするミ日本の電信電話は直きに不通になる。そして經濟活動に非常な支障を與へる。ドイツでは平素強風や大雨は少いが然し全然ない譯でなく又雪は盛に積る。雪は日本所の比ではない、然し天候による通信機關の杜絶なきはドイツでは聞かない。風や雨や雪ですぐ切れたり倒れたりする様な針金の引張り方はドイツではしてゐないのである。

大都市の街を歩いて見よ。中央部であらうが場末であらうが、電信、電話、電燈なきの針金や電柱は探したつて見當りつこはない。皆地下ケーブルで道路の下に埋没してある。

都會ばかりではない。市外の電信電話線も大部分は地下ケーブルであつて架空線は一部分に過ぎない。一九三

長距離ケーブル里數 (電話及電信)

一九二六年三月末	四、七四三
二七年々	六、九二五
二八年々	七、八一四
二九年々	八、三七六
三〇年々	九、一六〇

電話線及電話局數 (一九三〇年三月末現在)

加入線路互長	一六、五八六
内(架空線)	二、三四二
市外線路互長	一四、二四四
内(地下線)	四、四七一
交換局數	一、三四〇
電話局數	三、一三一
公共電話所數	六、九九六
電話局所數	五二、二〇三
公共電話所數	六九、〇九〇

〇年三月末現在によるミ長距離ケーブルの里數は九千二百キロメートル約二千三百里に及んでゐる。これでドイツの主要都市相互間は殆どケーブルで聯絡してゐる。これでは風の神様が人間を虐めやうにしても不可能な譯である。此の長距離ケーブルは一九二六年には四千七百キロメートルであつたが最近五年間に二倍に増設したのである尙目下建設中のものが二千三百キロメートルある。上表を参照され度い。

電話架設は三週間 ベルリンには現在七十二の電話交換局がある。その中で半數は未だ交換嬢があるが、残りの半數は自動交換式である。舊式のものには目下盛んに自動交換式に取替中であるからその内に全部新式に變るであらう。只さへ女の過剰なベルリンであるから此の交換嬢が全部失業したら大變だらうミ要らざる心配までし度くなる。

ドイツ全國に就て言ふミ電話交換局總數約七千の内一千四百五十三即ち二割一分が一九三〇年三月末に於て自動交換式となつてゐる。而して加入者數から計算するミ五割が自動式となつてゐる。一九二八年末には此の割合は四割であつたから一年餘りの間に自動交換式が一割方増えたのである。實數で云ふミ右一年三ヶ月間に三十萬の加入者が手交換式から自動交換式に變更されてゐる即ち次頁の表の如し。

ドイツの電話機は大部分卓上電話である。日本の様に壁掛といふ不便な舊式なものは殆どない。而してミの部

屋にも線が引込んであつて、家の中で自由に電話機を移動し得る。晝間は客室へ、食事時は食堂へ、夜は寢室へいふ如くに自在に持ち運ぶのである。電話機のコードの先端に差込みジャックが附いてゐて簡単にスキツチへ差し込めばよい。丁度卓上電燈か或は卓上扇風機の如く簡便に取扱ひ得る。電話機の體裁もアメリカ式の筒型でなく、受話器と送話口とが兩端に附いた便利なジーマンス型である。

電話の架設申込は頗る簡單である。五十マルク(二十五圓)納めれば三週間位で架設して呉れる。急げば一週間でもやつて呉れる。ここかの國の如く至急開通とか順序開通とか言つて一年も數年も待たされたり、架設の抽籤をしたり、其の上に幾百圓を取られたりする様なことは夢にも想像出來ない。従つて電話賣買業なる不可思議な職業は如何に説明してもドイツ人には合點が行かない。又實際恥かしくてこんな事は外國人に喋べられない。

ベルリンの電話通話料は一月基本料金八マルク(四圓)、これに度數料一回十ペニヒ(五錢)である。

ドイツは前記に記した如く一ヶ年に加入者が十五萬平均増えて居り、電話線路も盛んに増設してゐるが、此の擴張に要する費用は逓信省の收入剩餘から支辨してゐる。昨年八月十四日の報告に書いた如く失業救済の目的で逓信省が二億マルクの借金をして電話の改良をしてゐるが、これ等は例外の方である。(第一五九頁参照)

私は電話、電信事業の民間移讓の可否を茲で論ずる積りはない。只ドイツの電話は官營であつても十分に能率を擧げてゐる事實を讀者に紹介すれば足る。而して同じく官營と言つても其組織と方法に少からぬ差異のある事を繰り返して讀者の御注意を惹くに留めて置く。

自働交換式増加數

		(自一九二八年十二月末 至一九三〇年三月末)	
小交換局	六七	局數	電話機數
中交換局	二二七		五、〇七〇
大交換局	七九		六一、五〇〇
合計	三七三		二四一、六六〇
			三〇八、二三〇

ドイツ逓信省の無線電信買収

(一九三二・一・二八)

日本では電話及電信の民營案が考慮されてゐるそうであるが、ドイツでは反對に民營の無線電信會社を逓信省が買収しやうと計畫が發表された。

官業と民營 ドイツでは郵便電信電話は凡て官業である事日本と變りがない。只一つの例外として遠距離の對外通信即ちヨーロッパ以外の諸國との電信電話聯絡には民營を認めてゐる。其の一つは「ナウエン無線」の名によつて我日本にも知られてゐるトランスラヂオ(Transradio A-G)といふ無線電信會社である。これを今回逓信省が買収しやうと計畫してゐるのである。

他の一つは對米海底電信會社で DAT の略稱で通つてゐる Deutsch-Atlantische Telegraphen-Gesellschaft である。

右二者は遠い海外諸國との通信に當るもので、對外通信でも近いヨーロッパ諸國との電信電話及無線電信電話は凡て逓信省(Reichspostministerium)の經營する所となつてゐる。

買収の理由 公表された買収理由によるに、海底線と無線とは互に協調を保ち出來得べくば同一の經營にゆだねるのを得策とする。然るにトランスラヂオと DAT とは兎角協調がうまく取れぬ。兩者の合同をすゝめた事もあるが實行困難である。仍つて逓信省は今回トランスラヂオを買収して自ら DAT と協調を試みやうといふのが理由である。

然し實際は此の表面の理由の外に前途有望なる對海外無線通信事業を國家の手に收めて置かうといふ根本理由が潜んでゐるに見られてゐる。

尙現在遞信省はトランスラヂオに對し毎年補助金(二百萬マルク)を傳へられる(を交附してゐるが、遞信省が自ら經營すればそれ程の金を使はなくても済むといふ計算を樹てた結果、合併論が起つたもので、遞信省側では既に過去三年間に涉り買収計畫を進めてゐたことも云ふ。

買収の條件 トランスラヂオは一九一八年に設立された株式會社で資本金千六百五十萬マルクを有して居る。そして一九二一年から向ふ三十ヶ年間に涉り海外無線通信を開發擴張する特權をドイツ遞信省から得てゐる。現在では株式の五割、即ち過半数の發言權は遞信省の手にあり、又同社の親會社に當るテレフンケン會社、シーメンズ及びAEG等の電機會社が残りの大部分の株を所有してゐる。

遞信省は明一九三二年一月一日よりトランスラヂオを買収せんとするもので、買収価格は二千七百萬マルクである。同社の株價はベルリン取引所で額面百マルクに對し昨今百二十マルク内外であるから買収條件は非常によい。

買収後の經營形式 遞信省が合併後のトランスラヂオは表面上依然會社組織とし、遞信省が株主となる筈である。(ドイツの官業は此の形式になつてゐるのが非常に多い。國有鐵道を首めし國有發電所、ベルリン市營の發電所、市内電車、バス、地下鐵なども此の例である。)合併後の従業員は官吏でなくて雇員(Angestellte)である。而して技術上の長官及び營業上の長官は遞信省の局長乃至次官級の役人を充てゝ兼任せしめる。

買収反對論 本年一月此の買収案が發表されるや新聞や實業家の間に盛んに批難の聲が起つてゐる。それはドイツでは民間企業に對する國家の干涉侵蝕が大戦後社會黨政府以來餘りに過多であつた事が一般に認められ

最近にはこの傾向を矯正せんとする機運が動きつゝある際である故である。

ドイチェ銀行重役ゾルムセン氏(Dr. Solmsen)は買収に強硬な反對意見を發表し、首相に直接強談判を持ち込んだ様子である。買収を非とするのは次ぎの理由による。

一、前途有望な民間企業を國家が取り上げて仕舞ふのは不都合なる事。

一、民營であつてこそ海外の無線會社と競争が出来るが、一旦官營になれば自由な活動が難かしくなる事。

一、海外の政治的影響及壓迫に對しても民營會社なれば之れを蒙む事が少い。

一、遞信省が自ら經營したてて現在より年二百萬マルクの經費節減が出来るか否か疑はしい。

現在トランスラヂオの大株主たる電機會社側では斯う見てゐる。即ち遞信省が買収する曉はアメリカの無線事業がドイツの先を越す恐れがある。それはアメリカでは實際通信運用の掌に當るものも機械の製造をするものも民間の同一會社で、聯絡がうまく取れてゐるからである。「註、アメリカでは對外無線通信は Radio Corporation of America)が一手に掌り同時に無線機械も製造してゐる。」

トランスラヂオ 遞信省に買収されんとする同社の施設現狀を大要紹介しやう。

△發信局 これが有名なナウエンでベルリンの西方にある。汽車で約一時間。テレフンケン無線電信機會社が一九〇六年に建設したもので、當初は實驗用であつたが後に一般電報を扱ふ様になり、一九一八年以來トランスラヂオ會社の所有になつた。昔は全部長波長であつたが、今日では長波は一部分に限られ、大部分は短波長を使つてゐる。

長波長發信機は一萬八千、一萬三千、六千五百メートルの三臺。

短波長發信機は十一臺あつて、晝間は十五乃至十七メートル、夜間は二十七乃至四十メートル。

昔は長波發信に使ふアンテナの鐵柱の高さが二百五十六メートルもある云つてナウエンが威張つた時代もあつたが、今日ではこれも昔の夢も消え、短波萬能の時代になつてゐる。ナウエン無線局を參觀に行つても案内係はアンテナの高さなどは今日では問題にせず専ら短波機の説明に努めてゐる。

△受信局 ベルリンの南郊ポツダム附近のゲルトウ(Gelow)に長波の受信局があり、其所から程遠からぬベールツ(Belitz)に短波の受信局がある。何れもベルリンから汽車で一時間以内。

△操縦所 右送信局及受信局は單に機械が置いてあるのみで、實際の電信の送受はベルリン中央電信局の向側にあるトランスラヂオの本社内であらふ。即ち此所に電鍵があつて、送受信局とは地下ケーブルで繋ぎ、此所から送受信局の機械を直接に操縦してゐるのである。ベルリン中央電信局と、トランスラヂオ本社は空氣傳送管(Rohrpost)により聯絡してゐる。

又ハンブルグに操縦支所があり此所からも送受信局の機械を直接動かして得る様になつてゐる。

△對外連絡國 左の十四ヶの海外無線局と電信を交換する。

- 一、北米各地 (New York)
- 二、メキシコ (Chapultepec)
- 三、キューバ (Havana)
- 四、アルゼンチン (Buenos Aires)
- 五、ブラジル (Rio de Janeiro)
- 六、チリ (Santiago de Chile)
- 七、日本 (名古屋)
- 八、支那 (奉天及上海)
- 九、蘭領東印度 (Bandeng)
- 十、比律賓 (Manila)
- 十一、シヤム (Bangkok)
- 十二、エチプト (Cairo)
- 十三、ヘルシヤ (Teheran)

電信の外に南米各地即ちブラジル、アルゼンチン、チリ、ウルガイ及び蘭領東印度とは無線電話が通じる。日本との電話聯絡も計畫中である。その内にはベルリンと東京間でモシ／＼が出来る様にならう。更に又ブエノスアイレスとは寫真電送(Bildtelegram)をも扱つてゐる。一番遠いのはドイツとチリ間の聯絡で其の距離一萬二千三百五十キロメートル。右十四ヶ所の無線局との聯絡互長里數は合計十萬キロメートルに上り、地球を二た廻り半した長さと同じである。

△電信取扱數 は過去十年間に約二十倍に増加してゐる。此所には不景氣の愚痴などは通らない。即ち右表を参照され度い。右の取扱電報語數の半ば以上は北アメリカとの通信である。

ニュース對外放送 序でに書き添え度い。ナウエンからドイツのニュースが全世界に無線で放送されてゐる。これはベルリンにトランスオチアン通信社(Transocean G. m. b. H.)といふ通信社があつて、同社内に送信機があり、地下ケーブルによりナウエン無線局に聯絡してゐる。同社の集めたニュースを社内の送信機に掛けるに自動的にナウエンの無線發振機を動かして世界中に電波を送る。

此のニュース放送にはドイツ語の外に英、佛、西語を使つてゐる。そして刻々にドイツの國狀を世界に宣傳——宣傳といふ變に聞えるかも知れぬが日々の出來事を紹介して廣く理解を求めるのである。理解があれば興味も起り、同情も湧き通商の發展を援ける事にもならう。

海底電信によつて諸外國へ一々別々にニュースを打電するのでは料金が高くて受信する側の新聞社なり通信社なりの負擔が非常に重い。故に出来るだけ語數を節約する。従つて不十分なニュースになつたり時には誤解すら

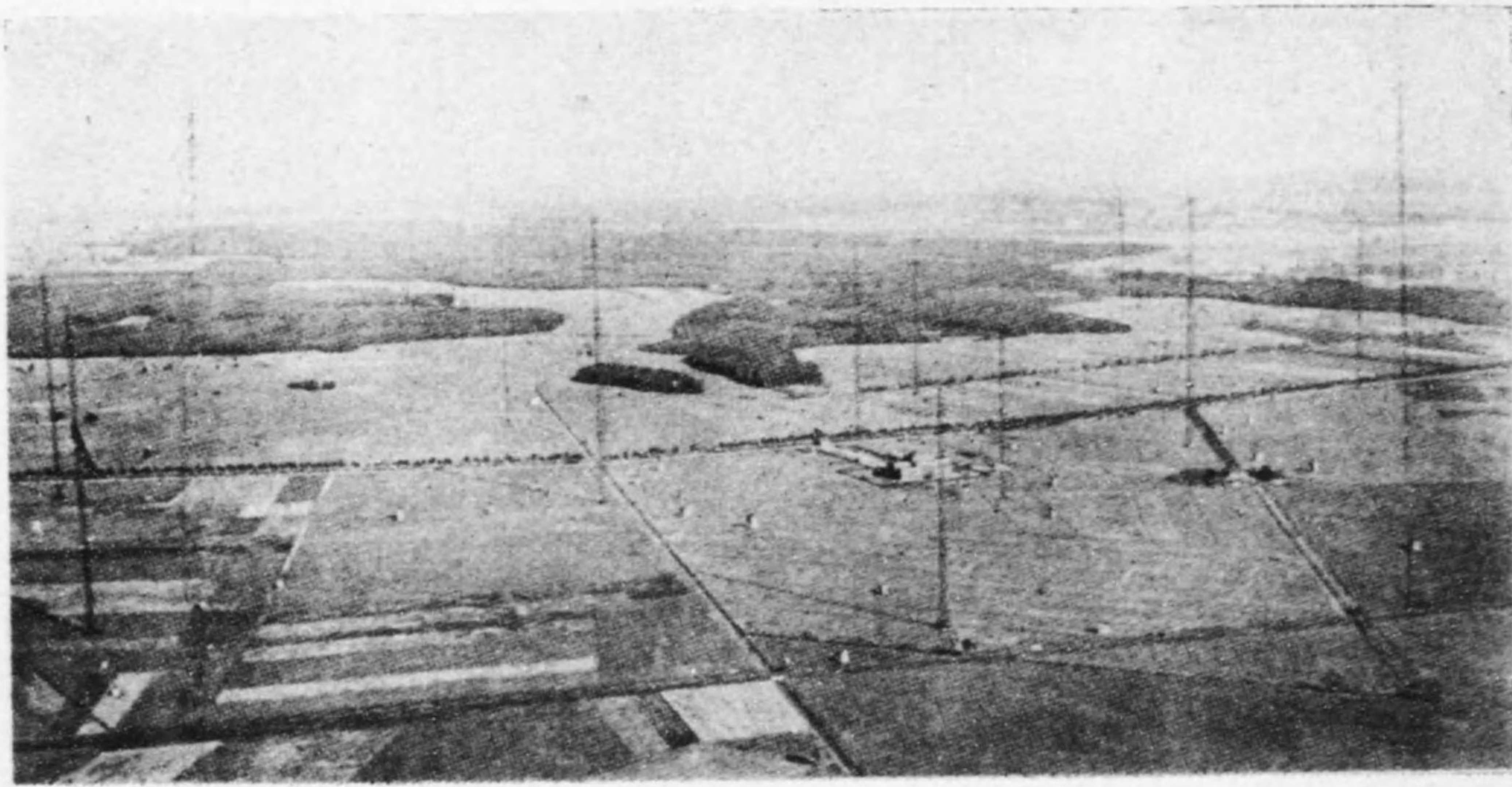
電 信 取 扱 數
(單位千語)

一九一九年	一、二〇〇
二〇〇年	二、九〇〇
二〇二年	六、五〇〇
二〇四年	一〇、八〇〇
二〇六年	一二、七〇〇
二〇八年	一六、三〇〇
二〇九年	一九、〇〇〇

起る。

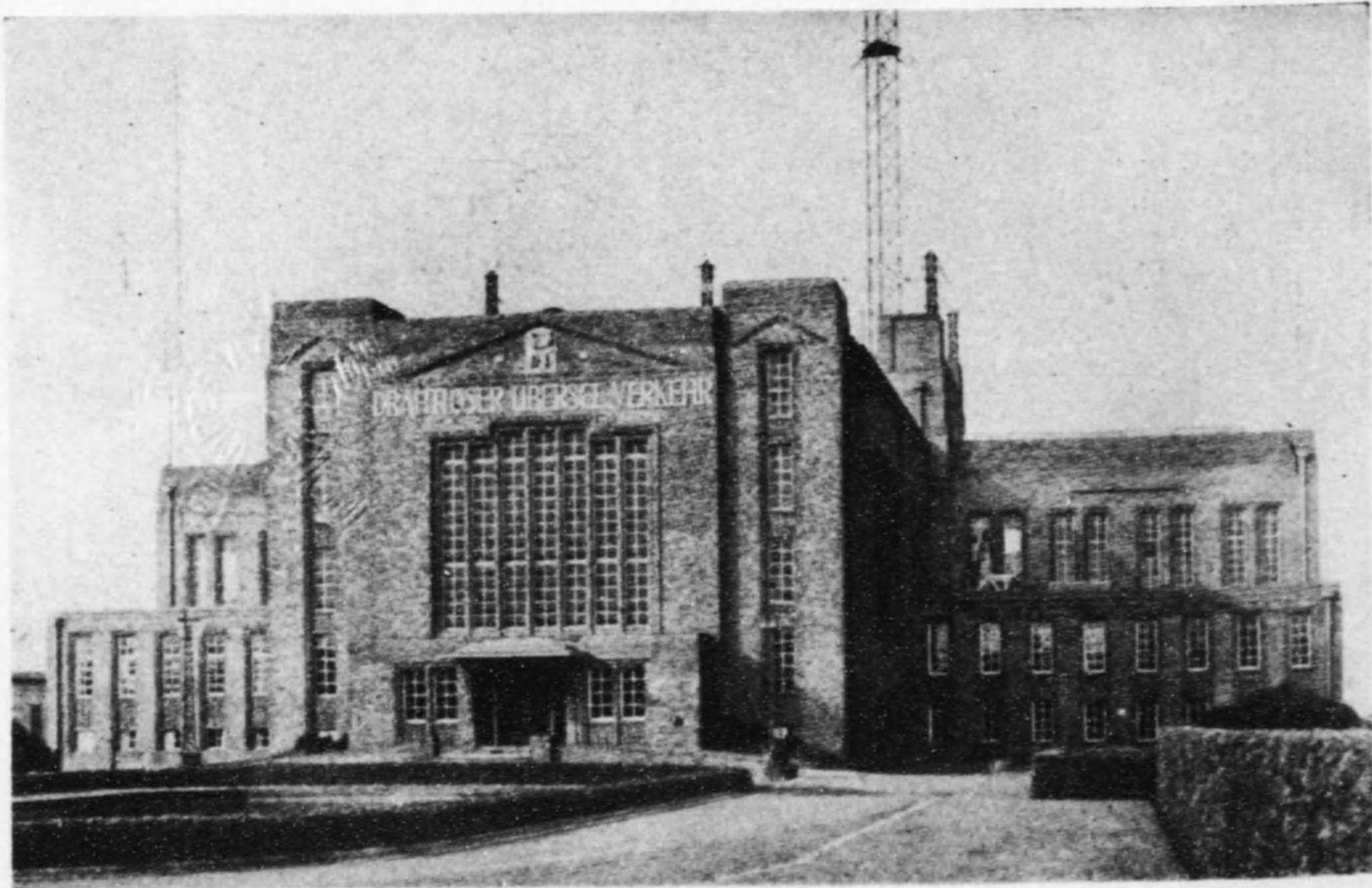
ドイツの右放送通信社はナウエン無線送信機使用料として僅かの料金を拂ふのみである。又放送に際しても電信局の手を経ず直接放送するのだから速い。又放送の内容を政府が検閲したりする野暮もない。日本から見ると誠に羨ましい話である。

日本の新聞にドイツのニュースが載らぬ日は稀れである。所が反對にドイツの新聞に日本のニュースが掲載されるのは稀れである。我々は考へねばなるまい。



ベルリン西郊に在るナウエン無線局

Fliegeraufnahme der Gross-Funkstelle bei Nauen.



ナウエン無線局舎

Betriebsgebäude der Transradio A-G. bei Nauen.

諸企業一瞥

ドイツ 企業會社の業績

(一九二九・八・二二)

ドイツ産業界、經濟界の景氣を測定する最も正確な材料は諸會社の業績である。ドイツには登録せられて居る株式會社が現在一萬一千六百九十あつて、その資本金總額は二百二十八億八千五百萬マルクである。

ドイツ聯邦統計局は今回昨年十月より十二月末の間に決算期を有する諸會社の考課狀を基礎として其の業績統計を發表した。此の統計は百十億マルクの資本を有する諸會社の考課狀から割出したもので、即ち株式會社全體の約半分を代表するものであるから、之れによりドイツ企業界の趨勢を窺ふに足るであらう。

平均配當率 統計の基礎とした會社數は一千五百二十六で其の公稱資本總額百〇九億九千八百五十萬マルク、拂込済資本額百〇二億三千二百萬マルクである。之等の會社が昨年度中に儲けた純益金は八億九千九百萬マルクで損失を招いた會社の缺損總計は五千五百萬マルクである。損失の方を差引くに八億四千四百萬マルクとなり、これがドイツの株式會社の半數の本當の儲け高となる。配當金總額は七億四千八百萬マルク、配當率平均は年七分四厘二毛である。今之れを前年即ち一九二七年同期の數字と比較對照するに左表の通りである。此の表に

よれば會社數に於て減少し資本金に於て五億マルク餘の増加を示してゐる。又配當金は四千萬マルク方増加してゐるが配當率に於ては平均八毛の減少である。

株式會社數	一九二八年	一九二七年
公稱資本金	一、五二六	一、五四〇
拂込資本金	一〇、九九九	一〇、四六二
純益金總額	一〇、二三二	九、六八〇
損失金總額	八九九	八六八
差引純益金	五五	三〇
配當金總額	八四四	八三八
配當率平均	七四八	七〇八
	七四二	七五〇

(註、金額の單位は百萬マルク)

〔附記〕此の報告を書いた當時に現在までは状態が全く違つてゐる。一九三二年春ベルリナー・ターゲブラット紙が調査した所によれば第七十頁の表の通り鉄損會社は非常に増加し、配當の出來た會社の配當率も三年前の半分に減つてゐる。

銀行・保險・持株會社 右の諸會社を企業の種類によつて原料工業、製造工業、瓦斯電気、商事會社、銀行、持株會社、保險會社、運輸會社等に大別して見るに一番配當の多いのは銀行、持株會社並に保險會社である等の金融關係の企業を除いた他の商工業會社の配當率平均は一九二七年度に於て七分一厘七毛、一九二八年度に於て六分九厘九毛を示してゐる。

更に配當率の高低によつて分けるに年一割以上の配當をした會社の資本總額合計は資本總額の二十三パーセントを占め、年五分乃至一割の會社が五十一パーセント、年五分以下のものが九パーセント、無配當のものが十七パーセントを占めてゐる。之れを前年に比較するに年一割以上の配當をした會社が増加して、年五分以下の配當の

ものが減少してゐる。然し一方に於て無配當に終つた會社が前年よりも増加してゐる點は注意すべきである。前年との比較は下表の通りである。

製鐵と化學工業 又主なる産業個々に就て云ふに炭礦業及び製鐵業關係諸會社の配當率は概して低い。但し褐炭礦業のみは例外で年九分五厘の配當をして居り、又加里礦業はそれ以上の高配當である。化學工業は無配當や低率配當のものが少く、一割以上の高率配當をしたものが七十三パーセントを占めてゐるの傾向を辿つた。一方電気機械工業は仲々景氣がよい。其他の機械工業も前年よりは見直してゐる。之れに反し運輸業は一般に利益が少い。その内汽船會社は未だ幾らか好い方であるが鐵道の配當は年四分にも達しない。景氣の一番よいのは銀行と保險會社で、諸企業中の儲け大將であるに前年よりも配當が著しく増加してゐる。

今主要産業別に會社數、拂込資本金、純益金、配當率を示すに次頁に掲げた表の通りである。

(數字は凡てドイツ統計局發行の Wirtschaft und Statistik 一九二九年八月上旬號による。)

配 當 率 高 低

配當率 (年)	會社總數に對する百分率		資本金總額に對する百分率	
	1928年	1927年	1928年	1927年
無配當のもの	23.9	27.5	16.9	14.4
五分以下のもの	11.6	11.7	8.9	11.8
五分より一割迄	43.3	45.1	51.1	52.7
一割以上のもの	16.2	15.7	23.1	21.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0

ドイツ諸會社業績一覽表

業種	1928年				1931年			
	會社數	拂本金 百マルク	純益金 百マルク	配當率 %	會社數	拂本金 百マルク	純益金 百マルク	配當率 %
原料工業	200	2,281	178	7.11	166	3,244	73	3.5
石灰工業	18	381	17	3.58	107	153	2	4.9
棉炭工業	20	204	24	9.49	281	756	7	2.7
加里鐵業	13	426	52	11.36	151	749	2	2.6
採鐵製鐵	5	301	12	4.09	566	2,422	131	6.0
建築材料	63	219	23	8.99	503	896	50	1.8
製造工業	679	3,636	336	7.91	503	2,930	140	5.3
製鐵工業	43	131	8	5.07	221	193	3	2.3
機械工業	117	480	36	6.00	123	228	23	0.7
電氣工業	31	264	21	7.54	16	57	0.4	2.8
化學工業	72	1,299	150	10.19	25	429	26	1.7
紡織工業	135	588	54	8.06	542	1,377	82	6.5
水道瓦斯電氣	76	921	70	7.16	16	429	26	1.7
電力會社	64	735	55	7.07	286	1,186	71	5.0
銀行會社	92	207	18	5.43	71	219	51	7.0
保險會社	165	1,505	178	9.19	202	941	21	2.3
運輸會社	14	178	14	7.08	82	523	18	4.1
其他	135	197	32	12.15	6,914	18,481	408	4.1
雜計	21	1,177	62	5.08				
其他	76	449	33	7.16				
雜計	44	641	26	3.79				
其他	44	131	11	6.41				
雜計	1,526	10,232	899	7.42				

ドイツの燐寸專賣

(一九二九・一〇・二五)

ドイツ政府がスエーデンの燐寸會社から五億マルク(邦價約二億五千萬圓)の借金をした。そして同燐寸會社に專賣權を與へた。こいふのでドイツの財界では最近大きな問題となつて居る。事の次第は大體次の如くである。スエーデンの燐寸トラストは近年極東迄も手を延ばして日本等も市場を荒らされてゐるのであるが膝元のヨーロッパでは云ふ迄もなく各國至る所で我物顔に振まつてゐる。ドイツにも同トラストは多數の工場を持つて居りドイツに於ける燐寸産額の六割五分は同トラストの手で製造されてゐる。所が最近ロシアが安値の燐寸を輸出してドイツ市場でダンピングをやり出したので、困つたのは瑞典のトラストミドイツの燐寸會社である。何さか對策を樹てねばならぬ破目になつて居た。一方ドイツ政府は來年度の特別豫算に大分不足を生じて何か金策をせねばならぬ場合に立ち至つたが、内外共に金融市場が逼迫せる今日借金を貸すから燐寸の專賣權を呉ラストの『燐寸王』クローゲル氏(Ivar Kreuger)が色目を使ってドイツ政府に金を貸すから燐寸の專賣權を呉れと申込んで來た。そこで最近一、二ヶ月間兩者間に交渉が行はれた末冒頭の如き結果となつたのである。

協定の内容 此の協定は十月廿一日に調印されたのであるが、ドイツ議會の批准を必要とし又例のヤング案をドイツが承認する事が條件となつてゐる。協定の内容は左の通りである。

(第一) ドイツに燐寸專賣會社を設立し、これに國內に於ける販賣、輸出、輸入の獨專權を賦與する事。其の設立期間は向ふ三十二年乃至五十年間とす、これはドイツ政府の借金返済の事情により決定する。

(第二) 新設燐寸專賣會社の株式の半分は瑞典燐寸會社及び國際燐寸會社 (Swedish Match Co. and International Match Corporation) が所有し、他の半分はドイツの燐寸會社及び聯邦金融銀行 (Reichs-Kredit-aktiengesellschaft) が所有する事。

(第三) 瑞典燐寸會社は従前通りドイツに於ける燐寸生産高の六割五分を支配し、ドイツ會社は三割五分の生産をする事。

(第四) 燐寸の小賣値段を十個入一箱二十五ベニヒ (邦價約十二錢五厘) から三十ベニヒ (約十五錢) に引上げる事。

(第五) 專賣會社の株主は年八分の一定配當を受ける事。ドイツ政府は燐寸生産高十萬個に付十三マルクの專賣許可料を取る事。それ以上に專賣會社が利益を興けた際はドイツ政府と瑞典側と均等に分配する事。

(第六) 前記協定に關連して瑞典のクロイデル金融會社 (N. V. Financier Matschappij Kreuger and Toll) はドイツ政府の公債米貨一億二千五百萬ドル (五億マルク) を引受ける事。利率は年六分、發行價格九十三ミ十年後には額面にて借替える事が出来る。現金の受授は二回に分ち、最初の分は協定實行後七ヶ月に五千萬ドルを、第二回は其後更に九ヶ月を経て七千五百萬ドルを渡す事。

ロシアの憤慨 右協定の結果ドイツ側の受ける利益は何かといふも、他で借りるよりも餘程有利な條件でドイツ政府は現金を手に入れる事が出来、此の金を以て懸案たる政府の財政改革を實行し得る事と今一つはこれによつてロシアのダンピングを免がれ燐寸市場の安定を見てドイツの燐寸會社も一息付けるといふ點にある。

然し此所で承知せぬのはロシアである。ロシア燐寸のドイツ輸入を防遏するのは、取りも直さず『敵對行爲』の一種だと思はれてゐる。然し瑞典側ではロシアにも同じ様に金を貸付けて、中歐及び西歐諸國に於てロシアが瑞

典燐寸と競争せぬ様協定せんとする腹らしい。之れに對しロシアがさう出るか成行は注意を要する。

因みに最近數年間のドイツに於ける燐寸産額及び工場數を示す左の通りである。(ドイツ統計局調査、四月一日より三月末日に至る年度)

年	生産高	工場數
一九一三—一四年	九〇、二八七萬本	七〇
二四—二五年	一一〇、一六七	六九
二五—二六年	一二四、七三〇	六〇
二六—二七年	一三三、四八二	五六
二七—二八年	一三一、九〇四	五九

尙本年一月より八月迄のドイツの燐寸輸入高は九十一億四千六百萬本 (價格二百萬マルク) で殆ど全部ロシアから這入つてゐる。又輸出は同期間に於て約四十億本で其半分近くは支那へ輸出されてゐる。

アルミニウム工業

(一九二九・一一・一八)

年々巨額の賠償金を支拂つて行く爲にはドイツは輸出の増加により國際收支の改善を圖らねばならない。輸出の増加を圖るには産業の合理化によつて生産費を引下げる事が必要である。此の點はドイツは著々實行してゐる。然し幾ら生産費を安くしても諸外國が高い關稅の障壁を設けて輸入を阻止してゐるは賣り様がない。ヨーロッパ諸國の關稅撤廢乃至引下げ運動にドイツが急先鋒となつてゐるのは之れが爲である。他國の關稅引下げを要

求する手前勿論自國の關稅をも低くせねばならぬ。此の點に就てはドイツは戰後社會黨が勢力を占めて居る關係上主義として自由通商に賛成し輸入關稅も一般に低い。

所が最近此の主義に反して關稅引上げを要請して居る工業がドイツにある。それはアルミニウム工業である。ドイツは世界一のアルミニウム製品輸出國であり、日本はアルミニウムの輸入國である。故に此の機會に右關稅問題でドイツのアルミニウム工業の近狀を調べる事は無駄ではあるまい。

原料工業と製品工業 アルミニウム工業を一口に言つても此の中にはアルミニウムを生産する工業と之れを原料として半製品乃至全製品を製造する工業と二種類ある事を先づ記憶せねばならぬ。而して關稅を要望して居るのは前者であつて後者の製品工業ではない。前者の原料工業は合同アルミニウム會社(Vereinigte Aluminium-werke A. G.) のいふのが殆ど獨占して居る。此の會社はドイツ政府が大部分の株を所有して居るので事實上國營とも言ふべき状態にある。後者の製品工業は全然民間の手にあるが、其資本の少なからぬ部分が前者から出て居るのみ、原料アルミニウムの供給を前者に仰いで居る關係上、原料工業は製品工業に對して大なる勢力を持つて居る。

現在ドイツでは原料アルミニウムの輸入は無稅で半製品及び製品に對してのみ關稅を課して居るが此の無稅の原料品に對して新に課稅を要望して居るのである。要望して居る稅率は次の如くであるを傳へられる。

	現行稅率一トンに付	改正要望稅率一トンに付
アルミニウム	無し	三〇〇マーク
同 半製品	一一〇マーク	四二〇
同 全製品	一、二〇〇	一、二〇〇



關稅要望と理由 アルミニウムの輸入に對し新稅を要望して居るのは次の理由による。勿論之は生産者側の主張である。

- 一、アメリカが現在の増産計畫完了後には供給過剩を來しドイツへダンピングする心配がある事。
- 二、ヨーロッパ諸國(ドイツを除く)の増産に伴ひ、之等諸國が輸出を必要とする數量は一九二六年の三萬トンから明一九三〇年は六萬一千トンに倍加すべき見込なる事。
- 三、殊に一九三一年ヨーロッパ・アルミニウム・カルテル期限満了後はヨーロッパ産アルミニウムの洪水を起す危険ある事。
- 四、ドイツの原料工業を引合ふ様にするには現在の生産高を倍加し(現在では生産能力の六割六分の操業しかして居ないと言ふ)、一方輸入制限の必要ある事。

消費者側は反對 右の主張に對し消費者側即ち製品工業の側では原料品に對する關稅の無用有害なる事を強調し左の如く反駁して居る。

- 一、外國殊にアメリカではアルミニウム工業は原料品より製品に至る迄同一會社の手で生産する所謂垂直的企業組織になつて居り、従つて之等外國の原料品増産の結果は必ずしも原料品市場に於ける競争になつて現はれず寧ろ製品の形になつて競争する事にならう。製品輸出市場に於て現在獨を唱ふるドイツへ向つてわざ／＼原料品をダンピングする事は敵に武器を供給する様なもので、そんな感をする譯がない。
- 二、ヨーロッパ諸國、アメリカ及びカナダに於ける原料アルミニウムの生産費は決してドイツの生産費に比して安くない。夫れ故に關稅を設けてドイツの原料工業を保護すべき謂はれがない。
- 三、そのみならず生産費は最近ハーグレント製法(Haglund Verfahren) (此製法のヨーロッパに於ける特

許はドイツが持つてゐる)の發見によつて著しく低下し今日實際の生産費はドイツに言はず歐米諸國に言はず賣り値よりも遙かに安い。即ちカルテル或はトラストに依つて價格を實價以上に釣上げてゐる。斯う言ふ組織の産業に對して保護關稅は無意義である。

四、生産者側が危険を叫ぶ所のヨーロッパのアルミニウム増産は實はカルテルの自身の播いた種である。即ち企業のモノポリーに依つて得た利益を各國が常に生産能力増大に注ぎ込んだ結果に外ならぬ。今更危險呼ばりは聞えぬ。

ドイツ國內需給 其所でドイツは幾何のアルミニウム(製品を除き)を生産してゐるかといふ一八九二八年の産額は三萬五百噸で世界産額の八分の一強、ヨーロッパ産額の四分の一強である。而して此の外に純輸入が一萬一千噸ある。即ち消費は四萬二千噸近くに上る譯である。ドイツの原料アルミニウム工業は大戦後に於て發展を見ても、一九二三年と今日と比較するに生産は倍加してゐる。然し消費の方が常に先走つてゐる爲一九二六年を除く外は毎年入超を示してゐるのである。

アルミニウムの主要原料たるボークシット(Bauxit)はドイツ國內に産しないのでハンガリー、南部フランス、イタリア及びユーゴスラヴィアから輸入してゐる。ドイツのアルミニウム工場は低廉なる動力の供給地域に設けられてゐる。即ちバイエルン(水力電氣)、中央ドイツ、下部ラウジツ、下部ライン(以上褐炭發電)の各地方である。

ドイツに於ける原料アルミニウムの産額、消費高、輸出入額を示す下表の通

ドイツ・アルミニウム需給統計
(單位千メートルトン・ドイツ統計局發表)

	生産高	輸入高	輸出高	消費高
1925年	26.2	10.7	4.3	32.6
26年	29.6	5.5	13.9	22.6
27年	27.4	12.8	5.1	35.9
28年	31.7	14.8	3.6	42.9
29年	32.7	14.2	4.1	42.8
30年	30.2	9.7	5.6	34.3
31年	25.0	4.7	4.7	25.0

りである。

製品輸出は世界一 以上は原料アルミニウムの需給を述べたのであるが、製品工業になるに大いに形勢が違ふ。即ち原料アルミニウムでは一ヶ年千五百萬マルク内外の輸入超過であるが、半製品及全製品アルミニウムは反對に三、四千萬マルクの輸出超過を示してゐる。即ち原料の入超を差引いてもアルミニウム工業及び製品工業全體から見れば尙二千萬マルク内外出超の勘定になる。

ドイツのアルミニウム製品工業は甚だ能率が高く、世界アルミニウム製品輸出額の五割五分を占めてゐる。アメリカ及びスイスは共に一割六分、イギリスは八分、フランスは五分で何れも遙かにドイツに及ばない尤も半製品工業ではドイツはアメリカに近年壓迫され氣味で世界輸出總額中アメリカの三割三分に對しドイツは二割二分に下がつてゐる。四、五年以前迄はドイツはアメリカは半製品輸出市場に於て略伯仲の勢力を持つてゐるのである。所が最近大市場の一たるインドの形勢はアメリカ側が非常に優勢で、ドイツの對インド半製品輸出は以前の半分に減つてゐる。然し全製品輸出市場では依然としてドイツの獨り舞臺の感があり、ヨーロッパ大陸諸國は勿論の事、イギリス、アメリカ、インドへの輸出は増加してゐる。ドイツが全製品市場に於て今日斯く優勢なる地位

世界アルミニウム生産高

(單位千メートルトン・Metallgesellschaft A. G., Frankfurt調査)

	1925年	26年	27年	28年	29年	30年	31年
ドイツ	26.2	29.6	27.4	31.7	32.7	30.2	25.0
フランス	18.4	23.6	25.0	25.9	29.1	24.6	24.0
スイス	22.0	22.0	21.0	19.9	20.7	20.5	16.0
ノルウェー	21.3	24.4	20.8	24.8	29.1	27.4	21.4
イギリス	9.7	8.1	9.7	9.7	8.1	13.2	—
イタリア	1.9	1.9	2.5	3.5	7.4	8.8	11.1
オースタリ	3.0	3.0	2.5	4.0	4.0	3.5	3.0
アメリカ	68.2	72.0	75.0	95.3	102.1	103.9	80.5
カナダ	12.2	18.3	27.4	25.4	38.6	32.5	—
世界合計	187.1	202.2	205.1	240.9	272.8	265.7	223.0

五大輸出國輸出割合

(ベルリナー・ターゲアラツト紙)

		ドイツ	アメリカ	イギリス	スイス	フランス	合計
		%	%	%	%	%	%
原料品	1925年	15	13	11	54	7	100
	1928年	13	4	9	61	13	95
半製品	1925年	29	32	20	9	10	100
	1928年	22	33	21	11	13	168
全製品	1925年	55	11	10	15	9	100
	1928年	55	16	8	16	5	150

(備考) 合計欄1928年の数字は1925年を100%としての率。

ドイツ・アルミニウム輸出入額

(獨逸貿易月報)

	1929年1月—9月				1931年			
	輸 入		輸 出		輸 入		輸 出	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
アルミニウム	10,759	15,368	2,751	5,045	4,671	4,502	4,662	6,612
同半製品	330	1,311	3,236	9,304	194	778	4,736	11,820
同全製品	300	2,246	6,814	34,210	326	3,390	8,710	33,777
合 計	11,389	18,925	12,801	48,559	5,191	8,670	18,108	52,209

獨逸アルミニウム全製品主要輸出先

(獨逸貿易月報・單位メートルトン)

	1929年1月—9月			1931年		
	薄 板	其他製品	合 計	薄 板	其他製品	合 計
フランス	28	948	976	219	1,099	1,318
イギリス	514	434	948	823	298	1,121
オランダ	305	317	622	359	302	661
アメリカ	340	122	462	529	120	649
支 那	418	99	517	1,461	33	1,494
蘭領印度	123	129	251	154	57	211
シヤム	—	196	196	—	30	30
英領印度	77	85	162	96	63	159
佛領印度	—	151	151	—	57	57

を占めてゐる原因は國內に於ける原料工業のモノポリーのお蔭ではなく、却つて其の昔フランス及びスイス等から安い原料アルミニウムを輸入して、早くもヨーロッパ大戦前に有力なる製品工業の基礎を確立し、之れを發展せしめた結果であると言はれる。

今一つ注意すべき傾向は、世界主要國の輸出状況を見るに原料品の輸出が却つて減少せるに反し全製品及び半製品の輸出は過去四年間に於て五割乃至七割方増加せる事である。次頁上段の表を参照され度い。

輸出割戻の承認?

原料アルミニウムに保護關稅を新設するか否かに就ては目下ドイツ經濟省と當業者間に協議が進んでゐるらしいが、結局さういふ事になるかは今日の所未だ判明しない。製品工業側は前記の如き主張の下に最初頻りに反對の聲を擧げてゐたが最近には鳴りを鎮めて仕舞つた。此の間の事情に就てアルミニウム同業會に問合せた所、當業者は秘密主義を取つて居るので仲々真相を知り難いが、大體左の如き事情らしく思はれる。

一、製品工業は原料アルミニウムの關稅新設に對し文句を言はぬ事。

二、その代り原料工業側は關稅實施後に於ても原料アルミニウムの賣り値を引上げぬ事。且つ半製品會社は合同アルミニウム會社よりアルミニウムを買ふ場合或る特典(割引)を得る事。

三、壓延板アルミニウム(半製品)輸出の際には更に輸出割戻(Ausfuhrvergütung)を保障し、これによりてアメリカの競争に應戦すべき事。

四、壓延板アルミニウム(Walz)の稅入稅を現行の一トン百二十馬克より四百二十マルクに引上げを認める事

五、對ドイツ原料アルミニウムの最大輸出國たるスイスの關稅反對を抑へる必要上、スイスの最大會社ノイハウゼン(Neuhausen)がドイツに有する工場 Rheinfeiden (ライン河の上流スイスに近きドイツ領土にあ

る)の産額倍加を承認する事。(同工場は現在ドイツ産額の一割を承認されてゐる)
消費工業の態度 アルミニウムを多量に消費する電機工業及び自動車工業が右關稅問題に對して如何なる態度を採つてゐるか言ふに、

(一) 自動車工業は近年ドイツに於て著しい發展を遂げ、従つて同工業の消費するアルミニウムは年々激増してゐるが、同時に輸入の古アルミニウムを多量に消費する。(本年一月より九月迄のドイツ・アルミニウム輸入額一萬〇七百トン中古アルミニウムは約半分即ち五千七百トンに上つてゐる。)之れに課稅されては大變さあつて關稅提案者側に頻りに交渉を重ねてゐる。

(二) 電機工業のアルミニウム消費は現在生産總高の十五パーセントに上つてゐるが、同工業はアルミニウム會社は從來親密な關係にあるので敢て關稅に反對はせぬ様である。因みに銅相場の騰貴以來アルミニウムが割安となり、電機工業では近年益々盛んにアルミニウムを消費する様になつてゐる。

一般輿論と國策 要するに今回の保護關稅要望はドイツ消費工業の必要とするアルミニウムを大部分國內で自給し輸入を制限せんとするにある。之れに對し當業者は其の利害次第で必ずしも反對せぬといふ形勢である。當業者はそれでよいとしてもドイツの大局から觀れば何う云ふ結果になるか。

冒頭で述べた通りドイツとしては一般關稅の引下げ乃至撤廢を標榜してゐる關係上關稅の新設或は引上げは其の主義と兩立しない。殊に原料品に課稅する事は策の得たものであるまい。偶々其の工業が政府の關係する工業である爲めに、其の利益を保護せんとして新に關稅を課する事にすれば、或は政府の利益にはなるかも知れぬが國民の利益になるかは必ずしも言はれぬ。又斯ふ先例を政府が示せば他の諸工業中にも保護關稅を要求するものが續出するに違ひない。既に或る種の工業はアルミニウムに倣つて保護關稅要望の下準備をしてゐるのがあ

るを傳へられる。斯ふ言ふ次第でドイツの一般輿論は關稅新設に對し決して好感を持つて居らぬが果して如何なる決定を見るか、其の成行は日本にしても注意を要する次第である。

因みにアメリカのダンピング云々はドイツが之れを處れてゐるのであつて今日迄の所未だ數字になつて表はれてゐない。一九二九年九月のドイツ貿易月報を見てもアメリカのアルミニウムは本年一トンもドイツへ輸入されてゐない。反對にドイツからはアメリカへ本年二千トン餘輸出してゐる。

日本へは本年ドイツから二千五百トンのアルミニウムを輸出してゐる。然し日本はカナダからも多量に輸入する。カナダのアルミニウム産額が最近三年間に倍加したのはアメリカへ行く外に日本及びイギリス向の輸出が増加した結果である。

又ロシアは今後五年間に三千萬ルーブルの資金を以て年額二萬トンの生産能力を有するアルミニウム工場建設の計畫を樹て、技術上の援助をドイツに抑ぐべく目下ロシアから委員が來獨して交渉中である。ロシアは昨年ヨーロッパ・カルテルから四千トンばかりのアルミニウムを買つた。右の建設計畫が實現すれば世界の需給形勢は更に變るに違ひない。

(附記) 本項中に挿入せる一九二九年以降の統計は右報告後追加記入せるものである。

景氣の好いビール工業

(一九二九・一一・二五)

一番儲かるビール

ビール會社の宣傳をする譯ではないが、ドイツ人はビールの事を「液體のパン」

(Flüssiges Brot) だと言ふ。此のパンがなくては生きて行けぬこの意味である。それ程にドイツ人は實際よくビールを飲む。ビールなしの食事はなく、ビールを飲むに老若男女の差別はない。ベルリンでビールを飲まずに食事をしやうと思へば野菜料理専門の食堂へでも行く外はない。ドイツ人が一ケ年に拂ふビール代は二十億マルクに上る。二十億マルクと言へばドイツが毎年支拂ふ賠償金額に等しく、又石炭の年産額に同じである。ベルリン株式取引所に上場されてゐる何百種の株の中で今日一番高値を呼んでゐるのは加里工業株ミビール株である。實際ビール會社は平均年一割五分位の好配當をして居り、中には二割以上のものもある。ビール會社は今日ドイツの諸産業中儲け大將である。

消費と生産の増加 ビールの賣れ行が多いか少いかはドイツの景氣のバロメーターである。ドイツ人が如何程ビールが好きでも金が無ければ飲めぬ。所がドイツのビール消費はマルクの安定以來毎年増加してゐる。一九二三年には人口一人當り消費高は四十五リットルであつたのが今年は九十リットル(約五斗)に達する模様で七年間に倍加した譯である。如何に年々急激に増加しつゝあるかは下表を御覽願ひ度い。消費の増進に伴れて産額も下表の通り毎年増加してゐる。本年の生産豫想五千八百萬ヘクトリットルはヨーロッパ大戦前の産額に比すれば尙一割計り少いが、一九二三年に比較すれば二倍に増進してゐる。

ヨーロッパ大戦前はアメリカが世界一のビール産國でドイツよ

ドイツ・ビール産額及一人當り消費高
(ドイツ統計局調査)

年	生産高 千ヘクトリットル	一人當り消費 リットル
1913年	66,220	102.0
20年	23,438	37.8
21年	33,993	54.2
22年	31,235	51.2
23年	28,230	44.9
24年	38,149	60.7
25年	47,560	75.4
26年	48,342	76.1
27年	51,619	80.8
28年	54,995	85.7
29年(推定)	58,000	90.0

りも生産高が一割近く多かつたが、アメリカの禁酒法の結果、今日ではドイツが世界一となり、世界ビール産額の三割はドイツが生産する。日本のビール年産額は百七十萬ヘクトリットル見當であるからドイツの三十分の一に過ぎない。

生産割當の廢止 ドイツのビール會社が今日迄非常な好況を續けて來たに就ては消費が年々累進した外に今一つの理由がある。それは生産割當の制度 (Kontingent 又は Quota) である。

ヨーロッパ大戦當時ドイツは食料品、原料品の不足缺乏に苦しんだ結果ビールの生産の如きも之れを制限する目的でドイツ政府は一九一五年にビール醸造原料の消費割當を實行した。之れは一九一〇年より一九一四年迄の平均消費を基準としてビール會社の消費する原料の數量を各會社毎に指定し、指定以上の原料使用を禁じたのである。その結果ドイツ人は戦争中水の澤山混じつてゐる淡いビールを飲まざるを得なかつた。

戦争終了後一九一九年にビール税法 (Biersteuer-Gesetz) という法律が出来て今度は原料消費を制限する代りに各ビール會社のビール生産高を割當制限する事になつた。此の法律によれば新設會社は二倍の税金を拂はねばならぬので實際上ビール會社の新設は不可能となり、既設會社は非常に儲かる事になつた。此の生産割當は十年間續いたが本年九月末日限りで廢止された。之れは社會黨が新規の競争を許さぬのは不都合な規則だといふ理由で本年六月末同法律の廢止を議會で決議した結果である。従つて今後は新設會社の設立が自由となり、既設會社は今迄の如き甘い汁を吸ふ事が出来なくなるものが見られてゐる。

政府の專賣計畫 所が最近涌いて出たのはビールの專賣計畫である。政府は賠償金支拂に充てる爲現在一ケ年四億マルクのビール消費税を課してゐるが、之れを更に六億マルクに増税しやうとして本夏議會に提案したが否決された。之れはバイエルン州出身議員を首めビール會社に關係の深い議員が一齊反對した結果である。

然し非常に儲かるビール工業から今少し金を搾らうと考へてゐるドイツ政府は今度ビール専賣を計畫した。此の案によれば一ヘクトリットルに付二マルクの専賣手数料を取つて年額約一億マルクの専賣益金を擧げやうといふにある。但し之れは民衆の飲むビールが高くなる譯でなく、ビール會社の利益がそれだけ減る事になるのである。政府の専賣計畫に對しビール會社は元より好感は持つて居らぬ。然し大した反對運動も起して居ない。それは専賣計畫は實行不可能だと思察を括つてゐる爲らしい。其理由としてビール會社側の説明する所によるが、専賣をしても政府は結局骨折損の草臥れ儲けになるといふのである。それといふのは現在ドイツには大小約五千のビール工場があり、専賣の爲め勘定係りとして一工場平均四人の役員を使ふにしても二萬人を必要とする、一人の年俸三千五百マルク平均として一ケ年の給料のみでも七千萬乃至七千五百萬マルクを喰つて仕舞ふから、政府は結局得る所は何もないといふのである。又若し専賣の結果製品の種類統一でもやれば消費は一割方減少するだらうとビール會社側は言つてゐる。之れは一般工業製品は別として、飲食物に關する限り人間の嗜好は千差萬別で到底僅少の種類のビールではドイツ人は満足せぬといふのである。此のビール會社側の説明は多少反對宣傳も混じつてゐる様だが、兎に角ドイツのビール専賣がモノになるか否かは今の所疑はしい。

會社の販賣組織

ドイツのビール會社は株式會社のみでも三百餘あり、其資本金は五億マルクに上る。一ケ年の産額十萬ヘクトリットル以上の大工場は九十五あつて此所で總産額の五割が生産される。残りの五割は約五千に上る小工場で醸造されるのである。ビール工場は全國到る所に在るが、主な生産地方はミュンヘン、ベルリン、ニュルンベルグ、ミュンスターの四地方で全國生産高の約四割二分は之等の地方で醸造する。ビール工業にはカルテル或はシンヂケートの組織はない。然し各地方毎に同業組合 (Verain) があつて、其の地方の賣値を協定してゐる。此の同業組合はドイツ全國を通じて四、五十もある。故に一地域内では値段の競争はない譯

である。然し名前の賣れた特色のあるビールは他の地域へも侵入して競争する。例へば遠いミュンヘンのビールがベルリンに於て盛んに賣れる如きである。

ビール會社の販賣組織は極めて簡單で大部分は工場より直接消費者へ配達する。中間商人は一部の例外を除く外は全く無い。即ち北ドイツに於てはビール箱を満載した貨物自動車 (或は馬車) は工場を出る直ぐにレストラン、カフェー或は食料品店 (小賣) 等へ横付けする。勘定は凡て現金拂で、掛け賣りは絶體にしない。其の場で金を拂はねば其儘自動車は工場へ引返すと言つた具合である。(尤も非常に著名なレストラン等に對しては二三日後拂を認めるのが若干あるが、それ以上長期の掛賣りはしない)。ビールの如く其場で消費されて仕舞ひ跡形の残らぬ商品に對しては掛賣りは危険だといふ譯である。但し瓶や樽は飲む譯に行かぬから後へ残るが、之れは元々値段の中に含まれて居らぬから會社へ戻さねばならない。

開業資金貸付 右の通りビールの代金は現金勘定だが、ビール會社は販賣政策として新規に開店するレストラン、カフェー等に對し開店資金を融通する。之れは相當長期 (數ケ年) に亘つて貸付けるので、金額も一軒に付五千マルク乃至二、三萬マルクに上る。つまり販賣を増加する爲めに銀行の役目をも勤める譯である。素手の者がカフェーを開業するからと言つて銀行へ行つても仲々金は貸して呉れぬ。其處をビール會社が融通して、何年間に元利を月賦で拂戻さしめ同時にビールを餘計賣るこいふ寸法である。

南ドイツでは更に積極的でビール會社がレストラン或はカフェーを直營してゐるのが甚だ多い。此の場合にはレストランやカフェーの主人は單に會社の使用人に過ぎず、利益は全部會社へ行く譯である。他の場合ではレストラン或はカフェーの家屋や設備を會社が所有し、之れを人に請負經營させてゐるものもある。斯様に南ドイツでは生産者から直接一般公衆に賣る方法を探つてゐる。

商人と口銭と生産費 右の如く一地方で生産したビールを同じ地方で消費する場合には中間商人は全然入り込む餘地がない。然し他の地方からビールを移入して来る場合には中間商人の手を経る事になる。例へばミューンヘンのビールをベルリンで賣る場合の如きである。此の中間商人の事を Verleger 一般に稱してゐる。此の商人の得る口銭はビールの種類によつて違ふから一概には言へぬが一ヘクトリットルに付大體一マルク半から二マルク半迄の所らしい。ドイツのビール總産額中八、九十パーセントは生産者から直接消費者へ行くので、此の中間商人の手を経るのは僅かに一、二割に過ぎぬ。

口銭の序でにビールの賣り値と生産費を調べて見やう。レストランやカフェで賣る普通のビールは大コップ一杯(約二十分の九リットル入り、我が二合五勺に付)二十五ベニヒ(十二錢五厘)といふのが普通である。(勿論音楽や踊り場の設備のあるカフェやレストランは之よりすつと高い)そうするに一ヘクトリットルの賣り値は凡そ四十六マルク餘になる。會社の賣り値は今日二十六マルクといふのが普通であるから、カフェや食堂は一ヘクトリットルに付二十マルク計りの利益を得る勘定になる。ビールを飲まぬお客を排斥する理由も自づから領かれる。

ビール會社の生産費は幾らかさいふと會社により又種類によつて異なるからハッキリした事は言へぬが一ヘクトリットルに付二十マルク乃至二十二マルクといふのが普通らしい。

食堂やカフェがビールで儲けるのも甚だ大きい、同時に税金も多額に搾られる。ベルリンのレストランは賣上税、一般營業税、所得税、飲食店開業税、使用人税、遊興税、市ビール税等合計七、八種の税金を納めねばならぬらしい。ビール會社の納める税金は更に多額で消費税を首め二十種以上に上る言ふ事である。

ビールの輸出 ドイツのビールは大部分國內で消費されて輸出は生産總額の約一パーセントに過ぎない。然

ドイツ・ビール輸出入額

(ベルリン・ビール同業會調)
(單位千ヘクトリットル)

年	輸出額	輸入額
一九一三年	一、〇五七	四五四
一九二四年	五一五	一五六
二五年	四九七	一八六
二六年	五四五	一七七
二七年	五五三	一九四
二八年	五六四	二〇〇
二九年(推定)	六〇〇	—

主要輸出先

(ドイツ貿易月報)
(1929年1月より9月迄)

輸出先	ヘクトリットル
蘭領インド	八八、五六三
英領西アフリカ	七四、八二五
英領インド	五九、二四〇
白領コンゴ	二八、一八七
エチオピア	一七、八〇九
支那	一二、二九四
(以上瓶詰)	
ベルギー	ヘクトリットル
スイス	二六、二七九
オランダ	二一、六一八
(以上樽詰)	
オランダ	一三、四五二

しそれでも數量にすれば五、六十萬ヘクトリットルで日本の産額の三分の一に當る。ドイツは大戦前迄はヨーロッパ諸國へ盛んに輸出したが、戦後各國の醸造業が發達し且つ保護關稅を設けて輸入を制限してゐる結果今日の主要輸出先は熱帯諸國即ち蘭領インド、英領インド、アフリカ、中米及南米諸國である。

輸出ビールは瓶詰が總額の五分の四を占め、他の五分の一は樽詰である。輸出品を醸造する會社はドイツに四十ばかりあるが、之等の會社は同時に内地消費品も造つて居る。輸出専門のビール會社としてはブレメンに一家あるのみである。輸出信用

は普通一二ヶ月

で最も長いのは三ヶ月に及ぶ事がある。

輸入はチエツコスロヅワキアから年額二十萬ヘクトリットル這入つて来る外

ビール工業大勢

(ベルリン・ビール同業會調)
(凡て概算す)

項目	百萬マルク
投下資本總額	二、五〇〇
賣上年額	一、八〇〇
支出内譯	
大麥、ホップ、馬飼料	五〇〇
機械、貨物自動車、瓶	二二〇
燃料、及保險	二二〇
賃金及俸給	二二〇
利子、配當、企業家利得	一三五
販賣宣傳費、運賃、損失	一二五
國稅、ビール消費稅	四〇〇
其他諸稅金	一五〇
ビール輸出額(一九二八年)	三三・五

には殆どない。チェッコのピルズナー (Pilsner Urbeul) のいふビールは非常に美味でドイツ人に仲々歓迎される。ビール輸入税は百キログラムに付樽入十二マルク、瓶詰十八マルクである。ドイツのビール輸出入額を示す前頁上表の通りである。

ドイツのビール工業の投資総額は二十五億マルクである。ビール會社は金廻りが好いから外國の資本は這入つて居ない。ドイツ・ビール諸會社の經濟大勢を一瞥すれば前頁下表の如くである。

恐慌圏外にある

ドイツのビール工業

(一九三二・四・二二)

つい最近ベルリンやハンブルグでビール店の總ストライキが十日餘りも續いて、ビール好きのドイツ人を困らせた珍事があつた。

元來ドイツ人は水の代りにビールを飲む——と言つてもよい位に澤山飲む。少くも日本人がお茶を飲む程度には飲む様である。ビール會社はビールのことを「液體のパン」(Flüssiges Brot) だゝ宣傳してゐる位である。このビールが假令十日間にせよ喉に入らなくなつたのであるから一大事である。

飲み代十五億圓　ドイツ人が一年に飲むビール代は約二十億マルク、之にビールの税金を加へたら三十億マルクにも及ぶであらう。日本の金貨にして十五億圓——大きな話である。

世界が不景氣に喘いでゐる最中に、殊に不況を最も痛切に味はひつゝあるドイツに於いて、ビール工業のみは今迄全く別世界の如き觀があつた。ドイツのビール會社の株はベルリン取引所で一番値の高い大關であつた。

然しビール會社のみが、何時までも太平の夢を食ふことは許されなかつた。冒頭に誌したストライキにしても事の起りは近頃の不景氣でビールの賣れ行が悪いので小賣店がビール會社に對し卸値段の引下げを要求した所、會社側が之を容れぬ爲め、然らば當分販賣を御免蒙るゝ痰呵を切つたのに始まる。

ビール減税一億　ビール會社の中には今日尙引續いて相當の成績を擧げてゐるものもあるが、ドイツ第一の大會社シュルトハイス社 (Schultheiss) の如きは昨年は無配當を發表してゐる。それで値段の引下げよりも寧ろ法外に高い税金の引下げが一層肝心であるといふので、今度はこの争議に政府が捲き込まれ、消費者と生産者と政府とが三つ巴になつて立ち廻りを演じた結果勝負が付き、軍配は遂にビール會社に揚つたのである。

- 政府はビール一ヘクトリターに付約七マルク方減税した。更に詳しく言ふと——
- (1) 國稅　從來一ヘクトリターに付十二マルクのもの三マルク方引下げ。
- (2) 地方稅　地方により様ならざるも、約四割方減税。ベルリン其他北ドイツでは現在の十マルクから四マルク方引下げ。

政府が財政困難で弱つてゐるのは世界各國共通である。ドイツも勿論御他聞に洩れない。然るに右の如くビール税の引下げを斷行するに際して、政府は下表の如き大減税を來すこととなる。

政府が苦しい中を斯くの如き大減税に出たのであるから、ビール會社も折れねばならぬ。物價引下長官ゲルデラー氏の要求通り、一ヘクトリターに付二マルク方會社は賣値を下けた。

右減税と賣り値引下げの結果、ドイツ人は三月二十日から普通のコップ一杯に付約五ペニヒ (二錢五厘) 方安くビールが飲めることにな

(單位百萬マルク)			
	一九三一年度	三二年度	
豫算額	五二〇	四〇〇	減稅額
實收入	一〇〇	一〇〇	
同 地方稅	二五〇	一七〇	

つたのである。

〔註、ドイツではビールのコップには凡て容量が文字で擦り込んである。リター入り位が普通のグラスで、この一杯が二十五ベニツヒ（十二錢五厘）程である。〕

原料の値下り ドイツのビール工業が世界的不況に見舞はれて可成り打撃を蒙つてゐることは慥かであるが、他面に於いて原料の値下りが著しくなつて来たことも事實である。

ビールの原料と言ふは大麥並びにホップであるが、最近數年間の公定相場を掲げるに下表右の如くである。

而して百リターのビールに含まれる原料は大麥二十七キロ、ホップ〇・二五キロであるから、ビール百リター一當りの原價は下表左の通り遞減してゐるわけである。

右の如く原料の値が下がつて来たから、ビール會社としては運轉が餘程容易くなつてゐるに違ひない所が賣り値は割合に高い。即ち地方により、又品質により異なるが先づ大體卸値百リターに付三十五マルクから四十五マルク位してゐる。そして此の中に前記の税金が含まれてゐるのである。小賣りでは半リター入一壺が普通三十ベニヒ（邦貨十五錢）位する。

會社の經營振り 曩にビール値下を要求する輿論が盛に起つた時、當業者は飛んでもないこじり許りにその營業收益なるものを發表したことがある。それによるご利益を収めた百九十六會社の平均純益は百リターに

一九二六年十一月	九マルク〇五	大麥	五〇キ
二七年同	七・九六	（一ト）	（五〇キ）
三〇年同	五・三五	（二ト）	（五〇キ）
三一年同	四・六〇	（三ト）	（五〇キ）
		（四ト）	（五〇キ）
		（五ト）	（五〇キ）
		（六ト）	（五〇キ）
		（七ト）	（五〇キ）
		（八ト）	（五〇キ）
		（九ト）	（五〇キ）
		（一〇ト）	（五〇キ）
		（一一ト）	（五〇キ）
		（一二ト）	（五〇キ）

〔備考〕大麥はベルリン取引所、ホップはニュルンベルクに於ける相場

付一マルク六六ベニヒであつた。配當額は一マルク二五ベニヒと稱してゐる。此の外に缺損を發表した會社が二十九ある。

之を地方別に見るミドレスデンの如く平均純益二マルク八四ベニヒと言ふ素晴らしい成績のものもある。各社間の競争が最も激しいと言はれるベルリンですら、二マルク二ベニヒであつた。兎に角不況々々と言ひ乍ら確實に之の文の收益あり、配當率も高いのである。そこで各方面からの注視が始まり、政府筋からは増税さへやり兼ねまじき脅威を受けるに至つた。之あるかあらぬか、各ビール會社では其後收益や配當の明示を嫌ふ傾向を生じた。その結果資本の運轉状況に關して嘘欺の報告が行はれたりして、シュルトハイス社（Schultheiss）の如きは遂に瀆職事件を惹起、今尙裁判所の手で取調べを受けてゐる。

一方では各ビール會社間の角逐もだんく激化して来た。ビールの賣り値は協定で一定されてゐるので、競争は専ら『小賣店の争奪』と言ふ形式で行はれてゐる。ビール會社がビール販賣店の金融機關の役を勤めてゐるこ

ビール會社の營業概況

會社名	年度	總生産高 百リター	百リター當り	
			純益 マルク	配當額 マルク
Schultheiss	1929-30	3.30	2.90	2.26
	1930-31	2.50	—	0
Berliner Kindl	1929-30	0.92	1.80	1.30
	1930-31	0.70	3.02	2.00
Engelhardt	1929-30	0.70	2.13	2.00
	1930-31	0.50	2.00	1.80
Löwen-Böhmisch	1929-30	0.56	1.40	1.36
	1930-31	0.44	0.87	0.85
Löwenbräu	1929-30	1.00	2.73	1.95
	1930-31	0.75	2.35	1.75
Brauhaus Nürnberg	1929-30	0.34	2.50	2.00
	1930-31	0.325	2.10	1.70
Dortmunder A.-B.	1929-30	0.76	3.55	2.50
	1930-31	0.51	2.35	2.00
Schlegel-Scharpenseel	1929-30	0.35	3.20	2.80
	1930-31	0.20	1.60	1.50
Schöffenhof-Binding	1929-30	0.45	3.20	2.65
	1930-31	0.36	3.25	2.50
Bavaria-St. Pauli	1929-30	0.69	2.00	1.80
	1930-31	0.57	1.52	1.26

は周知の事實で、各會社は多額の金をビール店に融通し、關係を密接にして極力自社製のビールを多く賣らせやうと言ふわけである。

然し乍ら、最近ドイツでもビール店や食堂の不況はやはり深刻になつて來てゐるから、時には貸倒れに遭ふことも少なくないらしい。

營業成績は良好

次にドイツに於ける著名ビール會社の營業成績を掲げる前頁の表の如くである。

この表によるに、ベルリナー・キンドル會社 (Berliner Kindl) を除けば、各社共前年に比して配當額を減少してゐる。けれどもその収益振りが眺めると、ドイツのビール工業は他の諸工業よりは抜群の好成績である。而して前述の貸付金の焦付の如きも、他の事業會社のクレジットの場合と異なり、金を借りたビール店は引續き債權會社のビールを引受け販賣するから、回收の見込みが全く立たぬと言ふ事が少ない。

生産と輸出減退

最後にドイツのビール生産額と輸出高を簡単に述べるに、生産高は一ヶ年四千八百萬ヘクトリターで日本の約三十倍、人口一人當り七十五リター(約四斗)を飲む勘定である。然しこれも一昨年邊りから見ると不景氣のせいか激減してゐる。

次にドイツのビール輸出は生産高の僅か一パーセントに過ぎぬがこれも世界不況の餘波を受けて漸減を示してゐる。聯邦統計局の發表に依れば、最近數年間のドイツビールの輸出高は左の通り

一九二九年	一一八、八四六キログラム	金額	三七、一六〇千マルク
三〇年	一一〇、一三四		三三、七一九
三一年	八五、二六六		二六、二八六

ビール生産高

一九一三—一四年	千ヘクトリター	六六、二二〇
一九二三—二四年		二八、二三〇
二四—二五年		三八、一四九
二五—二六年		四七、五六〇
二六—二七年		四八、三四一
二七—二八年		五一、六一九
二八—二九年		五四、九九五
二九—三〇年		五八、〇七八
三〇—三一年		四八、四八六

(四月一日より三月末に至る年度)

さて我國のビール輸出高はさうかと言ふに、ドイツの四分一以下で矢張り減少の傾向を呈してゐる。

一九二九年	數量	金額
	三九、一五六石	三、七五五圓
三〇年	三八、六三四	三、四四〇
三一年	三六、六三七	三、〇三五

工業化された石炭の液體化

(一九二九・一二・九)

獨米協定の公表 「石炭から石油を」生産すると言ふ事は既に數年前から傳はつて居り敢えて新しくない

然し今日迄は尙試験時代に屬して居つて此の試験が成功すれば産業界に一大革命を齎らすものとして世界中の専門家はドイツを注視して居つた。それはドイツの染料トラスト (I. G. Farbenindustrie) が主となつて此の研究を續けてゐるが故である。

去る十一月下旬ドイツ染料トラストは右に關して重要な聲明を發表した。之れは當時電報で即報したが其の内容は次の通りである。

(一) 石炭の液化及び石油の精製法に關し染料トラスト及びスタンダード石油會社の所有する種々の特許は今回新設する米獨合辦會社に一切引渡し、世界中(ドイツを除く)の特許權を同社に所有せしむる事。新設會社はスタンダード石油側が支配する事。合辦會社はスタンダード・イー・ゲー會社 (Standard I. G. Company) 〃

稱する事。

(一) 染料トラストが製造するガソリンに對してはドイツ國內市場に於ける同社の利益を擁護する事。

(二) 染料トラスト及びスタンダード石油兩社は現存の提携關係を今後も繼續して新製品及び新製法の發展並びに研究に努力し且つ其の利益を擁護する事。

實驗室より工場へ

聲明は右の通りで詳しい事は一切發表されないが右は石炭の液化が實驗室から工場に移つた事を示すもので頗る重要視される。今交渉の經過内容を少しく左に誌して見やう。

大體石炭の液化の研究をドイツで始めたのは餘程以前からの事で、世間に公表されてからでも既に四、五年になる。これはドイツの石油産出が甚だ少いので(日本よりも更に少く年産額九萬トン、即ち日本の三分の一強しかない)國家的立場及經濟的見地から染料トラストが研究を始めたものである。ドイツは石炭が豊富で、殊に安い褐炭が多量に出るので之れから石油が採れたら大變利益であるといふので熱心に實驗を重ね、既に兩三年前以前に實驗は略ほ成功したものと如くである。スタンダード石油會社の重役會副會長チーグル氏(Mr. Teagle, Standard Oil Co. of New Jersey)は二年餘り前にドイツに來り、此の新製法をアメリカで使用するに就て染料トラスト側と協定を結んだ。そして其後約二年間アメリカに於て實驗を経た結果遂に其の實際的價值をスタンダード側が承認するに至つた。其所で兩社間の將來の提携に就て前記の如き新協定が成立し、染料トラストの重役シュミツ氏(Dr. Hermann Schmitz)は先頃アメリカに赴いてスタンダード石油と新契約を取り交はして歸朝した。そして十一月下旬染料トラストの重役會議に於て右の通り簡單な聲明を公表した次第である。

工場新計畫の一端

今回の協定が何れ程の重要性があるかは局外者にハッキリ判らぬが、仄聞する所によれば染料會社は第一にドイツに於けるガソリン生産販賣上非常に有利な地位を獲得する事となるらしい。現在

ドイツのガソリン年産額は約二十五萬トンで其内約半分は染料會社が生産してゐるが將來は新製法により大いに生産を擴張する様子である。第二には新製法の特許をばスタンダード會社と提携してアメリカを首め世界各國に賣り擴め、之により巨額の利益を擧げる豫定が見られる。ドイツに於てはメルゼブルク及びロイナ(Merseburg, Leuna)に於ける染料會社の工場に於て新式製法によるガソリンの生産を始めてゐるが、アメリカに於てはスタンダード會社の手でテキサス州の Baton Rouge, Bayway, Baytown などに新工場の建設を急ぎ遠からず竣工を見る豫定であると言ふ。右のテキサス州バトンルーヂの工場の如きは一日十萬ガロン、一ケ年十萬トンの生産をする事の事であるが、之等は僅かに計畫の一端に過ぎず、將來スタンダード石油の手で大擴張を行はれるものも豫期される。

ヒトリールンク法

茲でこの新製法とは一體如何なるものかを述べねばならない。勿論製法過程は秘密に附してゐるので判らぬが、素人に理解し得る程度の概念は斯ふである。此の新製法はヒトリールンク(Hydrierung)とドイツでは稱してゐる。其の意味は「液體化」である。即ち石炭を科學作用によつて液體化し油にするといふ意味である。然し現在ヒトリールンクと呼んでゐるのは必ずしも石炭を油にするといふだけの狭い意味ではない。寧ろ其の油からガソリンを製造するに際して用ふる非常に有効な新方式を主として指すのである。即ち石炭から油を、又油からガソリンを造る此の兩過程を總稱したもので殊に後者の過程が重要なのである。アメリカでは昨年四千八百萬トンのガソリンを生産したがその内約千六百萬トンはクラック法(Krack Process)によつたものである。クラック法によれば原油から平均四十五パーセントのガソリンを得る事になつてゐる。

(勿論中には五十乃至六十パーセントも取れるものもある。)然しドイツの染料會社の新特許たる液化法によれば原油から百パーセントのガソリンを生産する事が出来る。のみならずこの製法はガソリンに限らず其他何んな種

類の油の製造にも使用出来る言ふ。

石油工業の大革命 單に石炭から石油を採るだけならば石油の豊富なアメリカが何もそんなに乗り氣になる譯がない。液化法の特許の重要な部分がガソリンの有効な製法である爲め、スタンダード石油會社が力を入れてゐるのである。スタンダード石油會社は周知の通り世界石油産額の四分の一を姉妹會社の手で生産し、友交關係の會社をも加へるに世界産額の三分の一を産する。而して其主要工業は今日ではガソリンの生産であるから前記の如き有効なる新製法を採るに至るにガソリンの生産は急激に増加する、一方原油の採取量を減らして油田の保存が可能となる。アメリカはクラック法によるガソリン生産だけにでも一ヶ年四千萬トンの原油を使つてゐるがヒトリルク法を各社が採用するに至らば原油の使用量は現在の五分の二で足る事になる。實に産業界の一大革命であり、石油工業に一大變化を齎すものと言はねばなるまい。

スタンダード石油會社はヒトリルク法による最初の工場の作業を近く始める筈で、聽がては現在のクラック法を全廢し新製法を各地の工場に及ぼして獨占的地位を占める事にならうと言はれる。然しトラスト禁止法の喧しいアメリカであるから餘り獨占的な事は爲し難いかも知れぬ。其時は先づ自社及び姉妹會社の權利を確保した後で他社に特許を賣る事にならう。イギリス系のロイヤル・ダッチ及びアングロ・ベルシヤン石油會社等も何れ或る種の協定が結ばれる事にならうと見られてゐる。

石炭生産國の利益 ガソリンの事のみ書いたが、液化法は元々石炭の液化から起つたのであるから石油に乏しく石炭の多い國に取つて都合のよい事は勿論である。ドイツは元よりの事であるが、フランス、ベルギー、チエッコ等石炭産國に取つては大助かりであらう。我が日本等も有り難い方である。之れが廣く採用される段になると石油の生産は減り、石炭の採掘が自然増加するに至るべきは疑ひない。

ドイツ染料會社に就き聞く所によるに、從來のガソリン製法よりも石炭からガソリンを造る方が安く出来る由である。殊にドイツの如く褐炭を利用し得る國は特に有利である。然し昨年以來アメリカに於ける石油大増産に伴つて石油の相場が非常に下がつたのでドイツ染料會社ではガソリンの原料として近頃では石炭の代りに原油を使つてゐる言ふ話である。勿論之れは一時的の事に違ひない。

ドイツのガソリン産額は現在二十五萬トンに過ぎぬが消費は百萬トンに上る。即ち四分の三は輸入に仰いでゐるのである。加之その輸入高も毎年十二、三萬トン宛増加して行く。然し之等は今後ドイツ染料トラストのガソリン生産擴張によつて輸入を防ぐ事にならう、今一つ注意すべきはヒトリルク法が他種の油の製造にも使用出来ることである。ドイツは機械油 (Schmieroel) を一ヶ年四、五十萬トン消費し之れも殆ど全部輸入に仰いでゐるが、之れも早晚石炭から製造する事になるであらう。斯くして遠からぬ將來に於てドイツは年々輸入する二億五千萬乃至三億マルクの礦物性油を自國で自給する事にならうと見られてゐる。斯くなればドイツ染料トラストの長年の苦心が酬ひられ、其目的を達する譯である。

イー・ゲール染料會社

(一九三二・五・一三)

會社の無配減配は近頃では何處の國でも普通で配當をする方が却つて珍らしい位である。昨年の金融恐慌の火元であつたドイツなきは元より當然の事である。アメリカを除けば世界で最も大きな製鐵所たるドイツの合同製鐵會社 (Vereinigte Stahlwerke) は昨年度に於て千九百萬マルクの大缺損を示して言ふ迄もなく無配、大人絹會

社たるアクター社や大電機會社たる A・E・G も無配、又三大銀行たるドイツ銀行、ドレスドナー銀行、コンメルツ銀行等も全部無配である。こんな時節に當つて減じたりは言へ向年七分を配當し、業績悪しからず報じてる豪華な大會社がドイツにある。これはイー・ゲー染料會社 (I. G. Farbenindustrie) である。

ドイツの花形株 スチール株がニューヨーク取引所の花形株である如くに、ベルリン取引所ではイー・ゲー染料株が花形株である。スチール會社がアメリカ最大會社の一つである如くイー・ゲー染料は資本金十億マルク (平價換算約五億圓) を擁するドイツ最大のトラストである。

ベルリン取引所では大會社や大銀行の株は皆慘澹たる値下がりを示してゐるが此の花形株イー・ゲー染料のみは略額面を今日尙維持し燦然ミ光を放つてゐる。

純益二千二百萬圓 イー・ゲー染料は周知の如く一九二四年にドイツ産業合理化の先陣を承つてドイツの諸化學工業會社が大合同をして出來たトラストである。名稱は染料會社であるがその事業内容は化學工業の殆ど凡ての部門を網羅してゐる。昨年度の營業報告及び配當率は五月十日の株主總會に附せられたが簡単にその概要を左に紹介する。

△純益と配當 昨年度の純益金四千四百萬マルクに一昨年度の純益繰越金中から四百萬マルクを加へ合計四千八百萬マルクを配當す。配當率は年七分。之れに對し一昨年度は純益八千九百萬マルク、配當率年一割二分であつた。

△資本金減額 従來は普通株九億六千萬マルク、優先株一億四千萬マルク、合計十一億マルクの資本であつたが昨年中に普通株中一億一千万マルクを株主から買戻したので現在では資本總額九億九千萬マルクになつた。その中配當を受くべき権利ある株は六億八千五百萬マルクである。

△借金皆無 同社が此の恐慌時に好配當を維持し得たのは製品賣れ行きが概して悪くなかつた爲今一つは健全な金融方針の下に銀行に對する短期借金が皆無でその利拂の要がない爲である。今の時代にこんな會社は一寸珍らしい。此の外昨年度では諸設備償却五千五百萬マルク、諸税金四千萬マルク、社債利拂千五百萬マルクを計上してゐる。

製品賣行き狀況 △染料 ヨーロッパに於ける賣行は稍減つたが遠い海外諸國への輸出増加により差引成績よし。

△寫真材料 不景氣の影響少くヨーロッパ諸國は賣れ行良好。

△窒素肥料 ドイツ國內は農村不況を反映して賣れ行が約四分の一方減少した。然し諸外國では概して賣れ行が減らない。中には却つて増加した國も若干ある。生産制限の結果在荷は減少を示してゐる。

△人造ベンチン 特許液化法は更に技術上の進歩を見、生産費も一層下がつた。然し尙經濟的に十分採算が採れる迄に行かぬ。

△人絹 生産高は増したが値下がりの爲め營業成績思はしからず。

△其他 藥品化粧品は賣れ行良好。尙輕金屬に於てはアメリカのアルミニウム・トラストを提携してニューヨークに新會社を創立し又フランスも特許契約を締結した。(イー・ゲー會社の内容や事業に就ては一九三一年五月二十六日發行之小冊子『世界に誇るドイツ化學工業』中に詳しく書いてありますから御参照を乞ふ。)

ドイツ主要株相場

	配當率%	昨年七月	本年四月
イー・ゲー染料	7	123	92
合同製鐵	0	37	15
北獨逸ロイ	6	44	15
シ-メンズ電機	9	142	96
A. E. G 電機	0	85	25
A. K. U 人絹	0	71	32
ドイツエ銀行	0	100	42

ドイツ・レーヨン界消息

(一九二九・一二・一九)

レーヨン株續落 去る九月上旬ドイツ・レーヨン工業の近況を報告(一九二九年九月二十七日發行の小冊子「ドイツ・レーヨン工業近況」を参照)して以來ベルリン取引所に於るレーヨン株の相場は益々低落を續けてゐる。其當時尙三百マルク豪を保つてゐたグランツストフ株は今日では其半分の値段に慘落し、ベンベルグ株も同様の憂き目を嘗めてゐる。十月中旬から新に上場されたアクー株 (AKU) グランツストフ社ミオランダ・エンカ社の合同持株會社) は最初二百マルク以上を呼んでゐたが、之れも今日では辛じて額面を維持してゐるに過ぎぬ有様である。

斯くレーヨン諸株が著しい不況を呈するに至つたのは此前の報告に書いた通り、國內の自由競争が益々甚だしく、且つ外國品の輸入が思ふ如くに阻止されぬ結果製品の賣り値が更に安くなり、本年度の大減配は各社共に最早や免がれぬ所となつた爲である。

大會社ですら苦しい際であるから小會社が困るのは無理がない。小さい工場は操業中止或は操業短縮をするものが續出してゐる。

關稅引上げ要望

國內市場の混亂を救ふ第一手段としてドイツの

ベルリン取引所レーヨン株相場

(單位マルク)

	グランツストフ株	ベング株	ベグ株	AKU株
1928年 高値	867	669		—
同 安値	530	415		—
1929年				
8月 5日	390	305		—
9月 5日	346	280		—
10月 15日	272	220		217
11月 15日	176	202		135
12月 18日	151	145		121

二大ヴィスコーズ糸生産者たるグランツストフ社ミイー・ゲー社(染料トラスト)との間に協定交渉進行中であつたが、之れは十一月初めにさうにか纏つた。そして第二の手段として今度は外國の生産者側ミ話しを進めてゐるらしい。然し之れには色々の困難があるから容易に成立しさうでない。旁々最近には輸入稅引上げが議會に提案されるに至つた。引上要望の理由は次の通りである。

- (一) ドイツの關稅は他の主要生産國に比べて法外に低い。故にドイツは外國のダンピングの目標市場とされ、輸入は近年著しく増加してゐる。之れに反し輸出は努力の割合に成功せぬ。それはドイツが如何程合理化を斷行して輸出に骨を折つても外國が高い關稅の障壁を廻らしてゐる爲である。主要生産國は何れも下表の如く國內市價の四割内外の保護關稅を課してゐるに反しドイツのみは僅か八分餘りに過ぎぬ。
- (二) ドイツは從來獨特の技能により細糸の生産に力を注ぎ、之れによつて輸出を維持し又輸入を防いで來たが、此頃では諸外國でも追々細糸が出来る様になつて、細糸の輸出は漸く困難となり、一方に於て細糸の輸入まで促進する虞れがある。

主要國人絹關稅

國内相場に對する割合	ス	ラ	ニ	ス	イ	イ	ア	ド
45%1								
41.4								
39.4								
39.0								
8.2								

十二月中旬ドイツ人絹同業會(Der Gesamt-Verband der Deutschen Kunstseide-Industrie) がドイツ帝國議會に提出した關稅引上げ建議案は左表の如くである。即ち從來一律であつた稅率をデニールに依り區別し、細糸には高率を課せんとするにある。但し百八十五デニール以上の太番手糸は現行稅率に据置く事。

イタリーとの交渉 イタリーが安いレーヨンを輸出して各國の市場を荒らすので、何ミか之れを妥協を遂げるべく先頃ドイツのグランツストフ社のブリュトゲン氏(Dr. Bluehgen)スイギリスのコートルツ社のラ

ンチ氏 (Dr. Lunge) 氏がイタリアへ赴いた。然し何等の結果も得られなかつた如くである。これはイタリアの最大レーヨン會社たるスニア・ヴィスコーズ會社と第二番目の大會社たるシャチヨン社との間の合同交渉が決裂した爲である。決裂の原因は技術上及財政上の提携に一致點を見出し得なかつた爲だ。傳へられてゐるが、事實は兩社の輸出政策に意見の不一致を來した結果らしい。即ちスニア社はドイツのグランツストフ社及びイギリスのコートイルズ社の資本が這入つてゐる關係上獨英兩國と輸出協定を結んでもよい立場にあるが、その競争相手たるシャチヨン社 (Societa' Soie de Chailion, S. A. Italiana) は之れに反し輸出數量の割當どころか今後益々獨英を首め其他諸國への輸出を増加せん意圖を有してゐる。之れが爲め提携交渉も終ひに不調に終り又従つてドイツ及びイギリスのレーヨン會社も折れ合ひが付かなかつたものらしい。

イタリアのスニア社及びシャチヨン兩社は從來年一割或は二割の配當をしてゐたが、輸出ダンピング政策を始めてから一九二七年及二八年度は兩社共無配當を續けてゐる。一體何が爲めに左様な政策を取つてゐるのか疑問に思はれるが、一説によるに現在獨英と提携するにしても未だ好條件を得難い事明かであるから暫らく犠牲を忍んで世界の市場を我が手に收め英、獨を十分苦しめた上で協定に應じやうといふ腹だとも言ふ。

ドイツ人絹關稅引上要求率

(百キログラムに付き)
單位ライヒスマルク

(一般稅率)	撚を掛けざるもの又は一度撚		二度撚	
	著色せざるもの	著色せるもの	著色せざるもの	著色せるもの
六十五デニール以下	400	440	460	520
六十五より百〇五迄	300	340	360	420
百〇五より百八十五迄	200	240	260	320
百八十五デニール以上	100	140	160	220

(備考、現行一般稅率はデニールに拘らず表中の最後の行の稅を課してゐる。)

對外交渉の武器? 前記の如くグランツストフ社・イー・デー社の間にドイツ國內の販賣上の協定は出來ても外國殊にイタリアに國際協定が纏らぬ間は未だ國內市場の安定は望み難い。最近には前記シャチヨン社から又も新しい安値で輸出し來りドイツ市場を脅かしてゐる。グランツストフ社及びイー・デー社は必要の場合にはイタリア系以下の安値で賣る言つてゐるが、之れではドイツ・レーヨン市場は今春の混亂を繰返す事にならうと危ぶまれてゐる。

斯ふ云ふ事情の下にあるから今回の關稅引上げ提案は一つの脅かし政策とも解せられぬではない。殊に注意すべきは今回の關稅改正提議は一般稅率に止まり、條約稅率に觸れてゐない。現在ドイツへ輸入されるレーヨンは殆ど全部條約稅率(百キログラムに付六十マルク)を適用されてゐるから、改正提議が議會を通過しても直ちに輸入を阻止する譯には行かない。然し當業者の眞意としては今日一般稅率を改正して置けば將來外國との交渉懸引上大いに有利であると見てゐる様である。(附記)一九三二年に於ても殆ど全部百キログラム六十マルクの條約稅率で依然輸入されてゐる。一般稅率引上げも實現してゐない。

尙百八十五デニール以上の太系の關稅を据置したのは將來ドイツのレーヨン會社は専ら細系の生産をやり太糸の生産は廢める積りで見られる。イタリアからの輸入は主として百五十デニール以上の太いレーヨンである。

中央購買機關設立 レーヨンを材料に用ふる著名の織物會社は十一月下旬ベルリンに會合し秘かに中央購買機關設立を決議した。之れはレーヨン界、織物界に大きなセンセーションを起してゐる。參加社はザクセン州より六社、ラインランドより四社で、其目的とする所は次の如くである。

- (一) 從來レーヨン會社から競賣入札で原料を買つてゐたが甚だ不利である事。
- (二) 故に將來各社が共同して購買機關を設け有利な條件で購買すべき事。

右の中央購買機關は Einkaufszentrale für Kunstseidengarnen 稱する筈で發起人以外の社も今後之れに續々加はるべく非常な勢力を作るものと見られてゐる。又購買機關の外に織物の共同販賣機關をも設けんとする意らしく、之れが實現すれば世界に例のない大規模の共同購買兼販賣機關が出来るだらうと言はれる。此の計畫に對するレーヨン會社側の意向は未だ明かでないが、中央購買機關が實現すれば從來の如く個々の機屋を相手に賣る場合よりも値段の點で多少不利となるかも知れぬが、然し大量販賣が可能となり又従つて製品の標準化、大量生産を促進する事にならうから結局レーヨン會社側に取つても便利であらうと見られる。一方織物の消費者側から云つても原料の仕入れ値段が安くなれば製品の賣値も下がる譯であるから矢張り利益を得る事になる。

右の中央購買機關は株式會社組織で設立されるらしいが、内容は尙不明である。設立は一月以後となる模様である。

生産者と消費者の結合

獨逸レーヨン新協定

(一九三〇・五・九)

四月下旬ドイツ・レーヨン生産業者と消費者との間に期限二十ヶ年の重要な協定が取り結ばれた。過去一年有半に亘つて混亂状態にあつたドイツ・レーヨン界もこの協定により漸く安定を見る事にならうと觀測される。

生産者側を代表するものはドイツ人絹同業會 (Der Gesamtverband der deutschen Kunstseide-Industrie) と其の中にはフエヤアイニヒテ・グランツストフ社、ベンベルグ社、イー・ゲー染料會社人絹部を首め主なドイツの生産者十七社が加はつてゐる。消費者側はドイツ天鵝絨織物組合、ドイツ・メリヤス組合

ドイツ綿織物組合、ドイツ人絹撥糸業者組合其他合計十一の組合より成り、ドイツ・レーヨン總消費額の六割以上を代表してゐる。

新協定は全文十三條より成つてゐるが、其の前文によれば協定の主要目的はドイツのみならずヨーロッパ全體のレーヨン界安定を期せんことにある。而して此の安定によりドイツの生産業者も消費者も現在以上に状態を悪化せしめず、進んでは之れを改善せんことを期してゐる。協定の主要點を掲げると左の如くである。

協定の主要點 (第一) レーヨン生産業者の輸入關稅引上要望に對して消費者側組合は之れに反對せざる事を約す。

(第二) 此の協定は關稅引上が有効に實施せられて後始めて効力を生ずる事。

(第三) 生産者側は消費者側に對して世界市場の値段 (Weltmarktpreis) を以てレーヨンを供給する事を約す。尤も品質の相違及び其他の事情 (例へば引渡條件數量の如き) を考慮に入れるべきは勿論とする。但し其他の事情中には生産費と生産利潤等の如き經濟的事情を含まざるものとする。世界市場の値段といふのは消費者の海外主要競争者がレーヨンを手に入れる相場を解釋する事。

(第四) 消費者組合は原則として其使用レーヨン總額の九十パーセントをドイツの生産業者より購入する事を約す。若し消費者の必要とする品質のレーヨンを生産者が供給し得ぬ時は生産者は消費者が之れを他より購入する事を助力する。この場合には前記の九十パーセント云々は適用しない。然しこれ以外の場合に於て萬一消費者が九十パーセントを買はぬ時は違約料 (Trennlohn) を生産者より消費者に課す。

(第五) 第三條の世界市價に關して生産者側と消費者側間に意見不一致の場合は仲裁々判所 (Schiedsgericht) の判定に任ずる事。

(第六) 本契約は二十ヶ年を以て萬一四圍の事情が非常に變化して契約履行が不可能となりたる場合は仲裁々判所は契約の解除、一時中止又は契約の一部補足を決定す。契約の一部補足を爲す場合は今日以上の數量のドイツ・レーオンを國內消費者へ供給するに主旨を没却せざるべき事。

仲裁裁判所設置

(第七) 生産者側が契約の九十パーセントを消費者側に供給する事不可能となりたる時は仲裁々判所長は本契約の無効を宣布す。無効の宣告を爲したる時は裁判長はドイツ・レーオン界を契約締結前の状態に引戻すべくあらゆる方法を講ずべき事。又無効を宣告したる時は其筋へ報告すべき事。

(第八) 本契約に明記された以外の事柄に就ては生産者も消費者も何等の責務を負はぬ事。

(第九) 仲裁々判所の判事は生産者側及消費者側より各二名を推薦し、此の外に裁判長一名を双方合意の上指名す(即ち合計五名)。萬一裁判長の指名に關して兩者間に意見一致を見ざる時はドイツ産業總聯合 (Reichsverband der Deutschen Industrie) が裁判長を指名す。裁判長の指名は契約調印後四週間に爲すべき事。

仲裁々判所の判決に對して不服ある時は更に上級仲裁々判所 (Oberschiedsgericht) を構成す。同裁判所へは生産者側及消費者側より各三名の判事を推薦し(全部別人たる事)更に裁判長一名を合議の上指名す(即ち合計七名)。裁判長指名に就き双方が不一致の際はドイツ共和國大審院が之れを指名す。

本契約調印後八週間に内に仲裁々判所規定を作成すべき事。

(第十) 生産者側及び消費者側双方共に仲裁々判所の判決に服従すべきことを誓約す。

(第十一) 第二條の關稅引上げが實施されぬ以前も雖も生産者側が本契約の實施を希望する時は仲裁々判所に申請して契約履行を始める事が出来る。

(第十二) 本契約は生産者側希望の關稅引上げが實行される豫想の下に締結するものである。一方に於て消費

者側の必要とする品質のレーオンは將來も安い稅率にて自由に輸入を許可されるものと豫期して調印す。萬一議會が後者の輸入を拒否する時は仲裁々判所長は契約締結前の稅率よりも悪からざる條件により此の種レーオンの輸入が出来る様有らゆる方法を講ずべきこと。

(第十三) 調印後生産者側及消費者側双方は契約履行の責務を負ふべき事。

新協定の意義 新協定の内容は大體前記の通りであるが、一體此の新協定は如何なる意義を有するか。

第一に生産者も消費者が小異を捨てて大同團結を爲し、團結の力によつてお互に自分の商賣を繁盛させ様とするのである。之れは産業合理化の趣旨に合致する。懸引や無益の競争に没頭してゐるのは昔の事である。ベルリナー・ターゲブラット新聞は新協定を批評して生産者も消費者の協調は頗る興味ある試みであると言つてゐる。

第二に生産過剰から起つた歐洲レーオン界の混亂を鎮めるのに効果があらうと觀測される。ドイツのレーオン輸入税は他國に比して法外に安く之れが爲ヨーロッパに於けるダンピング市場と目されてゐた程であるが、此の協定の結果ドイツの國內市場が安定すればドイツの生産者は進んでイタリーを初め他の歐洲レーオン生産國との間に輸出入協定を締結するに出来やう。

[備考] ドイツ・レーオン工業の不安定、關稅引上げ要望の理由及要望稅率等に就ては昨年十二月十九日付報告(一〇〇頁所載、ドイツ・レーオン界消息)御参照を乞ふ。

第三に注意すべき點は本協定に調印した組合に加盟してゐない消費者は『世界市價』で生産者からレーオンを賣つて貰ふ特權がない。これは甚だしい不利益であるから早晩この協定に参加せねばならぬ破目にならう。斯ふなるドイツのレーオン界に一種の強制經濟 (Zwangswirtschaft) が行はれる事になるであらう。

反對論の根據 一方に於て新協定に反對するものもある。其論據は次ぎの如くである。

(イ) 『世界市價』

さいふ事は現在では最安
安いイタリー糸のこま
になるがドイツの生産
者は今日外國より輸入
してゐる八、九百萬キ
ログラムのレーヨンを
將來果して其の値段で
生産して消費者へ引渡
す事が出来るか疑問だ
(ロ) イタリーを首
め其他の歐洲主要生産
國はドイツへの輸出が

ドイツ人絹需給

(單位キログラム)

	1929年	1931年
生産高見積	25,000,000	23,600,000
輸入高	9,350,000	12,798,700
輸出高	9,000,000	7,002,500
差引國內消費	約 25,000,000	約 29,400,000

1929年の輸出と輸入は數量に於ては上の如く略相殺の状態にあるが金額では輸入の六千五百萬マルクに對し、輸出は九千萬マルクに上る。之は輸入品は大部分太糸で輸出品は細糸が多い關係による。

レーヨン輸入額

	1929年 トン	1930年 トン	1931年 トン
輸入總額	9,353	12,968	12,799
イタリーより	3,467	5,167	5,300
オランダより	2,312	2,437	2,231
ベルギーより	1,347	1,499	1,071
スイスより	985	1,796	1,790
其他八ヶ國より			

レーヨン輸出額

	1929年 トン	1930年 トン	1931年 トン
輸出總額	8,994	7,944	7,003
アメリカへ	2,351	917	419
チエツコへ	950	1,040	946
スペインへ	681	687	399
支那へ	455	455	809
アルゼンチンへ	440	309	268
其他三十ヶ國へ			

不可能となれば其輸出を維持する爲に他の方面へ安値でダンピングをするだらう。即ち決して歐洲レーヨンの安定を齎らす結果にはならぬ。

(ハ) 且つその結果は益々安いレーヨンを外國の織物業者に供給する結果となり、ドイツ製造業者の製品輸出を困難ならしめることにならう。これはドイツの國策たる輸出増進、賠償支拂、失業者減少の大方針に戻る事になる。

兎に角右新協定は關係團體の主腦者の調印を了したが尙正式に各組合總會の承認を経る必要がある。此の協定の結果ドイツ否歐洲レーヨン界が如何なる方向に進むかは日本に取つても注意を要する所である。因みにドイツに於けるレーヨン産額、輸出、入額、消費額を示す前頁の表の如くである。

獨逸のメリヤス工業

(一九三〇・一〇・三一)

ドイツ綿業の概要に就ては十月十一日付で報告した。(之は一九三〇年十一月十三日『未だ合理化せざる獨逸の綿業』を題する小冊子として發行)。茲には綿業と關係の深いメリヤス工業に關して少しく紹介しやうと思ふ。

産額十四億マルク

ドイツのメリヤス工業は織物業中でも景氣のよい方である。少し話が古いが一九〇七年から一九二五年まで約二十年間に一般紡績織物工業の従業員數は僅か十七パーセント増加したに過ぎぬが、メリヤス工業は其間に六十五パーセント方激増してゐる。ドイツ統計局最近の發表によればメリヤス工業の従業員數は一九二八年中の平均に於て女十一萬八千五百人、男五萬人を示してゐる。

一九二八年中のメリヤス生産高は約十四億マルクに上つてゐる。其中最も重要なのは靴下で全産額の半分近くを占めてゐる。次ぎが肌着類で之れが約四分の一を占める。残りは手袋其他である。

メリヤス生産高 (一九二八年中)

メリヤス織物	靴	肌着	手袋	其他	合計
千ダース	三九、六八一	一四、四六二	九、二〇六	—	—
價格	八〇、五〇〇	五九四、五〇〇	三一〇、四〇〇	一一八、〇〇〇	二六二、二〇〇
百分率	—	—	—	—	一〇〇・〇
合計	—	—	—	—	一、三六五、六〇〇

原料使用高

メリヤス工業が消費する諸原料は一九二八年中に於て六億一千百萬マルクに上つたが、其中五億五千萬マルクは原料糸である。原料糸の中で最も多く使用されるのは云ふ迄もなく綿糸で全体の六割一分を占めてゐる。次ぎが毛糸の二割一分五厘及びレーヨンの一割である。綿糸を更に細別するに單糸が七十七パーセント、撚糸が二十三パーセントを占める。メリヤス工業が使ふレーヨンの數量は八百二十萬キログラムに上つてゐる。ドイツのレーヨン生産高は同年に於て約二千萬キロであつたから、生産高の四割以上がメリヤス工業で消費されてゐるのである。これに反し生糸は全部で僅か十五萬キログラム使つたに過ぎない。即ち殆ど比較にならぬ小量である。

原料使用高 (一九二八年中)

種類	數量 (キログラム)	百分率 (%)
綿糸	五、〇九二	六一・〇
毛糸	一八、〇〇〇	二一・五
レーヨン	八、一六三	九・七
綿糸(毛糸と交織)	四、六五八	五・六
綿糸(其他と交織)	四八三	〇・六
レーヨン交織	八一二	〇・六
生糸	一五七	一・六
其他糸	三六六	—
合計	八三、七三一	一〇〇・〇

メリヤス中心地

ドイツのメリヤス工業中心地はザクセン州のケムニツ (Chemnitz) 及び其附近である。同地方はドイツ全體の六割三分を生産する。其他 Württemberg 及び Thüringen の兩州でも若干生産する。メリヤス製造に使つてゐる主なる機械數は下記の通りである。

機械種類	數量
△靴下製造機	—
Fonturen an regulären Wirkmaschinen	二四五、二〇三
Köpfe an Flachstrickmaschinen	二五、七四四
Köpfe an Strumpfgrundstühlen	一八、五八七
△肌著類製造機	—
Fonturen an regulären Wirkmaschinen	一一、一〇六
Köpfe an Rundstrickmaschinen	四、九三九
Systeme bzw. Mailleusen an Rundstühlen	一一四、五七五
Köpfe an Flachstrickmaschinen	一、四二八

輸出三億マルク

ドイツのメリヤス工業は他の繊維工業と異り、輸出市場を重要な得意としてゐる。即ち一九二八年中に就て見るに約三億マルク (邦貨一億五千萬圓) を輸出してゐる。これは總賣上高の二割以上に當る。靴下は總産額の二割四分を、又手袋は同五割七分を外國へ輸出してゐる。肌著類は輸出の割合が少くて一割三分を示してゐる。靴下の主な需要先はイギリス、イタリア、オースタリー、オランダである。此の四ヶ國が輸出總額の約半分を買ふ。大部分は綿靴下である。手袋の輸出先は三分の一以上はアメリカである。これは綿及び毛の手袋である。絹手袋は濠洲及びイギリスへ行く。

メリヤス輸出高 (一九二八年)

種類	數量 (千ダース)	價格 (千マルク)
靴下	八、九〇八	一五七、〇〇〇
手袋	五、〇六一	八三、八〇〇
其他	—	九三、二〇〇
合計	—	三三四、〇〇〇

(備考) 本報告の數字は凡てドイツ統計局發行 Wirtschaft und Statistik 一九三〇年十月下旬號による。

電力會社の合同

(一九三一・一・三)

一九三二年一月一日にドイツ二大電力會社の合同が行はれた。日本でも電力統制問題、東京電燈問題が喧しいやうだから、ドイツ電力會社の合同を研究して見るのも興味があらう。

RWEとVEW ドイツには現在有力な電力會社が十ばかりある。但しこの十ばかりの電力會社は各其繩張りが大體定まつてゐる。即ち地理的に電力供給區域が協定されてゐて、同一地域に對して多數の會社が電力賣り込みの競争をする様な愚は行はない。此の大電力會社中でも一番大きいのはRWEと普通と呼ばれるライン・ウエストフアレン電力會社(Rheinisch-Westfälisches Elektrizitäts-Werk A.G.)である。同社の資本金は二億四千三百萬マルク(邦貨約一億二千五百五十萬圓)で東京電燈會社の資本金の四分の一に過ぎぬが、其發電力は火力八十萬、水力二十萬、合計百萬キロワット以上で東電の二倍に當る。昨年度の發電量(子會社の分を除き)は二十八億キロワット時に上り、ドイツ公共用發電總量の六分の一強を占めてゐる。三十八萬ヴォルト線ミ云ふヨーロッパ唯一の超特高壓送電線を持つてゐるのも同社である。同社の電力供給區域はドイツ西部のラインラントを主としてウエストフアレンの一部に及んでゐる。

同社の供給區域の間に挾つてウエストフアレン工業地帯の重要部分を繩張りしてゐるのがVEWと略稱されるウエストフアレン合同電力會社(Vereinigte Elektrizitäts Werke Westfalen G. n. b. H.)である。此のVEWとRWEとの二大電力會社が今回合同を發表したのである。VEWの資本金は現在六千萬マルク(邦貨約

三千萬圓)發電力二十二萬キロ、一九二九年の發電量は五億キロワット時に上つてゐる。兩社の詳しい數字は左表を参照され度い。

合同の形式と條件 兩社の合同の形式はベトリープスゲマインシャフト(Betriebsgemeinschaft)といふ事になつてゐる。即ち『經營の共同』である。さう云ふ事かといふは、

會社の名稱や重役は其儘存續して置くが、即ち法律上では引續き別々の會社として存續するが、實際の經營は共同してやるのである。『内縁』を結んだ譯になる。『友愛結婚』式の企業合同法にインテレッツセンゲマインシャフト(Intessengemeinschaft)即ち『利害共同契約』がある。昨年ドイツ二大汽船會社ハンブルク・アメリカ北ドイツロイドが合同したのは此の手であつた。今回の電力會社の合同はこれよりも一歩間柄が深くなつて發電所、工場、鑛山等双方の所有物は悉く共同に使用し、共同に經營するのである。只法律上夫婦にならぬだけで内容は一世帯と變りがない。インテレッツセンゲマインシャフトの方は五十年か八十年か契約期限があるが、この方は期限なきといふ水臭いものはない。何れ晴れて夫婦になる間柄である。且つ『利害共同契約』の方は所有物は別々の所有、別々の經營に任せせるが、此の方は凡て共同である。本當の合同と實質上差がない。

それでは具體的な合同條件はさ言ふと大要次の如くである。
一、兩社電力供給區域を合併する事。

兩電力會社の内容

	RWE社		VEW社	
	1926—27年	1929—30年	1926年	1929年
電力販賣量(百萬キロワット時)	1,246	2,782	275	527
發電力(千キロワット)	500	1,060	141	224
資本金(百萬マルク)	140	243	42	60
社債(百萬マルク)	105	264	31	150

一、兩社發電所及鑛山の整理をする事。
一、兩社の株式配當率を一定の比例に定める事。

本年一月より向ふ五年間の配當は RWE 對 VEW の比率を六十五對三十五とし一九三六年以降は六十對四十とする。而して同年以降に於て VEW の株主は其所有普通株を RWE の株式と交換する事が出来る。其比率は VEW の普通株六千萬マルクに對し RWE 株四千萬マルクとす。

合同の理由 兩社の配當率を見るに一九二九年度に於て RWE は年一割 VEW は年八割であつた。一九三〇年度は RWE は矢張り一割を維持出来る模様であるが、片一方の VEW は重役の不正行爲、財政難等の爲め配當が困難だとの評判である。然し本年度からは今回の合同契約の結果一定の配當を保證される譯である。即ち若し RWE が矢張り年一割の配當を行へば、VEW 社は年五割四厘の配當を保證される勘定である。

元來兩社はドイツ工業の心臓地帯と稱せられるライン及びウエストフアレンを其供給地域とし地の利を占めてゐる。RWE は一八九八年創立で歴史も古いが、片方の VEW は一九二五年一月に左の電力會社が合同して出來た新會社である。

- 1) Städtisches Elektrizitätswerk Dortmund
- 2) Westfälisches Verbands-Elektrizitäts-werk Westfalen A.G. (Dortmund)
- 3) Elektrizitätswerke Westfalen A-G. (Bochum)

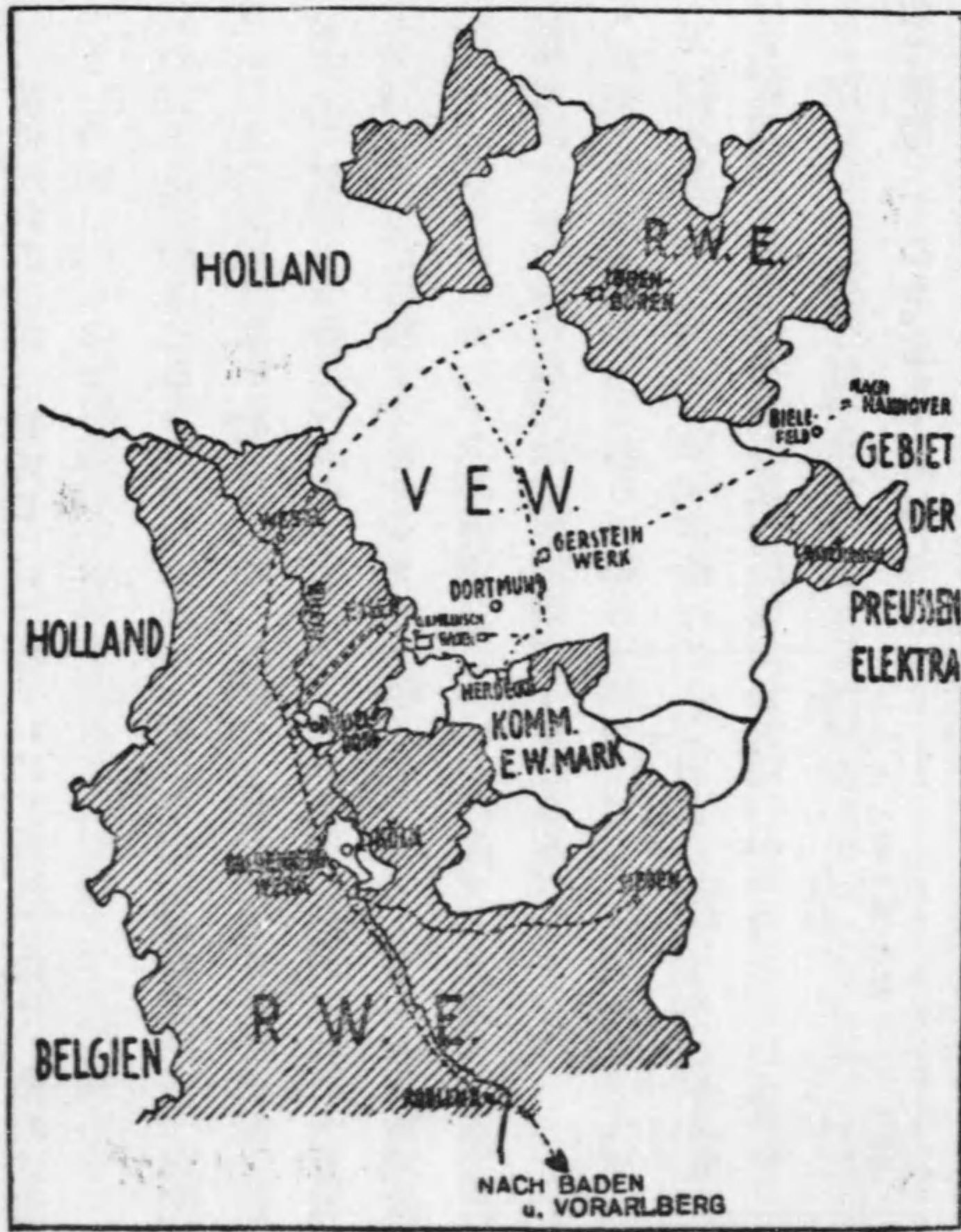
RWE と VEW の供給區域は協定は出來てゐるもの、次頁の圖の如く頗る入り組んで居り、地勢的に統一されてゐないので從來から兎角兩社間に區域問題でわだかまりがあり、競争的態度に出た事もあつた。これを除き供給區域を合併する事が今回の合同の一大理由である。VEW の供給區域はルール地方の重要工業地を含んでゐる。

るから RWE は多年の同地方進出抱負を實現した事になる。

一方 VEW は資本の大部分が都市 (Dortmund, Bochum, Münster 等) から出て居る會社であるが財政状態思はしからず、資本に不相應な多額の借金を背負つてゐる。先頃更にアメリカ一千万ドルの借金交渉をしたがモノにならず、又重役二人が會社の金で鑛山株の思惑をやり何百萬マルクかの穴をあけたと傳へられる。此財政難も RWE の合同促進の理由の一つである。

合同と合理化 RWE は歐羅巴第一を誇る褐炭大發電所ゴールデンベルク (Goldenberg) をケルン市の近くに持つてゐる。其發電力は五十萬キロワットで東京電燈所有の百ヶ所の發電所を合計したものと略等しい。其の外にも大規模の發電所を三つ所有してゐる。昨年新設したエッセン市附近の Herdecke のポンプ貯水發電所 (Pumpspeicher-werk) 十四萬キロの如きも其の一つである

一方 VEW の最大發電所は Wuppertal 市に在る火力發電所十萬キロ、で其外九



萬三千キロ、四萬一千キロ、二萬四千キロ等の發電所があるが、RWEに比較すれば小規模であり、燃料は主として石炭である。

合同の結果VEW社の發電所中能率の低いものは整理されるものと見られる。従つて同社所有炭礦も一部閉鎖されるかも知れない。斯くして合同の結果は益々大發電所集中主義に進むと同時に、供給區域合併に連れて送電上の合理化も行はれる事は明かである。RWE社は其子會社の分をも合計するに昨年度の發電量は三十五億キロワット時に上つた。これにVEWの六億を加へるに實に四十一億キロワット時となり、ドイツ公共用發電總量の四分の一を占める勘定となる。RWE社は今回の合同に伴れて其の資本金を八千七百萬マルク方増加して三億三千萬マルク(一億六千五百萬圓)とする事に決定、次回の株主總會に附議する筈である。

VEWの借金はドイツ最大銀行ドイチェ・バンクから多額に出てるが同銀行は今回の合同を歓迎してゐる様子である。何故ならば有力なRWEが結局肩替りをする事になるからである。因みにRWE社は都市出資四割五分民間出資五割五分の公私混營の電力會社である。同社の株式相場は一昨年の最高値に比較すれば現在は半値であるが尙額面は維持してゐる。即ち下表如し。

一九二九年最高	二六六
同 最低	一七二半
一九三〇年最高	一九八半
同 最低	一二七
一九三一年一月三日	一三〇¼

ジーメンスとAEG社 電機大合同實現か

(一九三二・一〇・一四)

最近ドイツに於て、又復企業の大合同が行はれさうな模様である。

一九二四年産業合理化運動が起つて以來、ドイツでは相次いで重要産業が集中合同を實行した。即ち合同製鐵會社(資本金八億マルク)、イー・ゲー染料會社(資本金十一億マルク)、ドイチェ銀行(同二億八千五百萬マルク)、漢米ロイド汽船合同(兩社合計三億二千萬マルク)を首あ其他加里、リノリウム、人絹、セメント等の諸工業に於て大合同が行はれた事は世間周知の通りである。今又ドイツの重要工業たる電機製造業に於て集中合同の計畫が傳へられる。それは日本にも良く名の知られてゐるジーメンス電機會社とA・E・G電機會社の兩社である。

ジーメンス企業團　ジーメンス會社は八十年以上の古い歴史を有する電氣機械製造會社であるが、今日では二億三千萬マルクの資本と十一萬人の従業員を擁してドイツに於ける二大電機會社の一つを成してゐる。ベルリンの西郊ジーメンス町(Siemensstadt)に工場を集中し、ベルリン市の中央部には専用の高速度電化列車を以て聯絡して従業員の通勤の便を計つてゐる。工場は極度に合理化され、高能率を擧げてゐる事は有名なものである。同工場合理化の模様には以前に活動フィルムを日本を送つて讀者に御紹介した事がある。

ジーメンスは表面上二つの會社に別れてゐる。一つはジーメンス・シユケルト會社(Siemens-Schuckertwerke A.G.)と云つて資本金一億二千萬マルク。この會社は電燈、電車、電力等所謂強電流に關する機械を製造し、一ケ年に約五億マルクの賣り上げがある。他の一つはジーメンス・ハルスケ會社(Siemens & Halske A-G)と稱して資本金一億一千萬マルク、電信、電話、ラヂオ等所謂弱電流に關する諸種の機械を製造してゐる。此の會社の賣上げ高は一ケ年約三億マルクに上る。此の兩社を合してジーメンス・コンツェルン(Siemens-Konzern)と呼んでゐるが、此のコンツェルンはドイツ國內及び外國に於ける電機關係の會社十社以上に投資して其の勢力を伸ばしてゐる。

A E G 電機會社

ジーマンズミ對立する電機會社はアルゲマイネ電機會社、略して一般にアー・エー・ゲー社(AEG)ミ呼んでゐる。これも五十年に近い歴史を有し、現在では資本金二億一千万マルクミ従業員八萬人を持つ大トラストで、一ヶ年五億マルク以上の製造品賣り上げを示して居るジーマンズミ同様に此のトラストもドイツ國內並びに外國の電機會社約二十社に投資し自己の勢力を張つてゐる。本社は矢張りベルリンに在るが工場はベルリンの外ドイツの七都市に分散してゐる。

AEG社の資本金中約三割はアメリカ人の手に在るミ傳へられるが、同社は資本の外に約一億四千万マルクの社債を持つて居り、其大部分はアメリカよりの借金である。一方ジーマンズミも昨年二月アメリカより償還期限一千年間ミいふ途方もない長期の借金をした。其金額は一億三千万マルク。

本年二月に發表した兩社の昨年度(一九三〇年九月末日を以て終る)の業績大要を掲げるミ下表の如くである。

二大電機會社業績

(1930年、單位千マルク)

	AEG社	ジーマンズ ・ハルスケ	ジーマンズ ・シユケルト
資本金	210,000	111,500	120,000
社債	149,134	127,720	68,920
積立	61,400	30,000	15,000
賣上	520,000	300,000	500,000
納税	12,336	9,411	16,887
純益	13,586	13,622	8,596
配當	年7分	年1割4分	年7分半

電機類輸出はドイツが世界一ドイツ電機工業中央組合(Zentralverband der Deutschen Elektro-technischen Industrie E. V.)の發表によれば、世界各國の電氣機械類輸出高は昨年度に於て約二十二億マルクに達したが、其の中約七割、即ち十五億マルクはドイツ、アメリカ、イギリスの三國で占めて居る。中でもドイツは世界第一位で二割九分、アメリカが二割五分、イギリスが一割七分ミいふ順序である。

元來電氣工業の發達せねばならぬ筈の日本は世界輸出總額中、僅か一分二厘を示してゐるに過ぎない。それ所

か日本は輸入額の方が輸出の二倍に上つてゐる。

アメリカに於ける電氣機械類製造高は一ヶ年約九十億マルクミ見積られてゐるが、大部分は國內の需要に向けられ、輸出は僅か五億マルク餘に過ぎない。之れに對しドイツの生産高は約二十五億マルクであるが、其の中六億マルク即ち約二割五分が輸出される。

アメリカの大きな電機會社はゼネラル・エレクトリック、ウエスチングハウス、ウエスタン・エレクトリックの三社であるが、此の三社合計にて約二十二萬人の従業員を有し四十億マルクの生産をしてゐる。即ちアメリカ全體の四割五分を占めてゐる。これに對しドイツの前記二大會社はドイツ全體の生産額の約半分を押えてゐる。且つドイツの電機類輸出高が一九二五年以來逐年増加しつゝあるのは大いに注目すべきである。

合同か利害契約か

話を元へ戻してジーマンズミAEG

Gミは如何なる様式で合同せんミするのであらうか。これは秘密にされてゐるから知るを得ない、兩社の間には既に以前から科學的技術的の方面——殊に研究機關に就ては提携が出来て居り、常に協同して仕事をして居る。今度は營業上に就ても提携せんミする企圖らしく、仕事の分野を區劃し、且つ又販賣競争を止める計畫ミ見られる。其の結果工場の整理や支店代理店の縮少が可能であらう。

世界電氣機械類輸出高

	ドイツ	アメリカ	イギリス	日本	世界
1913年 (百萬マルク)	331	112	157	2	714
1925	367	355	357	11	1,420
1927	441	418	384	15	1,656
1929	639	607	402	24	2,295
1930	630	535	376	26	2,174
1913年 (パーセント)	46.4	15.7	22.0	0.2	100
1925	25.8	24.9	25.1	0.8	100
1927	26.6	25.2	23.2	0.9	100
1929	27.8	26.5	17.6	1.1	100
1930	29.0	24.6	17.3	1.2	100

〔備考〕 ドイツ電機工業中央組合の調査による「世界」ミせるは主要十六ヶ國の輸出高合計で世界總額の九割五分以上を占める。

財界では兩社が完全な合同をするか或はインテレセンゲマインシャフト(利害共同契約)を結ぶ事にならうと噂されてゐる。ジーメンズの社長カール・ジーメンズ氏(Karl Friedrich von Siemens)は目下アメリカへ旅行してゐる。表面上の用向きはコロンビヤ大學其他で講演する爲だに稱してゐるが、實際はアー・イー・ゲー社及びジーメンズ社兩方に巨額の投資をしてゐるアメリカのゼネラル・エレクトロニクス社の諒解を求めらるゝ爲めだに傳へられてゐる。

ベルリン取引所は目下休場してゐるが、市中取引に於てはジーメンズ株は右記の噂により著しい昇騰を示してゐる。又AEG社の株も氣配良好に傳へられる。

ベルリン取引所休會前の右兩社の株式相場は右表の如くであつた。

電機株相場

額(ルクに付) 百マ	最高	最低	ジーメンズ	
			A	E
1930年	428	143	182	90
同七月十一日	190	137	117	83
九月三日	103	101	59	43
九月十八日	101			
1932年				
七月十三日	118		24	

カルテルと物價

ドイツ産業總聯合會議

(一九二九・八・二九)

九月二十日及び二十一日の兩日ライン河畔のデュッセルドルフ市に於てドイツ産業總聯合の大會が開かれる。産業の參謀本部 ドイツ産業總聯合は原名をライヒスフェアバント・デヤ・ドイチエン・インドストリ

(Reichsverband der Deutschen Industrie) と言つてドイツ國內に於ける工業團體全部を網羅した全國的大結合でドイツ産業の參謀本部とも稱すべきものである。勿論重役連の顔つなぎ乃至は親睦會といふ如き程度の簡単な會でもなければ又政策的な團體でもない。ドイツは組織の國であつて、陸軍や海軍と同様に産業も亦參謀本部に比すべき中樞機關を所有してゐる。この機關が常に産業の進むべき方向を研究指示し、加盟會員の協力に相俟つてドイツ産業發展に盡してゐる。斯様に重要な團體の大會であるから、其の會議の内容、決議等はドイツ國內は勿論諸外國に於ても大いに注意する所である。

此のドイツ産業總聯合は一九一九年に組織されたもので本年は十周年に相當する。古い事を云へば今から五十年も昔から此の種の總聯合は幾度か計畫されたのであるが、工業家の利害が一致せぬため容易に實現しなかつた。所が歐洲大戰中産業の總動員が行はれ、その時の經驗によつてドイツの工業家は多少の利害衝突はあつてもお互に協同提携する事が遙かに利益であるこゝを實際に教へられて茲に有力なる大結合が成立したのである。

その内容 此の産業總聯合に加はつてゐるのは各種の工業組合及び工業團體を主とし、個人經營の工業家乃至産業に密接の關係ある者をも含んでゐる。産業別で言へば炭鑛業、製鐵業の如き基礎産業は固より化學工業、機械工業、紡織、製紙、製材、食料品、建築、電氣、瓦斯、水道、運輸業其他有ゆる工業を網羅し商工會議所の如きも之れに参加してゐる。

斯く凡ての工業が一つ傘下に集り統制機關を持つてゐる事はドイツ産業の非常な強味であり力である。工業家は此の組織のため互に小異を捨て、大同に就き、産業全體の進歩發展に盡してゐる。體軀全體の發育を圖る事は結局手や足や指の發達を意味するからである。ドイツが巨額の賠償金を支拂ひ乍らも著々として産業の回復發展を見つゝある一大原因は此の團結の力にあると言ふ事が出來やう。

その仕事 此の總聯合に於て行つてゐる仕事は廣汎に亘つてゐる。例へば外國との條約問題、通商問題、關稅問題、賠償問題、稅制問題の如き政治關係の事も研究調査するし、カルテル問題、産業合理化、能率増進といふ如き産業組織に關する事項、或は又法規、貨幣制度、物價問題の如き一般的事項から、労働組合労働法規等傭人との關係事項、其他専門的の事柄に就ても色々調査してゐる。實に戦後に於けるドイツの産業計畫はこの總聯合の手で樹てられてゐる。故に政府に於て國策を決めるに當つても敢えて遠か作りの審議會などに諮問する必要もなく、産業總聯合の意見を徴すれば速かにして而も確實なる助言が得られる譯である。

本年の大會 ドイツ産業總聯合の前回の大會は一九二七年にフランクフルト・アム・マインに於て開かれた。今回は恰かも賠償問題がヘイグに於て最後の解決を見、其の決定條件は非常に重大な影響をドイツ産業界並びに經濟界全體に齎らさんとしてゐる時である故に、來るべき大會は一倍の重要性を帯びて居る。



Prof. Dr. Carl
Duisberg.

デュイスベルク博士



Der Reichsverband der Deutschen Industrie.
(Verwaltungsgebäude in der Königin-Augstr. 28, Berlin W10)

ドイツ産業總聯合のベルリン本部*

大會のプログラムは先づ總聯合の總裁にしてドイツ染料トラストの取締役會長たるデュイスベルク博士(Prof. Dr. Carl Duisberg)の開會の辭『十年間のドイツ産業總聯合』を以て始まり、次いで左の諸名士の演説がある。

『國際經濟政策に關する諸問題』

總聯合常務理事 カツスル (Kaati)

『國民の經濟及文化生活に於ける産業の任務』

ドイツ染料トラス取締役 カール (Dr. Kalle)

『ドイツの必要とする國際資本市場』

ドイツ銀行取締役 ケール (Kehl)

『企業家とドイツ國內資本』

ヴェーバー博士 (Dr. August Weber)

右の演説に次いで諸種の報告があり、續いて色々の事項が討議される事になつてゐる。就中國際協定の結果生ずべき經濟關係の問題に就ては十分に研究される筈でこの國際關係に連れて今後ドイツの産業は如何に進むべきか、經濟組織は如何にすべきか等の問題が議題に上るものも期待されてゐる。討議された事項は何れ後日改めて慎重に委員會の手で調査した上今秋末頃今一回總聯合會員の特別會議を開いて決議する事になつてゐる。因にドイツ産業總聯合の本部はベルリン Berlin W10, Koenigin-Augustastr. 28 にある。

ドイツの指導者

(一九二九・九・二四)

デュイスベルク博士 ドイツ語でデュッ Prof. Dr. C. Duisberg, Vorsitzender Reichsverbandes der Deutschen Industrie 著く。

この人は本年の四月であつたか日本へ来たことがある、日獨協會々長佐多博士は此の人を大阪の實業家に引合

せたい考へを持つてゐられたやうであるが、其の機會がなかつたのは残念であつた。

同博士は確かバイエル會社の技師長であつたと思ふが、今日では彼の染料トラストの取締役會長であり、又ドイツ産業總聯合の總裁でもある。ドイツ産業界の大指導者である。

ドーズ案に依りドイツの工業會社は賠償支拂ひのために毎年三億マークを舊聯合國に取られてゐたのであるが、デュイスベルク博士は豫てから之を免除せしめる事に努力してゐた。今回のヤング案ではそれを全然出さないでよい事になつてゐる。ドイツの産業界は大助りである。

いかにもドイツ人らしい顔つきの人である。斯様ながつしりした人が居つてこそ産業界の立て直しも出来るのであらう。

産業總聯合會議で博士の演説 デュイスベルク博士を總裁に戴くドイツ産業總聯合會議の第十回大會は、豫定の如く廿日ライン河畔のデュッセルドルフ市に於て開催されたが、その開會劈頭デュイスベルク博士は『十年間のドイツ産業總聯合』を題目する演説を試み次の重要な諸點に就て力説する所があつた。

世界の經濟中心は太平洋へ移る 「余は最近の世界一周旅行に於て海外諸國の産業状態を審さに視察考究したが、この結果世界の經濟的中心が徐々に、しかも確實に大西洋から太平洋に移動しつゝある事實を看取した。右は取りも直さずアメリカの經濟力伸長及びアメリカの太平洋に於ける事業範圍擴張並に日本の急速なる經濟的進歩の結果である。

アメリカ人の精力に學べ 「更に余はアジア方面に活動せるアメリカ人がその目的に對し非常な先見の明を有する事實に驚嘆せざるを得ない。今やアメリカは太平洋に於ける第一の強國となり遙かに英日の兩國をしづぐ状態にある。右は單に世界大戰の結果によるだけでなく、同時にアメリカ人の能力とその精力の然らしむ

るところであるに信する。これ等の點がドイツの大いに學ばねばならぬところである。

極東諸國はドイツの好市場 「今後ドイツが海外に於て通商上の活躍を試みんとするに際し特に着目すべき地域は支那及び蘭領インドであると思ふ。今後ドイツの商業家及び技術家はこれ等極東の情勢を十分に研究し、ドイツ商品を安價に提供する事によつて極東市場の販路擴張に努むべきであるに信する。」

〔附記〕デュイスベルク博士は一九三一年秋ドイツ産業總聯合の會長を引退した。後任はクルツア會社社長グスタフ・クルツア氏 (Gustav Krupp) である。

ドイツの 物價引下運動

(一九三〇・六・二二)

ドイツの經濟界で最近喧しいのは失業問題と物價引下問題である。失業者の増加した一原因は生産と輸出の減退である。各工業共に本年は昨年と較べて生産が減つてゐる。輸出入貿易は輸入が極度に不振な爲に出超を示してゐるが輸出其物は却て昨年より減つてゐる。斯く生産や輸出が減つたのは世界的不景氣にもよるが、之れを挽回するには價格を更に引下けて消費を促進する事が必要である。國內消費と輸出が増せば失業も減る。斯ふ言ふ譯で目下ドイツでは盛んに物價引下運動が行はれてゐる。

ドイツの生活費指數が本年初め以來漸落しつつあるのは毎月打電してゐる通りである。所がこれは主として生活費の半ばを占める食料品下落の結果で他の一般物價は其れ程に著しく下がらない。これは昨年の今頃と現在の卸賣物價指數を比較すれば判る。即ち左の如くである。

卸賣物價指數

農産物	六月中旬	一〇九・六	六月中旬	一一〇九・六
輸入食料品	一一二四・四	一一一五・九	一一二四・四	一一一五・九
工業原料品	一一三三・四	一一二二・七	一一三三・四	一一二二・七
工業製品	一一三一・二	一一一五・二	一一三一・二	一一一五・二
工業製品平均	一一五七・六	一一一五・二	一一五七・六	一一一五・二
總計平均	一一三四・九	一一二五・一	一一三四・九	一一二五・一

上表の通り農産物の甚だしく下落したのに比較し工業製品は割合に下がらない。斯様に農産物のみ下がっては總人口の四分の一を占める農村の疲弊を來し、購買力を減退せしむるまいふので政府は關稅保護による農産物價格維持を試みてゐる。一方工業家は労働者多話し合つて生産費の引下げを實行し又は計畫してゐる。

ドイツの労働者の賃金は過去五年間に鰻上りに昇騰した。その率は生活費の騰貴率よりも遙かに大きい。これは産業合理化の御蔭である。扱て今日産業が不景氣になつて困つて居れば労働者も幾分は其の苦痛を分擔しなればなるまい。勿論労働者は賃金引下げを喜ばない。然し無益なストライキ等をやつて双方共倒れこなる様な馬鹿な事を減多にせぬ所が賢い。

其最近の例である。ドイツの製鐵界は著しい不況で生産高は昨年に較べ既に百萬噸も減つてゐる。製鐵業者は労働組合と協議して賃金一割引下げを計畫したが、組合側が承知せぬので問題を労働省に持つて行き仲裁々判に附した。その結果六月中旬に至つて賃金七分五厘引下げの判決命令が下つた。之に伴つてドイツ鋼塊カルテルは直ちに製品の値下げを發表した。即ち型物、棒物等は一トンに付四マルク方引下げ又鋼線厚板等は五マルク方引下げた。實施期日

鋼鐵賣値引下

鋼型	六月一日より	賣價段	引渡地
鋼同	一三四	マルク	Oberhausen
鋼同	一三八	マルク	Neunkirchen
鋼同	一三二	マルク	Oberhausen
鋼同	一三七	マルク	Neunkirchen
鋼同	一三一	マルク	Neunkirchen
鋼同	一五三	マルク	Neunkirchen
鋼同	一六〇	マルク	Neunkirchen
鋼同	一五九	マルク	Neunkirchen
鋼同	一五五	マルク	Neunkirchen
鋼同	一六四	マルク	Neunkirchen
鋼同	一六〇	マルク	Neunkirchen
鋼同	一七二	マルク	Neunkirchen
鋼同	一三八	マルク	Neunkirchen
鋼同	一四二	マルク	Neunkirchen

は六月一日からで詳しい値段は前頁下段の表の通りである。

尙、鋼管カルテル、簿板カルテル、銑鐵カルテル等も夫れ々々近く値下げする筈。

右鐵鋼の値下げを魁けまして他の一般工業製品も値段の引下げが行はれるものも觀測される。値下げ後の鐵市場は未だ目立つて需要の増加を見るに至らぬが追々其効果が顯はれ来るものも期待されてゐる。

斯かる際であるから國民の負擔を軽減して産業に餘力を與へ、國民の購買力増進に努める事が必要である。所がドイツ大藏大臣モルデンハウエル氏は増税を計畫した。これは昨年度の豫算不足並びに失業者増加による支出増加の爲に己むを得ぬ事情は言へ、國民は之れを承知しない。議會では政府黨すら反對した。その結果大藏大臣は六月九日遂に辭職した。後繼者は非常な緊縮豫算を作らねばなるまい。モルデンハウエル氏が反對を受けた増税案といふのは大體次の如きものである。

- (一) 獨身税(男女共)
- (二) 失業保險掛金増率
- (三) 月給取の所得税増加

物價引下げとカルテル新取締令

(一九三〇・九・一三)

物價下落は世界の趨勢である。ドイツでも本年初めから最近迄に七ポイント方又昨年今の頃と較べると三十三ポイント方下がつてゐる。然し下がつたのは主として農産物及び工業原料品、半製品なまであつて、工業全製品は

vom Zweiten November 1923 云々恐ろしく長いものであるが一般には Kartell-verordnung (KVO)と呼ばれてゐる。

取締令の對象 カルテル取締令は全文二十三條から成り立つて居る。アメリカのトラスト禁止法は頭からトラストの組織を禁止してゐるのであるが、ドイツのカルテル取締令は單はカルテルの弊害を矯正せんとするだけで、カルテル其の物を禁じやうといふのではない。

第一條では先づ如何なるものが本令の拘束を受けるかを規定してゐる。それに依るに同業者の過半数が生産制限、價格維持又は販賣統制の協定をすれば名稱や方法の如何を問はず、總て本令の拘束を受けるのである。但し石炭カルテルの如き強制カルテルは本令の拘束を受けない。強制カルテルとは政府が強制的に組織せしめるカルテルである。

眼目は第四條 カルテル取締令の眼目は恐らく第四條であらう。國民經濟上の理由なくしてカルテルが濫りに生産制限を行ひ或は價格の吊り上げをはかり、公益を害し、業界全體に不利益を齎すが如き決議をした場合には經濟大臣の請求に依りカルテル裁判所はその決議の實行を禁じ或はカルテル自體を解散せしめる事が出来るのである。これが第四條である。

今一つ第十條にも前記の第四條と同じ様なことが規定してある。この第十條はカルテル以外の獨占的企業をも拘束せんとするもので、トラスト、利害協同契約、其他單一の會社でもそれが獨占的地位を占めてゐるものとカルテル同様の制裁を受けるのである。

適用の實例 ところで、實際上、ドイツのカルテルやトラストは屢々そいふ取締を受けたかといふに、カルテル裁判所に提出された數千の事件の内、そいふ例は極めて少い模様で、大部分は第八條に規定してある

加盟者のカルテル脱退に關する事件なのである。

次の第九條は寧ろカルテルを保護獎勵してゐるものと見られるのである。即ちカルテルのメンバー未加入者、其他の第三者にカルテルの力——經濟的壓力——を加へることを公認してゐるのである。勿論それはカルテル裁判所の許可を得た上でなければ實行してはならないのである。例へばカルテルに加入しない會社を加入させるために、カルテルがその未加入者に對して『經濟的壓力』を加へるこいふやうな場合に、先づ以て其の方法をカルテル裁判所に示し、その許可を受けるのである。その方法の如きも未加入者を一擧に叩きつぶしてしまふやうな亂暴なものでない限り、裁判所はこれを合法的なりと認めて居るらしい。

個人の自由や權利は飽くまで尊重すべきものだが、國民經濟の利益のためにはそれさへ或程度まで犠牲にしてもよい——こいふのがこの第九條の精神である。

カルテル裁判所 ところで『カルテル裁判所』こいふのは何か。ドイツ語でこれを Kartellgericht といふ。カルテル取締令の第十一條以下に其の構成並に訴訟手續が規定してある。カルテル裁判所は一名の裁判長と四名の陪審員とを以て構成される。裁判長には二名の陪席判事がついてゐる。これ等は大統領の任命するもので普通の裁判所の判事の資格のあるものでなければならぬ。四名の陪審員の内、一名は『産業裁判所』(Reichswirtschaftsgericht)の判事、二名は相反する經濟的利益を代表する者、他の一名は社會の公益を代表する第三者こいふやうな事になつてゐる。

カルテル裁判所の構成はさつこ右の如きものであるが、カルテルに關する訴訟は何人が提起するのであるかといふに、恰も刑事訴訟法の如く國家にのみ公訴権があるのである。カルテル裁判所の場合に國家を代表するものは經濟大臣(Reichswirtschaftsminister)である。尤もこれには例外がある。カルテルの加盟者がカルテルから脱

退しやうさいふ場合に、其の脱退権をカルテル裁判所に認めて貰ふべきには、自らカルテル裁判所に訴へ出る事が出来るのである。

生活費指數の調査

(一九二九・九・一八)

金解禁と圓貨の購買力増進、之れに伴ふ物價の低落といふやうなことは今から大いに研究して置く必要があると思はれるが、日本には全國的な生活費の統計がない。故に金解禁が一般國民生活に如何に影響するであらうかは的確な數字で示す事が出来ないであらう。英米獨佛等一流國が皆全國的生活費指數を調査してゐるのに我が日本が之れを缺くのは甚だ遺憾である。僅かに日銀調査の東京卸賣及小賣物價指數を標準としてゐるが之れでは全國的でないのみならず完全なる國民生活費は表示し得ない。

ドイツは敗戰國であり何百億の負債を背負つてゐる貧乏國である。それにも拘らず種々の經濟統計が完備してゐることは美しい次第である。此の經濟統計の事に就ては何れ詳しく調べて報告する積りであるが、先づ第一にドイツの生活費指數を研究して見度い。

調査の範圍 ドイツの生活費を調べて其の指數を發表するのは聯邦政府統計局(Statistisches Reichsamt)である。同統計局の説明する所によれば大體左の如き方法で調査されてゐる。先づ何處の生活費を調べるか云ふにドイツ全國中から七十二の行政区を選んで其所の生活費を報告せしめる。此行政区は(Gemeinden)と言つて必ずしも大都會に限らない。勿論ベルリン、ハンブルク、ケルン、ライプチヒ、ミュンヘン、ドレスデン、フ

ランクフルト等の大都會も含まれてはゐるが、同時に小さな田舎の行政区も之れに加へてゐる。即ち大中小の都市町村を掲きまぜ、又工業地域及農村をも代表してゐるのである。此の七十二の行政区に於ける人口は約二千七百萬であるからドイツ全國の四割を代表してゐる。即ち下表の如くである。

調査範圍

人口	別	行政区數	總人口
五十萬人以上	七	七、八一四、〇〇〇	
二十五萬より五十萬迄	一〇	三、七七四、〇〇〇	
十萬より二十五萬迄	一〇	三、七一三、〇〇〇	
五萬より十萬迄	九	三、一六〇、〇〇〇	
二萬より五萬迄	二〇	四、七〇五、〇〇〇	
一萬より二萬迄	一六	三、五六一、〇〇〇	
合計	七二	二六、七二七、〇〇〇	

調査の項目 次に如何なるものを生活費として調べるかといふに食料品、家賃、燃料及燈火、衣服費、交通費、其他必需品の六大項目に別けて調べる。其の調べ方に就ても詳しい説明があるが、簡単に言ふと標準的な家族が一ヶ月間に要する物資を推定しその値段を調査するのである。而して標準的な家族といふのは中流よりも稍や劣る處の家庭にして一家五人暮し、即ち父母と男の子(十二歳)、女の子(七歳)及び赤ん坊(一歳半)といふのが標準である。此の標準家族が一ヶ月に何々を必要とするかといふに、例へば食料品に就て云へば二十四種の代表的品物を擧げて、その一つ一つの數量をも示してゐる。即ち裸麥製の有色パン四十キログラム、小麥製の白パン五キログラム、馬鈴薯五十キロ、野菜十五キロ、牛肉三キロ半、豚肉一キロ半、バター二キロ、砂糖三キロ半卵二十八個と言つた具合である。其他の各項目も之れに準じて詳しい標準があり誠に念の入つたものである。
指數の作成 而して右各項目に就て前記七十二行政区で指數を毎週一回宛調査し中央政府の統計局へ報告するのであるが、統計局に集る數字は毎回一萬五千に及ぶといふ此の數字を平均して全國的一般生活費を割り出すのであるが、その平均の方法が又厄介で人口の多少により加減する事は勿論、生活費各項目に就てもその重要性に應じて一定の比例で算出せねばならない。即ち一九二五年二月以來改正した率による左表の通り食料品は

生活費中の五割五分近くを占め家賃が二割衣服が二割といふ比率で算出されてゐる。

食料品	五四%七七
住宅費	二〇%三五
燃料及燈火	五・五五
衣服費	一〇%〇五
交通費	三・〇七
其他必需品	六・二一

生活費は戦前即ち一九一三—一四年を基準一〇〇として算出される。尙ドイツでは戦争中の統計がなく一九二〇年二月から新に始めたがマルクの暴落の爲め正確な數字が得られなくなつたので一九二五年二月に改正して以前よりも新しく且つ廣い範圍で調査してゐる此の新方法による數字は一九二三年十二月迄は遡つて調べてあるがそれ以前の分は得られない。因みに此の生活費指數は毎月十日頃に前月分が發表される。過去の數字は下表の如くである。

ドイツ聯邦七十二行政区生活費指數

	1924年	1925年	1926年	1927年	1928年	1929年	1930年	1931年	1932年
1月	125.9	135.6	139.8	144.6	150.8	153.1	151.6	140.4	124.5
2月	119.9	135.6	138.8	145.4	150.6	154.4	150.3	138.8	122.3
3月	121.9	136.0	138.3	144.9	150.6	156.5	148.7	137.7	122.4
4月	125.3	136.7	139.6	146.4	150.7	153.6	147.4	137.2	121.7
5月	126.9	135.5	139.9	146.5	150.7	153.5	146.7	137.3	121.1
6月	123.5	138.3	140.5	147.7	151.4	153.4	147.6	137.8	121.4
7月	126.4	143.3	142.4	150.0	152.6	154.4	149.3	137.4	121.5
8月	126.7	145.0	142.5	146.6	153.5	154.0	148.8	134.9	
9月	129.4	144.9	142.0	147.1	152.3	153.6	146.9	134.0	
10月	134.9	143.5	142.2	150.2	152.1	153.5	145.4	133.1	
11月	135.4	141.4	143.6	150.6	152.3	153.0	143.5	131.9	
12月	135.4	141.2	144.3	151.3	152.7	152.6	141.6	130.4	

基準=1913年8月乃至1914年7月の1ヶ年の平均を100とす。1923年十二月は142.2

社會保險と労働組合

破産に瀕せるドイツの社會保險

(一九三二・二・一三)

社會保險の制度が發達してゐるのは、世界中でドイツが第一である。軍國主義の權化の如く言はれたドイツは今日世界で最も社會施設の進んだ國となつてゐる。

病氣に罹れば無料で醫師に診療して貰へ、薬も無料、入院も無料である。廢疾者になれば生涯年金が貰へ、労働者が傷害を蒙れば同様に年金や手當を受ける。失業者に對しては失業保險の制度があり、又國家或は都市の手によりても救済をしてゐる。

國家が斯くの如く廣範圍の社會保險を實行してゐるドイツでは國民は生活上に安心が得られること甚大である最近の發表によれば一月末現在のドイツ失業者数は六百萬人を突破した。然し國民は割合に落付いて居り、外國で心配する様な不穩な事態も起らない。これは救済方法が大に行届いてゐる爲である。然し斯様な完備せる社會保險制度を維持するには莫大な金が要る。貧乏なドイツに取り、殊に昨今の如く不況時代に於ては此の負擔が大變である。

掛金の減收 本年一月上旬發表したドイツ社會保險局(Reichsversicherungsamt)の報告によれば、ドイツの社會保險は掛金減收ミ支出増加の爲め破産に瀕してゐる。この主因は不景氣に伴ふ失業者激増に在る。

廢疾保險の如きは一九三一年中に於て二億二千萬マルク（邦貨金一億一千萬圓）の缺損を示したが一九三二年に於ては更にこれ以上の不足を生ずるものと案ぜられてゐる。

失業保險は一九三〇年に於て七億三千萬マルク（邦貨金三億六千萬圓）の缺損で、これは政府の豫算から補助して埋合せた始末である。然し昨年四月からは政府の補助を全廢し、保險の掛金だけでやつて行く事に改めた。その結果は保險金交付の制限となり、保險金受領者は失業者總數の三分の一に満たぬ現狀となつてゐる。

種類と加入者數 ドイツの社會保險は五種類ある。即ち次の通りである。

- (1) 病氣保險 (Krankenversicherung)
- (2) 傷害保險 (Unfallversicherung)
- (3) 廢疾保險 (Invalidenversicherung)
- (4) 礦夫年金保險 (Knappschaftliche pensionsversicherung)
- (5) 失業保險 (Arbeitslosenversicherung)

右の外に(6)雇員保險 (Angestelltenversicherung) といふのがあつたが、これは前記(3)の廢疾保險が勞働階級のみを保險であるに對しこれと同じ目的の雇員階級の廢疾保險である。

之等の各種社會保險は悉く國家自らの事業であるが政府の豫算には切り離し全然獨立の機關として經營されてゐる。

各種社會保險は凡て法律を以て強制的に加入せしめられる。而して單に勞働者のみならず一般月給取り(官吏を除く)も月收七百マルク以下のものは加入せねばならぬ事になつてゐる。加入者

加入者數

病氣保險	二〇、三四四、〇〇〇人
傷害保險	二三、六九〇、〇〇〇
廢疾保險	一八、〇〇〇、〇〇〇
礦夫保險	六九二、〇〇〇
雇員保險	三、五〇〇、〇〇〇

の數は前頁の表の如くで最も大きいのは二千四百萬人即ちドイツ總人口の三分の一以上を占めてゐる。失業保險は好況時代に於ては千七百四十萬人の加入者があつたが今日では著しく減つて千四百萬人位になつてゐる。

年額三十億圓 社會保險の掛け金は勞働賃銀或は月給の中から差引かれるのであるが、各種保險を合計するに

賃銀或は月給の二割といふ高率になる。即ち一ヶ月二百マルクを稼ぐ者ならば毎月四十マルクを負担せねばならぬのである。然しこの約半額は雇主が出すから實際は二十マルクを拂込むのである。それにしても此の負擔は甚だ重い。社會保險掛金の外に勞働組合會費や税金をも支拂はねばならぬから大變である。故に社會保險は有り難い制度でもあり、又一面に於ては有り難くない制度でもある。

各種社會保險の總収入は年額約六十億マルク(邦貨三十億圓)といふ巨額に上る。昨年中のドイツ國民總所得は五百億乃至六百億マルクを見積られるから右収入は其一割或はそれ以上に當る譯である。

社會保險の種類別に収入及び支出を調べて見るに下表の如くである。

支 出 の 保 險

病氣保險	二、一三〇	一九三〇年總收入	六、四九八
傷害保險	四四二	補助	一、〇六七
廢疾保險	一、五二七	政府	一、八〇〇
雇員保險	五四八	支	二、四二五
礦夫保險	一九一	出	二、二二五
失業保險	一、六六〇		一、四〇〇
合 計	六、四九八		六、一五二

國民所得と社會保險

一九二五年	五九九	國民所得	社會保險收入	二八
二六年	六二六	(單位億マルク)		三四
二七年	七〇七			四九
二八年	七五四			五六
二九年	七六二			六一
三〇年	七八〇乃至			六五
三一年	六〇〇乃至			六〇

(見積)

〔備考〕一九二五、二六兩年の社會保險中には失業保險なし。國民總所得はベルリン景氣研究所の積。保險收入はドイツ統計局調

失業救済制度 社会保険中でも最も問題となつてゐるのは失業保険である。ドイツでは一九二七年十月以来法律を以て強制保険としたが、毎年大欠損を示し一九二七年から一九三〇年までに政府は一般豫算から十二億マルク（邦貨六億圓）の足し前をしてゐる。

然し失業者激増に伴ひこの失業保険のみでは救済し得なくなり、今日では三様の失業救済制度を採つてゐる。即ち――

- (1) 失業保険 (Arbeitslosenversicherung)
- (2) 危急救済 (Krisenfürsorge)
- (3) 都市救済 (Wohlfahrtsfürsorge)

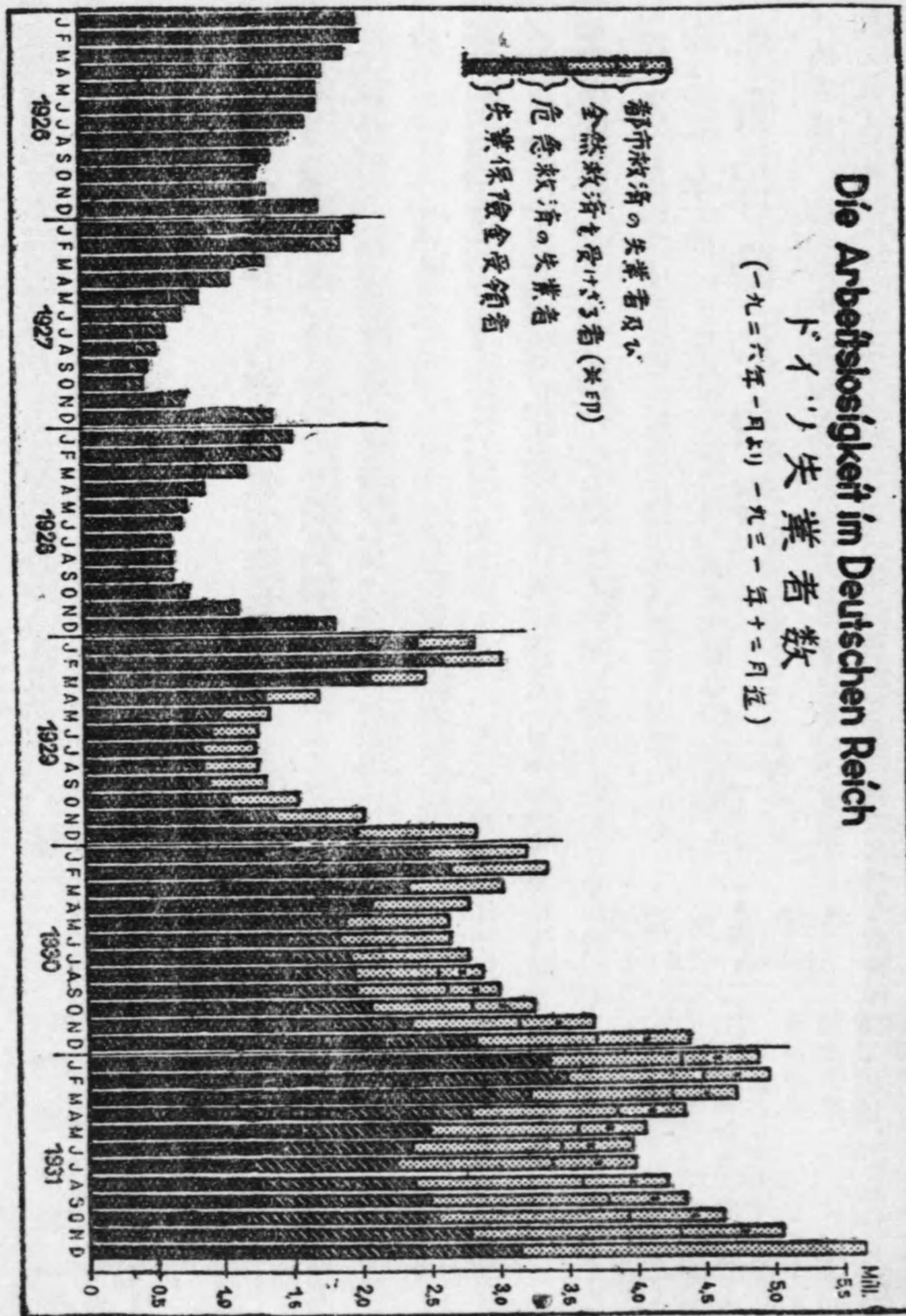
右の第一は保険加入者は毎月賃銀の百分の六半を掛金として積立て（雇主と被雇者と折半負擔）、失業の場合は最高五ヶ月間毎週保険金を貰ふ。その保険金額は一律でないが平均するに元の賃銀の四割見當である。即ち今迄月二百マルク取つてゐた者ならば月八十マルク位の保険金が貰へるのである。

第二の危急救済といふのは右の最高期限五ヶ月が終つても尙新しい就職口を得ぬ者を中央政府が一般豫算の金を以て救助金を交付するのである。最長九ヶ月乃至一ヶ年の期限で元

失業者は幾何の保険金を貰ふか

(一週に付)

失業前の賃銀 (週給)	扶養家族なき者	扶養家族一人を有する者	二人を有する者	三人を有する者	四人を有する者	五人を有する者	六人を有する者
10マルク迄	5.60	6.00	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40
14 "	7.20	7.80	8.40	9.00	9.60	9.60	9.60
18 "	8.00	8.80	9.60	10.40	11.20	12.00	12.00
24 "	8.82	9.87	10.92	11.97	13.02	14.07	15.12
30 "	9.45	10.80	12.15	13.50	14.85	16.20	17.55
36 "	11.55	13.20	14.85	16.50	18.15	19.80	21.45
42 "	12.68	14.63	16.58	18.53	20.48	22.43	24.38
48 "	13.50	15.75	18.00	20.25	22.50	24.75	27.00
54 "	15.30	17.85	20.40	22.95	25.50	28.05	30.60
60 "	17.10	19.95	22.80	25.65	28.50	31.55	34.20
60マルク以上	18.90	22.05	25.20	28.35	31.50	34.65	37.80



の賃金の三割五分位の救助金を與へてゐる。

右の期限を経過すれば失業保険からも中央政府からも見放されるので失業者は食へて行けない。之等を救済する役を都市が引受けてゐる。これが第三の都市救済制度でこれは各地方都市により内容が不同である。

失業救済費十五億圓

昨年十一月末現在の調べによれば

失業者内譯

失業保險金受領者	一、三六五、五三二人
十一月末	
危急救済金受領者	一、四〇六、四五三
都市救済金受領者	一、三五七、六八三
全く救済を受けぬ者	八〇二、九六七

ドイツ全體の失業者は五百萬人であつたが其の内譯は下表の如くである。即ち失業者總數の二割七分は失業保險により、二割八分は危急救済により、又他の二割七分は都市救済により兎に角金を貰つてゐる。然し全然救済金を貰はぬ失業者が八十萬人もある。

五百萬人の失業者を養つて行くには大變な金がかかる。一九三〇年中には平均三百萬人の失業者があつたが、之の爲め約三十億マルクを使つた。即ち邦貨金十五億圓で、日本の總豫算に匹敵する大金である。

賠償年賦金十七億マルクを假令勘辨して貰つても失業救済にこれだけ金が掛つてドイツはやり切れまい。

一九三一年の社會保險の内容

(一九三二・五・二七)

一年間に五十六億マルク、日本の金貨にして二十八億圓と言ふ莫大な金を社會保險に支出した——之れは貧乏國ドイツの話である。ドイツには病氣保險、傷害保險、廢疾養老保險、礦夫保險、失業保險の五種の國家強制保

險がある。之等保險事業の昨年中の成績が今回ドイツ統計局から發表された。

収入と支出

昨年中の各種社會保險の収入は失業者増加や賃銀引下げの結果一昨年より著しく減つたがそれでも尙總計五十六億マルクを示してゐる。一昨年は六十五億であつた。収入總額中四十五億マルクは掛金で、政府の補助が七億マルク、利子収入其他が四億マルクある。政府の補助は一昨年は十一億マルク近くに達したが昨年は右の如く減つたのである。社會保險の掛け金總額四十五億中約半額は勞働者の負擔、残りの半額は雇主の負擔である。

保險加入者數

(一九三一年現在)

傷害保險	二三・一百万人
廢疾保險	二二・四〇
病氣保險	二〇・六〇
失業保險	一四・二〇
(備考) 失業保險加入者中實際保險掛金を拂込んでゐる者は一九三一年十二月現在千〇六十萬人と發表されてゐる。右表の數字と違ひがあるのは失業の爲め掛金を拂はぬ者がある爲である。	

支出は一昨年中六十二億マルクに上つたが昨年は大統領緊急命令を出して病氣保險や失業保險支出を非常に制限した爲め五十六億マルクに減少した。然し失業保險を別として他の保險は殆ど全部マイナスで昨年中に差引一千七百萬マルク(平價換算八百五十萬圓)の赤字を出してゐる。

支出中で最も大きいのは病氣保險十六億マルク、廢疾養老保險十五億マルク、失業保險十五億マルクである。又各種保險(失業保險を除く)の經營費に二億八千萬マルク(一億四千萬圓)を費つてゐる。

加入者二千萬人

斯様な莫大な社會保險費を使つてはゐるが

年金及保險金受領者數

(單位千人)

1931年	加入者	遺族	合計
廢疾保險	2,345	1,199	3,544
雇員保險	155	113	268
礦夫保險	234	164	398
傷害保險	879	197	1,076
病氣保險	600	—	600
失業保險	1,713	—	1,713
合計	5,926	1,673	7,599

大戦前との比較
(戦前を100とせる指数)

	収入	支出
病氣保険	240	284
傷害保険	161	183
廢疾保険	316	627
雇員保険	369	—
鑛夫保険	213	475
合計	259	367
失業保険	—	—

失業保険制は破産 六
百万人の失業者を有するドイツの現状では失業保険だけでは最早や救済不可能である。前記の失業保険の支出十五億マルクは失業救済費の一部分に過ぎぬ實状にある。つまり

ドイツの社會保險收支 (1930年、1931年、單位百萬マルク)

	収入之部				支出之部			過不足	年末現存財産	
	總額	掛金	國庫補助	利子其他	總額	保險金	經營費			
病氣保險	1930年	2,139.9	2,053.9	21.0	65.0	2,010.0	1,834.1	162.3	129.9	955.9
	1931年	1,607.7	1,540.0	2.7	65.0	1,617.7	1,470.0	144.0	-10.0	900.0
傷害保險	1930年	423.3	404.3	—	19.0	429.2	364.8	58.4	-5.9	308.8
	1931年	370.0	351.0	—	19.0	414.7	355.1	53.9	-44.7	264.0
廢疾保險	1930年	1,530.0	986.3	445.4	98.3	1,475.4	1,409.4	61.9	54.6	1,636.7
	1931年	1,325.5	819.2	418.1	88.2	1,522.5	1,450.5	68.0	-197.0	1,440.0
雇員保險	1930年	547.8	385.2	—	162.6	224.8	210.7	12.9	323.0	1,633.3
	1931年	523.1	343.5	—	179.6	263.1	249.3	13.7	260.0	1,893.3
鑛夫保險	1930年	202.1	151.5	29.3	21.3	240.4	229.5	9.6	-38.3	144.2
	1931年	197.3	120.2	68.0	9.1	222.2	212.0	8.7	-24.9	119.0
小計	1930年	4,843.1	3,981.2	495.7	366.2	4,379.8	4,048.5	305.1	463.3	4,678.9
	1931年	4,023.6	3,173.9	438.8	360.9	4,040.2	3,736.9	288.3	-16.6	4,616.3
失業保險	1930年	1,659.9	1,061.7	591.2	7.0	1,759.9	1,678.6	—	-140.0	—
	1931年	1,524.5	1,373.3	213.4	37.8	1,530.6	1,406.8	—	93.9	—
總計	1930年	6,503.0	5,042.9	1,086.9	373.2	6,179.7	5,727.1	—	323.3	—
	1931年	5,648.1	4,547.2	702.2	398.7	5,570.8	5,143.7	—	77.3	—

(ドイツ聯邦統計局發行 "Wirtschaft und Statistik" 1932年4月末號に據る)

戦後の大擴張

社會保險の制度はドイツではヨーロッパ大戦前からあるが、その収入と支出が著しく膨脹したのは戦後社會黨が政權を握つて以來のことである。最近の數年間に於ける社會保險の収入と支出を調べて見るに前頁圖表の通り年々大膨脹をした事が判る、只昨年及び一昨年は經濟不況の爲め若干減退したがそれでも昨年の數字を大戦前に比較するに収入は二倍六分に増加し、支出は三倍七分に激増してゐる。而かもこの中には失業保險を含んでゐない。(註、失業保險は一九二七年十月に強制保險となつたもので戦前には無かつたから比較し得ない。)此の失業保險をも加えたらドイツ社會保險全體の収入及支出は大戦前に較べて四、五倍に上るであらう。

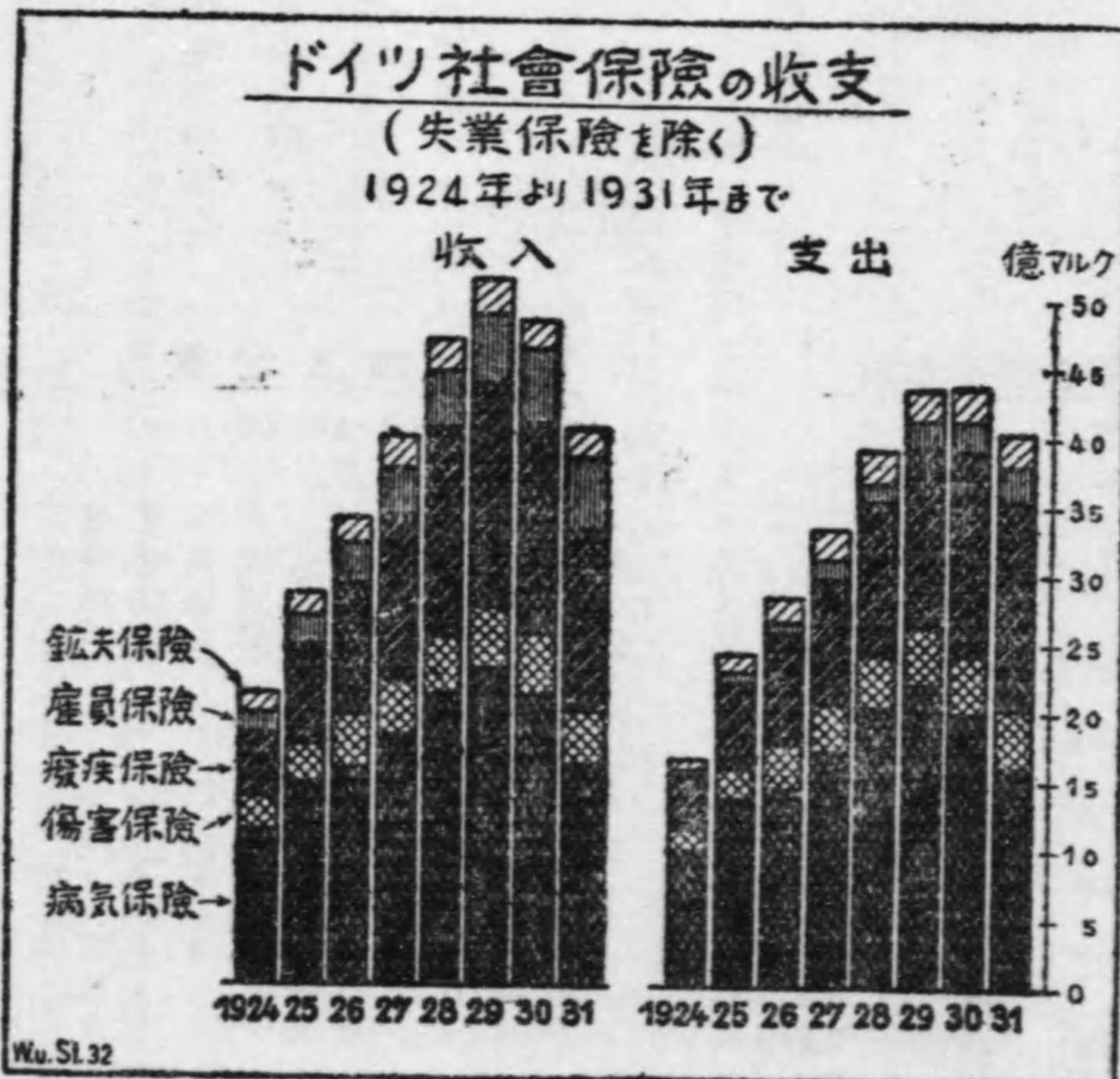
この保險加入者がドイツ總人口の三分の一以上に達して居る點から考へれば金が掛かるのも成る程と思はれるであらう。即ち一番加入者の多い傷害保險は二千三百萬人にも上つてゐる。
人口八人に付一人の受益者 右の加入者中で、年金、失業保險金、病氣保險金等の支給を受けてゐる者は合計約七百六十萬人ある。これをドイツの總人口に比較するに八人に付一人は社會保險の御厄介になつてゐる勘定となる。その中で廢疾養老保險の年金受領者が三百五十萬人を占めてゐる。

所有財産四十億

ドイツの社會保險は國營であるが、収入支出が右の通り巨額に上るに共に所有財産も一九三一年末に於て四十六億マルク(邦價換算約二十三億圓)に達してゐる。これは主として病院、療養所等の土地、建物、設備などである。所有財産を保險の種類別にして主なものも挙げるに、病氣保險部の九億マルク、廢疾養老保險部の十四億マルク、雇員保險部の十九億マルク等である。失業保險局には財産がない。

(備考) 雇員保險 (Angestelltenversicherung) の加入者は労働者以外の雇員階級、即ち下級社員店員等に對す廢疾

養老保險でその加入者數は三百四十萬人である。



Wu. St. 32

ften) (會員數八十萬人)、『ハルシユ・ドンケア労働組合』(Hirsch-Dunker) (會員數十七萬人)、共產主義労働組合(會員數十三萬人)、カトリック労働組合(Celben Gewerkschaften)等があるが大した勢力なく、ドイツの労働組合に云へば前記の自由労働組合を語れば十分であると思ふ。

此の自由労働組合は一八六八年にベルリンの辯護士シュヰイツァ(Schweitzer)が創設したもので、社会主義の漸進的實現を目標としてゐる。

日本では労働組合は政治上に今日の所大した勢力を有しないが、ドイツの自由労働組合はドイツの政治を支配する力を持つてゐる。否實際上過去十年間此の自由労働組合がドイツの政局を左右して來たこと稱しても過言ではないのである。何故ならば大戦後今日迄ドイツ議會の最大政黨である社会民主党(Socialdemokraten)の母體は實は此の自由労働組合であるからである。丁度イギリスの労働黨の母體が労働組合評議會(Trade Union Congress)に在る如くである。

漸進社会主義 自由労働組合の狙ふ所は個人資本主義の廢止、社会主義の實現である。

彼等の終局の目的は生産の諸手段例へば工場、鑛山、原料品生産等を悉く國家の手に移すに在る。然しこれが急速に實現し得ぬ事は彼等も知つてゐる。さりて目的遂行の爲に革命を起すなごいふ過激な方法は採らないこと迄も穩健平和的に進んで行つて、世間の氣付かぬ位徐々に個人資本主義から社会主義に移らうごいふ態度である。

ドイツ政府が大戦後個人資本主義制度に少なからず干渉してゐるのはこの自由労働組合の政策の反映である。鐵道、郵便、電信、電話等の國營は暫く別とするも、電力事業には少なからず國家の勢力が喰込んで居り、炭礦や加里、アルミニウム、窒素肥料等の生産にも一部國家が参加してゐる。更に労働者の賃金は雇主の自由な變更

を許さぬ事や、住宅家賃の制限をして一定限度以上の値上げを禁止してゐる事なごも個人資本主義に對する大なる拘束である。又世界無比の發達をしてゐるドイツの社会保険の制度が此の自由労働組合の主張である事は茲に説く迄もあるまい。

總同盟の組織 自由労働組合が如何なる組織になつてゐるか云ふに個々の労働者が中央の組合に直接加盟してゐる譯ではない。地方毎に職業別に労働組合があつて労働者は其地方の組合の會員になつてゐる。而して各地に於ける同種類の職業の組合が集つて中央組合を組織する。

例へば金屬工で云ふならばベルベンの金屬工組合、エツセンの金屬工組合、ケルンの金屬工組合といふ風にドイツ全國に金屬工組合が六百餘ある。この六百餘が中央組合を造る。

同様に炭礦労働者も建築工も紡績工も或ひはホテルのボーイも各々地方組合及中央組合を組織する。

斯くして三十五種類の異つた職業の労働組合が集つて全國的の總労働組合を造つてゐる。これがADGB即ちAllgemeine Deutschen Gewerkschaftsbund (ドイツ労働總同盟)である。この總同盟に包括されてゐる組合數は一萬三千八百、會員數は四百九十萬人である。この中には女が七十萬人、年少者が二十萬人ある。職業別で一番有力な組合は金屬工組で九十五萬人の會員を有してゐる。又二十萬乃至五十萬人の會員數を持つてゐる組合が八つある。總同盟の加盟會員數は最近數年間漸増の形勢を示してゐる。即ち下表の如し。

ドイツ労働總同盟會員數

	中央組合數	地方組合數	加盟會員總數
1913年	49	—	2,573,718人
1926年	38	15,484	3,977,309
27年	38	15,052	4,150,160
28年	35	13,810	4,653,586
29年	35	13,802	4,906,228
30年	31	13,572	4,821,832

(備考) 此表は Jahrbuch 1930 des ADGB による

組合の主要事業 ドイツの労働組合は資本家に衝突して争議する事のみを其仕事とはしてゐない。組合員の福利増進の爲め色々有益な事業を営んでゐる。

△補助金交付 ドイツ政府の社会保険制度と同じ様な事を組合自身でやつてゐる。否寧ろ古くからやつてゐる組合の此の制度を、ドイツ政府が後年に至り、組合員のみならず全般の労働者及被傭者階級に及ぼしたので解すべきであらう。組合の補助金は失業、病氣、癆疾、死亡、旅行等合計九種類に及んで居り、昨年度には八千六百萬マルクを支出してゐる。其中失業補助金が半ばを占めてゐる。

△新聞教育 労働組合は産業分野別に各機關新聞を發行してゐる。其種類三十三種、合計發行紙數五百萬部に上る。大きいのは Metallarbeiter-Zeitung といふ發行紙數九十六萬部に上るもの、又 Gewerkschaft (發行發行部數七十二萬部) なぎもある。新聞の外に専門的職業智識開發を目的とする雜誌類も發行し、其の種類十六發行部數合計四十萬部に上る。其他職業教育に就ては學校當局と聯絡を採り、又圖書館なぎも設備してゐる。圖書館に使つた金丈けでも昨年中に三百八十萬マルクに上つてゐる。

△住宅建築 労働者の爲め小住宅建築を組合の手で經營してゐる。これは株式會社組織(資本六百萬マルク)でやつてゐるが、過去五年間に八萬二千の住居を建築した。昨年中には此住宅建築から百二十萬マルクの純益を擧げてゐる。

△労働銀行 Die Bank der Arbeiter, Angestellten und Beamten A.G. (労働者及月給取銀行) といふ株式組織の銀行を營業してゐる。近年下の如く著しい發展をして昨年末現在一億六千萬マルクの預金を有してゐる。住宅建築の金融に當る外大都市の市債等に投資してゐる。

労働銀行成績

一九二四年末	預金高	營業高
二八年末	(單位百萬マルク)	
二九年末	九	一七五
	一六七	二、〇三六
	一六三	二、七八七

組合の會費と支出 組合は會員から、毎

週會費を徴收してゐるが、其額は各組合を平均する一ケ年に一人當り五十マルクばかりになる。即ち一ケ月四マルク(邦貨二圓餘)を收めてゐるのである。そして一ケ年の總收入は昨年度に於て二億五千萬マルク(一億二千五百萬圓)といふ巨額に上る。之れに對し支出は二億マルク(一億圓)で差引五千萬マルクの蓄積をしてゐる。斯くして過去五年間に組合は約一億六千萬マルク(八千萬圓)といふ巨額の剰餘貯蓄をした。労働銀行の預金はこの蓄積金を見て間違ひない。

労働總同盟收支

(單位千マルク)

	總收入	總支出
1924年	97,038	69,071
25年	147,527	125,874
26年	148,140	135,530
27年	182,252	129,464
28年	221,696	189,364
29年	251,335	202,944
30年	231,700	241,182

労働總同盟支出内譯

(單位百萬マルク)

	補助金	労働争議	新聞教育	宣傳組織	其他	本部經費
1924年	10	17	4	8	5	25
25年	33	30	6	13	8	35
26年	62	6	7	14	8	38
27年	41	11	9	16	9	43
28年	63	32	12	19	12	52
29年	87	13	13	21	9	59
30年	124	10	14	23	10	61

最近七年間の收入と支出及び主なる支出用途を下表に掲げて置く。(統計はドイツ労働總同盟年鑑による。)

賃金協定制度 労働組合の事業は前記の如く色々あるが此の外に組合が最も力を入れてゐる事が一つあるそれは労働賃金の増加と労働條件の向上である。

ドイツ統計年鑑によればドイツ全國労働者の賃金は一九二五年一月から昨年迄五ケ年間に次頁下段の表の如く平均四割二分乃至五割一分の著しい向上を示してゐる。此の五年間にドイツの一般生活費指數は一三五・六から一五二・六即ち僅かに一割二分五厘の騰貴を示したに

過ぎない。これを見ても労働者の賃金が非常によくなつた事が明かであらう。

然らば如何にして労働者は斯く著しい賃金増加に成功したのであるか。これは産業合理化の結果、生産費が安くなり、企業家側で賃金引上げを許容する餘裕が出来たのも勿論其原因であるが、他の重要な原因は賃金契約制度又は協定制である。ドイツ語で Tariflohn といふ。

労働賃金増加率

	一九二五年 月	一九二九年 月	増加率
△時間給	七・七	一一・九	四四%
△熟練者	五五・五	八四・〇	五一%
△不熟練者	三三・〇	五四・一	四二%
△週給	二八・九	四一・七	四五%
△熟練者	三三・〇	五四・一	四二%
△不熟練者	二八・九	四一・七	四五%

勿論この外に労働者の能率によつて増賃金を拂つたり、仕事の出来高による請負賃金 (Akkordlohn) 制などもあるが、これは一部分であつて大部分は前記の協定賃金制による

此の賃金契約期限は大體一、二年位で、期限到来以前は賃金引上げの改正は出来ても引下けの改正は許さない。而して期限到来毎に新契約締結に當つて組合側は必ず増給の要求を提出する。而して従来は大抵雇主側が其要求の一部又は全部を容れ、労働者側は連年賃金増加の目的を達して来たのである。

賃金契約労働者數

1月1日現在	契約數	工場數	労働者數
1927年	7,490	807,300	10,970,120
28年	8,178	912,006	12,267,440
29年	8,925	997,977	12,276,060

所が最近の如く不況時になるに物價は下がつても賃金は契約期到来迄は變更出来ぬ爲雇

主側は非常な不満不都合を感じる。又丁度契約期限満了となり雇主側から賃金引下げを要求するに労働組合側は仲々應じない。遂には最後の手段に訴へる。ベルリンに於ける金屬工の大罷業の如きは其例である。

右賃金契約制度により賃金の支拂を受けてゐる労働者及び被傭者數は千二百萬人に上る。(内被傭者は約百七十萬人)。詳細は前頁上段の表の通り。(Wirtschaft und Statistik 一九三〇年十一月號による)

争議解決方法 然しストライキは最後の手段である。相手が言ふ事を聞かぬから云つて直ちに罷業はしない。

ドイツには勞資争議を解決する手段として巧妙な仲裁々判制度を設けてゐる。これは双方から二人又は三人宛同人數の審判員を出し審判長は労働大臣が任命する。これは所謂裁判ではなく行政手續である。これをドイツ語で Schlichtung といふ。この仲裁々判で大部分の争議は解決される。昨年中に此の方法で解決された争議は二千五百件に上る。然しこの判決に不服があれば初めて罷業なり工場閉鎖なりをやる。

罷業が勃發するに労働大臣は双方の代表者を呼び出して罷業停止を條件として仲裁々判の再審を提議する。若し双方がこの提議を容れれば労働大臣は双方の承認を得たる審判長を任命し争議を再審せしめる。而して労働大臣は其の判決を以て最終なりと宣言し、判決は双方に對し拘束力を生ずる。此の判決を Schiedsspruch といふ。ドイツの罷業や工場閉鎖は大部分この手段で解決される。

一九二八年秋のルール製鐵業の工場閉鎖や今回のベルリン金屬工罷業などもこの手で終熄したのである。この制度のお蔭で假令罷業が起つても割合に短時日で解決する。

罷業や工場閉鎖が起るに労働組合は會員に罷業手当を給するが、大概は第一週は無給で第二週目から一人一日平均二マルク乃至二マルク半位を支出するのが普通である。労働組合はこの費用として一ケ年に少い年は三百萬

マルク、多い年は三千万マルクもつかつてゐる。即ち左表の如し。
ドイツに毎年ストライキや工場閉鎖が何の位あるかといふ過去五年間に四千件に上るが最近はやや減少の傾向にある。

罷業の結果は労働者の勝ちとなる事もあるが全部は左様には行かぬ。今度のベルリン金屬工罷業の如きは労働者側の要求は極く一部分達せられたのみで、大體に於て負けである。最近數年間の罷業及工場閉鎖件數を其結果によつて分けるこ下表の通りとなる。

罷業手當支出額
(ドイツ労働同盟調)
(單位千マルク)

一九二四年	一四、七〇七
二五年	二五、九六二
二六年	三、五〇四
二七年	八、九〇〇
二八年	二八、八九九
二九年	一〇、〇〇〇

罷業及工場閉鎖件數

(ドイツ統計局調)

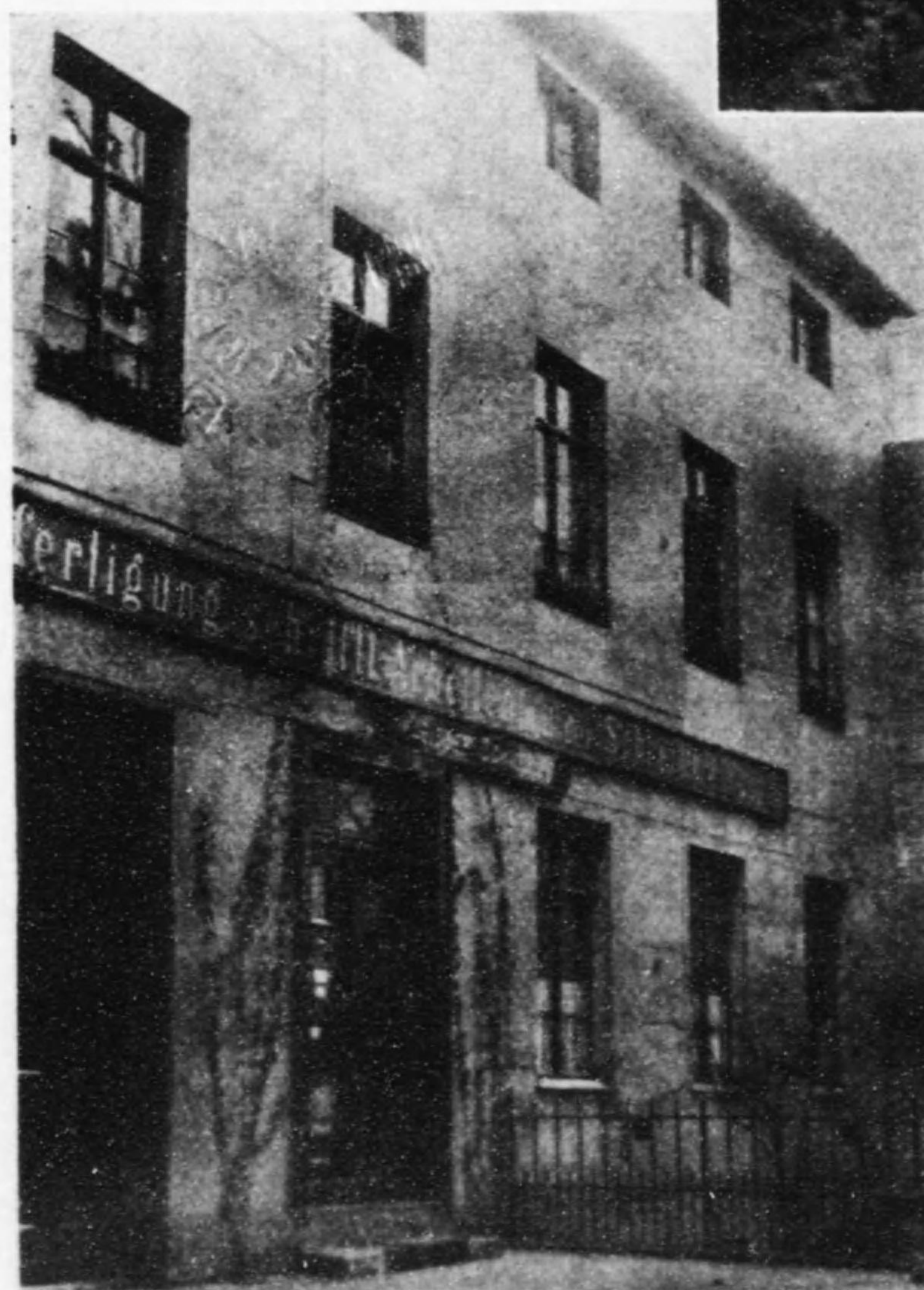
年	件數 件	人數 千人	延日數 千日
1924年	2,012	2,087	36,360
25年	1,766	1,128	17,114
26年	383	141	1,325
27年	871	696	6,044
28年	763	999	20,288
29年	441	319	4,490

罷業及工場閉鎖結果

年	労働者側勝	一部目的達成	労働者側敗
1924年	499件	803件	710件
25年	307	927	532
26年	87	167	129
27年	272	383	216
28年	201	350	212
29年	131	164	146



Frl. Elfride Schwedler



Dorotheensrasse 34, Berlin NW7.

(上) ベルリンに於て調査を助けて呉れた

エルフリーデシュウエドラー女史*

(下) 同事務所 (ドロテーン街三十四番)*

失業問題と其對策

失業救済制度

(一九三〇・六・九)

不景氣風は容赦なく世界中を吹き捲くる。ドイツも昨年以來不景氣で悩んでゐる。失業者は二百萬を算し國民はその救済に二十億マルクを負擔させられる。失業問題は今日のドイツに取つて大きな經濟的・政治的問題である。本年三月に前ミューラー内閣が崩壊したのもこれが原因である。現内閣もこれには手を焼いてゐる。

日本でも失業問題が段々喧しくなつて來た。中には産業合理化問題に絡み付けて論議する向もある。此際ドイツに於ける最近の失業問題を少しく調べて見よう。

失業保險の内容 新聞によるに日本では調査すれば調査する程失業者の數が増えるといふ。失業統計が整つてゐないからである。ドイツは失業保險があつて完全な統計があるから日本の様な出鱈目な數字ではない。失業保險制度其物がよいか悪いかは暫く別問題として完全な統計があり、之れによつて對策を講ずるのであるから萬事がハッキリしてゐる。

失業保險はドイツで *Arbeitslosenversicherung* といふ。以前は労働組合の手でやつてゐたが、一九二七年に法律が制定され、同年十月一日以來政府自身の管掌となつた。之れを掌る役所として『職業紹介及失業保險局』

(Reichsanstalt für Arbeitsvermittlung und Arbeitslosenversicherung) が設立されてゐる。

ドイツの失業保険に加入してゐる者は一般労働者は勿論の事會社商店の雇員も掃除女の如きも含んでゐる。兎に角雇傭關係にあるものは雇傭が一時的たる否を問はず強制的に保険に加入させられる。保険加入者数は今日約千七百二十萬人ある。

保険加入者は毎週保険掛金を拂はねばならぬ。その率は賃金の三分五厘である。(註、昨年末迄は三分であつた。其後數回に涉り引上げてゐる。後節参照を乞ふ) 即ち一週五十マルク、一ヶ月二百マルク取つてゐる労働者ならば毎月七マルク掛けねばならぬ。但し其半分は雇主が負擔する。それから掛金拂込の義務も雇主にある。この掛金拂込が随分厄介な仕事で、雇主に取つては少なからぬ負擔である。ドイツでは失業保険の外に病氣保險、廢疾保險、傷害保險など種々の社會保險制度があつて之等諸保險掛金拂込の手續は全部雇主がする事になつてゐるから、多數の人間を使つてゐる雇主は其の爲に専門の掛りを置かねばならぬ程である。

一ヶ月七十マルク 次ぎに保険加入者が職業を失つたら幾何の保險金を貰えるか。保險金は一時に貰ふのではなく、失業してゐる間毎週若干を貰ふのである。但し最長期限二十六週間(半ケ年)を超える事を得ない毎週貰ふ金額は賃金の高低によつて十一階級に區別されてゐるが、これを平均するに一ヶ月に七十マルク見當である。此の七十マルクは平均賃金の四十五パーセント内外に相當する。(百三十八頁の表を参照乞ふ)。この外に失業者は病氣保險の掛金を自分で拂はずも失業保險局が拂つて呉れる。

扱て六ヶ月もぶらついて居ればその間には何ミか他の職業が見付かる筈であるが、昨今の様に不景氣の場合には全部がその通りに行かぬ。保險金を貰ふ期限は經過して終ひ餓死せねばならぬ事になる。これは國家として又社會として見捨てて置けぬので『危急救濟』といふ名目で政府が國庫から金を出して救助する。これを *Krisen-*

Fürsorge と言つてゐる。今日この救助を受けてゐる者が約三十萬人ある。これは昨今の頃と較べるに三十萬人増えてゐる。國庫から救濟を受ける金額は失業保險金よりは稍少い、期限は現在では最長三十九週間乃至五十二週間、即ち九ヶ月乃至一ケ年と規定されてゐる。(四十歳未満のものは最長一ケ年、四十歳以上のものは最長九ヶ月)。故に失業保險の期限六ヶ月を通過するに約一ケ年半は何ミかして飯を喰ふ事が出来る譯である。

それでは、この一ケ年半を經過しても尙職業が見付からぬ時はどうなるか。今度は『公共救濟』(Öffentliche Fürsorge) といふものに落ち込む。昔は『貧民救濟』といつてゐたが、今日では體裁上から名前を改めてゐる。然し實質上貧民救濟に違ひがないから、失業労働者は之の救濟を受けるのを恥ぢて此所に行くのを好まない前記の『危急救濟』は昨年迄は最長救濟期限が失業保險による救濟期限の半分であつたが、今年になつて右の様に著しく延長した。その理由は即ち有能の失業労働者を『貧民救濟』に走らせるのを避けしめんとするに在る。この『公共救濟』は地方行政區(Gemeinden) 即ち市町村の所轄であつて中央政府は關係がない。公共救濟の内容は地方毎に非常に異なるから一概に説明が出来ない。

二十億は誰が出す 労働大臣ステークワルト(Dr. Stegerwald) はドイツ失業者の救濟の爲めに二十億マルク(邦價約十億圓)と言ふ巨額の金を本年は國民が負擔せねばならぬと言つてゐる。大變な事である。二十億マルクを一口に言つてしまへば簡單であるが、此の金が何處から出て又如何に使ふのか説明の必要があらう。労働者の見積りによれば失業一人に付一ケ年に支拂ふ失業保險は約一千〇三十マルク平均である。(この中には失業保險局の經費も含んでゐる。) 所で昨年度は一ケ年を通じて凡そ百萬人平均の失業があるものとして豫算を作つてゐるが、本年度は百六十萬人平均の失業を生ずるものを見積られてゐる。そうするにこれだけでも早や十六億五千萬マルク要る。これに前記の『危急救濟』の爲に三億五千萬マルク掛かる見込である。即ち合計

二十億マルクである。

所が現在の失業保険掛金の率(賃金の三分五厘)を以てする三十億千五百萬マルクしか集らぬ。即ち失業保険の勘定だけで既に六億三千五百萬マルクの缺損を生ずる此の缺損を補填する爲めに政府は左の如き提案を目下議會に出してゐる。

(一) 掛金率を一分方引上げて四分五厘とする事。之を七月一日以降に實施すれば本年度に於て約二億マルクの掛金増収となる。

(二) 保険金拂戻に制限を加へて一億マルク方節約する事。

(三) 國庫より三億三千五百萬マルクを補助する事。

保險拂戻に加へんとする制限といふのは十七歳以下の年少者及び六十五歳以上の老年者を除外する事、子供なき者には拂戻額を減らす事其他數項を提案してゐる。

右を簡單に言ふと二十億マルクの中で十三億は失業保険掛金(雇主と労働者の折半負擔)から出すが、残りの七億マルク(失業保険不足補助及び「危急救済費」)は政府の負擔で豫算に計上される。

尙この外に昨年度に於ける失業救済費の不足額として約八億マルク(失業保険不足補助五億、「危急救済」豫算超過三億)を政府から議會に要求してゐる。失業保険法實施以來年々下表の如き不足を示してゐるのは注意を要する次第である。

又失業保険不足補填の外に「危急救済費」にして毎年二、三億マルク或はそれ以上を政府から支出してゐる。之れは五分の四を中央

失業保険不足
(百萬マルク)

會計年度	失業保険不足額
一九二七年(自十月一日至三月末日)	八二
二八年(自四月一日至三月末日)	一六六
二九年(右)	四四七
三〇年(同)	六九五
合計	

政府が負擔し、五分の一は地方行政區が負擔するもので一般豫算に計上する。

失業増加の原因 一體何故にドイツは近年失業者が多いのであるか。其根本的理由に就ては先般私の書いた小冊子「合理化せる獨逸」(一九三〇年五月二十日發行)の中に説明してあるから参照願ひ度い。尙本年の失業増加の原因に就てはドイツ労働省では左の様に言つてゐる。

(一) 昨年秋以來の世界的不景氣により世界の購買力が衰えた事。製品輸出國たるドイツは其影響を受ける事が自然に大きい。本年の輸出額は昨年と比較して減つてゐる。殊にアメリカノの不景氣は著しくドイツに應えてゐる。此の結果諸産業の生産が減じ同時に労働の需要も減じた。

(二) 建築に關する諸産業が本年は著しく不振である事。建築關係の工業は範圍が非常に大きいからこれが不景氣であるに勞働界に及ぼす影響が甚だしい。ドイツは住居のみでも毎年二十萬内外宛建築してゐるが、本年は建築資金を出す所の市や町に金がなく又建築會社も資金難である。建築關係の諸産業は昨年中に約九十億マルクの金を費つたが本年は今迄のみでも既に昨年同期と比較して二十億マルク方も使つてゐる金が少い。これは五十萬人乃至六十萬人の失業者増加を意味するに勞働大臣は言つてゐる。

(三) 産業合理化も失業増加に關係のある事は否定し得ない。今迄人手で生産してゐたものを機械化すれば其所に幾らかの不用労働者を生ずるのは判つた話である。然しこれは一時的現象で永久的の性質のものではない。何故ならば合理化の結果生産費が下がり賣れ行が増加すれば自然再び労働の需要を増す故である。

此の外に政治問題も失業増加に關係が深い。歐羅巴大戰後各國が競つて産業保護主義を採り關稅の障壁を高くして外國品排斥をやり出した事は世界の通商を著しく阻害してゐる。これが爲め輸出國は輸出が困難となり失業者増加を來してゐる。ドイツ然り、イギリス然り、アメリカ亦然りである。そうかと言つて保護主義を採用して

るる諸國も決して好くはなつてゐない。輸入を阻止すれば自然自國の輸出も減る。結局双方共に損をしてゐる事になる。

失業減少の對策 失業問題は今や世界的な問題となつてゐる。政治的經濟的に各國が協力して解決に盡す必要があらう。又資本主義國丈けの問題でもない。ロシアにも多數の失業者がある。

二十億マルクの救済費を出すのみでは失業問題の解決はならない。積極的に失業者を減らす事にしなければ産業の負擔を益々重くするのみである。所がドイツでも此の名案は一寸見付からぬらしい。右の二十億マルクを投げ出して産業を振興したら失業問題の積極的解決にならぬか質問した所、勞働大臣ステーガーワルト氏は私に斯ふ答へた。

『二十億マルクあれば五十萬の失業者に職を與へる事が出来る。然し残りの百萬人の失業者は餓死する。今日の失業者全部に職を與へんには六十億マルクの金が必要である。所がそんな大金は一寸出て來ない。然し政府は出来る限りの力を盡くして失業減少に努める』云。

去る六月五日の閣議で決定したドイツ政府の失業者減少對策は大要次の如くである。

- (一) 遞信省が民間に出す諸注文を増加する事。
- (二) 聯邦鐵道會社の注文も同様に増加する事。
- (三) 小住宅建築を促進する事、殊に住宅建築の必要迫れる地方にして而かも失業者の多い地方から取り掛かる事。今日以後尙本年中に於て三萬五千乃至四萬の住居を建築し、これにより約十五萬人の失業者に職を與へる見込みである。
- (四) 一般的道路建設計畫を實行する爲め其の資金調達を圖る事。

尙此の外に勞働大臣をして失業對策上必要を認め臨機の處置を採らしむる爲め國庫金の支出を委ねる法律案も提出されてゐる。又困窮民の家賃引下げ法案や官吏の減俸案(四バーセント方引下げ)も提出されるらしい。これは一般的物價引下げ促進運動に對する政府の最初の小手しらしめて注目を惹いてゐる。

ドイツの失業對策

(一九三〇・八・一四)

失業對策は日本のみでなくドイツでも今日非常な重大問題となつてゐる。今年三月ドイツのミュラー前内閣が崩壊したのも、又先頃ドイツ議會が解散となつたのも根本問題は失業者増加に伴ふ政府の財政難に在る。今日二百萬人の失業者を救ふには一年に二十億マルクの金が必要である。然し失業者に金をやるのみでは甚だ消極的で一方産業の負擔を重くし他方國民の購買力を益々減退せしむる事になる。それよりも寧ろ勞働者に仕事を與へる事が第一に肝腎である。これに關してドイツはどんな對策を取つてゐるか。最近發表した政府の計畫を左に紹介しやう。但しこれはドイツでは失業對策と言はず Arbeitsbeschaffungsprogramm 即ち勞働供給計畫と稱してゐる。

三十萬人に職業を この政府の計畫による約十億マルク(邦貨五億圓)の金を以て三十萬乃至四十萬の勞働者に職を與へやうといふのである。二百萬以上の失業者のある際三、四十萬人位に職を與へた所でさうなるかといふ者もあるが、然し無きよりは遙かに優る。加之これ丈けの人間が職を得ればそれ丈けでも國民購買力増進に與つて力があり、又購買力が見直せば循環的に産業の景氣回復を助け更に勞働を需要する事にならう。扱

てその金は誰れが出して又如何に使ふのかいふ下表の如くである。

即ち主として公共的事業を起して、これによつて勞働界に活を入れやうといふのである。今その一つ一つに就て少しく内容を調べて見るこゝにやう。

鐵道の註文増額

ドイツの鐵道はライヒスバーン (Reichsbahn-Gesellschaft) 云つて二百六十億マルク (邦貨百二十億圓)

の資本を有する株式會社組織であるが、株式の大部分は國家の手にある。勞働者に職を與へる爲めに今度始めやういふ事業は下表右の如くで、三億五千萬マルクの計畫中から差當り二億七千二百萬マルクを支出せんとするものである。

鐵道會社の註文

(單位百萬マルク)

鐵道用建築材料注文	八〇
線路修理材料注文	二〇〇
車輛及機關車注文	八〇〇
鐵橋架設及架替	一〇〇
安全裝置設備	五〇
新線路建設	三〇〇
工場用品補充其他	二七二
合計	二七二

失業救濟事業

(單位百萬マルク)

鐵道會社	三五〇
遞信省	二〇〇
住宅建設	二五〇
道路建設	一〇〇
地方土木事業費増額	一〇〇
合計	一〇五〇

ドイツ鐵道會社は不況に伴ふ收入減少の結果極力緊縮方針を取つてゐた。例へば建築材料の如きも平素一ヶ月六萬五千トン使ふ筈の處を本年三月以來三萬五千トンに減らし最近には更に二萬トンに切り詰めた。これを來月から五萬トンに増加しやうとしてゐる。『無い袖は振れぬ』といふ譯で支出を削減してゐたのを今度は『借金してでも』と氣を大きくしたのである。所が先頃のヤング賠償案に基いて借りた國際借款中、ドイツ鐵道會社の手取りの分は既に大部分使つて仕舞つてゐる。故に今度の計畫に就ては新たに借金をせねばならぬ。最近同會社から六分利付鐵道債券一億五千萬マルクを賣り出したのは之の爲である。此債券は半額の七千五百萬マルクだけを公募に附したが昨日締切つた結果による一億半の應募超過を示した他の二千五百萬マルクは銀行團が、又殘額五

千萬マルクは交通銀行 (Verkehrskreditbank) が引受ける事になつてゐる。交通銀行はこの引受けの爲めに國際決済銀行から一ヶ月期限の金を借りた。右一億五千萬マルクの鐵道債券のみでは豫定計畫に對し尙一億二千二百萬マルク足りぬ譯であるが之れは鐵道會社が直接金融市場から短期資金を借りる筈である序でにドイツの鐵道と日本の鐵道を下表に比較して見やう。

日獨鐵道比較

	ドイツ	日本
營業線路延長 (キロメートル)	五六、六五〇	二〇、二〇〇
貨物輸送量 (百萬トン・キロメートル)	七五、七三八	一三、一一四
乗客輸送量 (百萬人)	一、八二九	一、二五〇

(備考) 右表數字は國際聯盟發行の統計年鑑による。日獨何れも國有私設鐵道の合計。線路延長、乗客輸送量は一九三〇年、其他は一九二九年分の數字を掲ぐ。

電話の擴張 遞信省が二億マルク(一億圓)を以て始めやうとする事業は主として電話擴張と郵便自動車線路擴張である

ドイツでは電話を架設するのに日本の如の至急開通と順序開通とが云ふ様な變な制度はない。申込みば誰れでも三週間位で直ぐに架設して呉れる。急げば一週間でも掛けて貰える。架設料も東京や大阪の如く千圓も拂ふ必要はない。只電話機代として五十マルクと架設費二十五乃至三十マルク位即ち合計八十マルク(邦貨四十圓)も納めれば見りる。従つて電話賣買を商賣とする『電話屋』などは夢にも存在し得ない。又従つて電話を財産として會社の帳簿に記入する様な事は考へ得ない話である。

又市外通話をするにしても日本の如く申込んでから幾時間も待たねばならぬといふ様な事は無い。ドイツ人は日本人の如く氣が長くないからそんな悠長な電話なら始めから使用しない。

ドイツの電話は右の通り日本とは較べ物にならぬ程發達してゐるが、それでも尙年々改良増設を怠らない。今更の爲使ふ筈である。因みにドイツと日本の電話發達程度を次頁下部の表にて比較して見やう。